

子育て支援に関する
アンケート調査報告書
【就学児童用】

令和6年3月

松阪市

目次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 抽出方法	1
4 調査方法	1
5 調査時期	1
6 回収結果	1
7 数値等の基本的な取扱いについて	1
アンケート結果	2
1 お住まいの地域について	2
2 お子さんご家族の状況について	3
3 子どもの育ちをめぐる環境について	7
4 お子さんの病気の際の対応や、不定期な一時預かりについて	33
5 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	40
6 子育て支援相談窓口の認知度・利用意向について	54
7 子育ての不安と悩みについて	57
8 子育てに関する情報の入手	60
9 家の近くの子どもの遊び場	62
10 子どもとの外出の際、困ること・困ったこと	64
11 子どもの育ちを支援するため、どのような地域が必要か	66
12 子どもの教育と健全育成について	67
13 健康・医療について	68
14 子育て全般について	69
15 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してのご意見	74

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市内に居住する就学児童の保護者を対象として、「アンケート調査」を実施し、「第3期松阪市子ども・子育て支援事業計画（2025年度～2029年度）」を策定するに当たり、市民の方の教育・保育・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望等を把握するための基礎資料とします。

2 調査対象

就学児童（小学生 1,500人）

3 抽出方法

無作為抽出

4 調査方法

郵送による調査票の配布・回収及び Web 回収

5 調査時期

令和6年1月

6 回収結果

配布数	1,500
回収数	1,038（紙回答 511 Web 回答 527）
回収率	69.2%

7 数値等の基本的な取扱いについて

- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数又は該当者数）
- ・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー（選択肢）の文言は、作図の都合上、簡略化する場合があります。
- ・本文中の“「」”内は[アンケートの回答項目]、“『』”内は[アンケートの回答項目を複数あわせて表示したもの]となります。

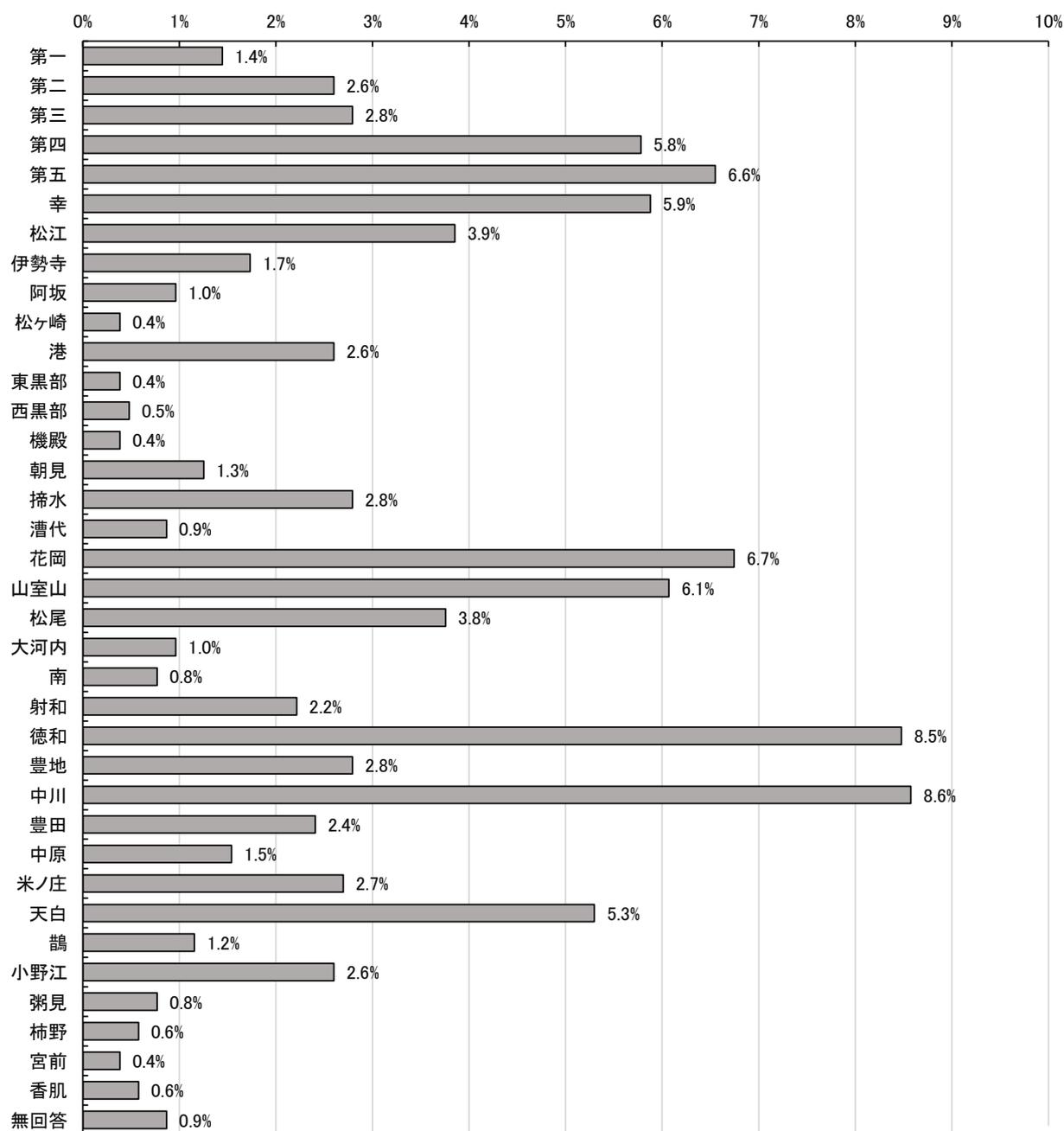
アンケート結果

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地域の小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

お住まいの地域については、「中川」が8.6%と最も高く次いで「徳和」(8.5%)、「花岡」(6.7%)、「第五」(6.6%)等の順となっています。

【お住まいの地域】



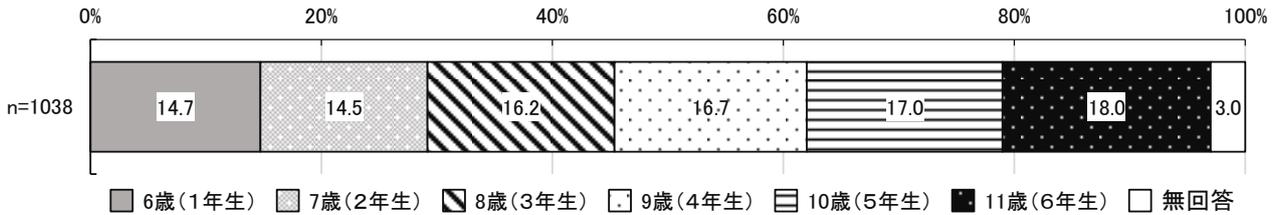
(n=1038)

2 お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

お子さんの年齢については、「11歳(6年生)」が18.0%と最も高く、次いで「10歳(5年生)」(17.0%)、「9歳」(16.7%)、「8歳(3年生)」(16.2%)、「6歳(1年生)」(14.7%)、「7歳(2年生)」(14.5%)の順となっています。

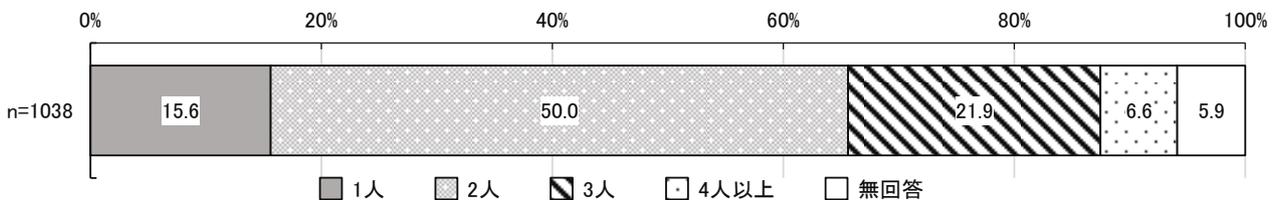
【お子さんの年齢(学年別)】



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。また、理想とする子どもの人数を()内に数字をご記入ください。

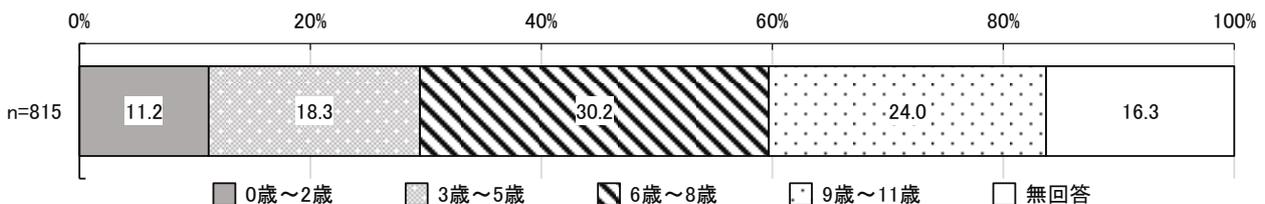
きょうだいの人数については、「2人」が50.0%と最も高く、次いで「3人」(21.9%)、「1人」(15.6%)、「4人以上」(6.6%)の順となっています。

【きょうだいの人数】

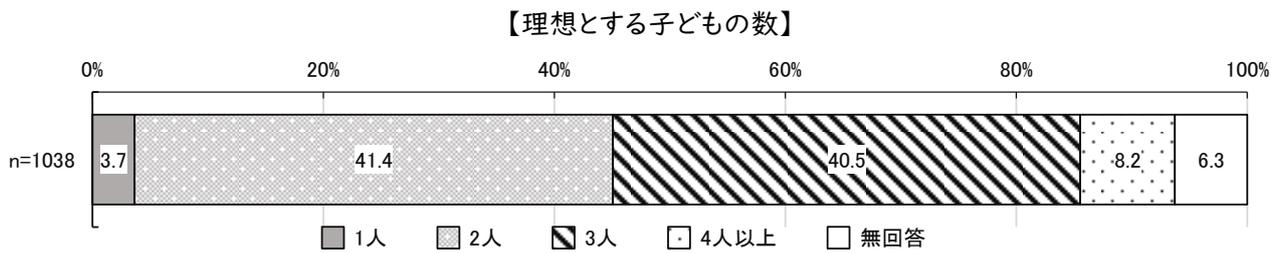


末子の年齢については、「6歳~8歳」が30.2%と最も高く、次いで「9歳~11歳」(24.0%)、「3歳~5歳」(18.3%)、「0歳~2歳」(11.2%)の順となっています。

【末子の年齢(学年別)】

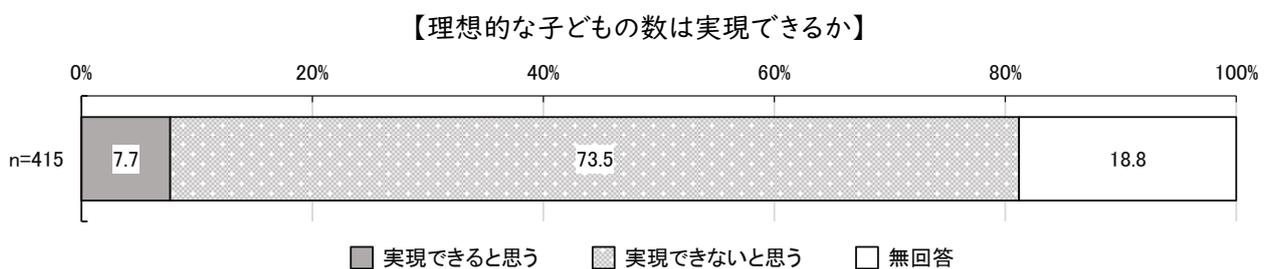


理想とする子どもの数については、「2人」が41.4%と最も高く、次いで「3人」(40.5%)、「4人以上」(8.2%)、「1人」(3.7%)の順となっています。



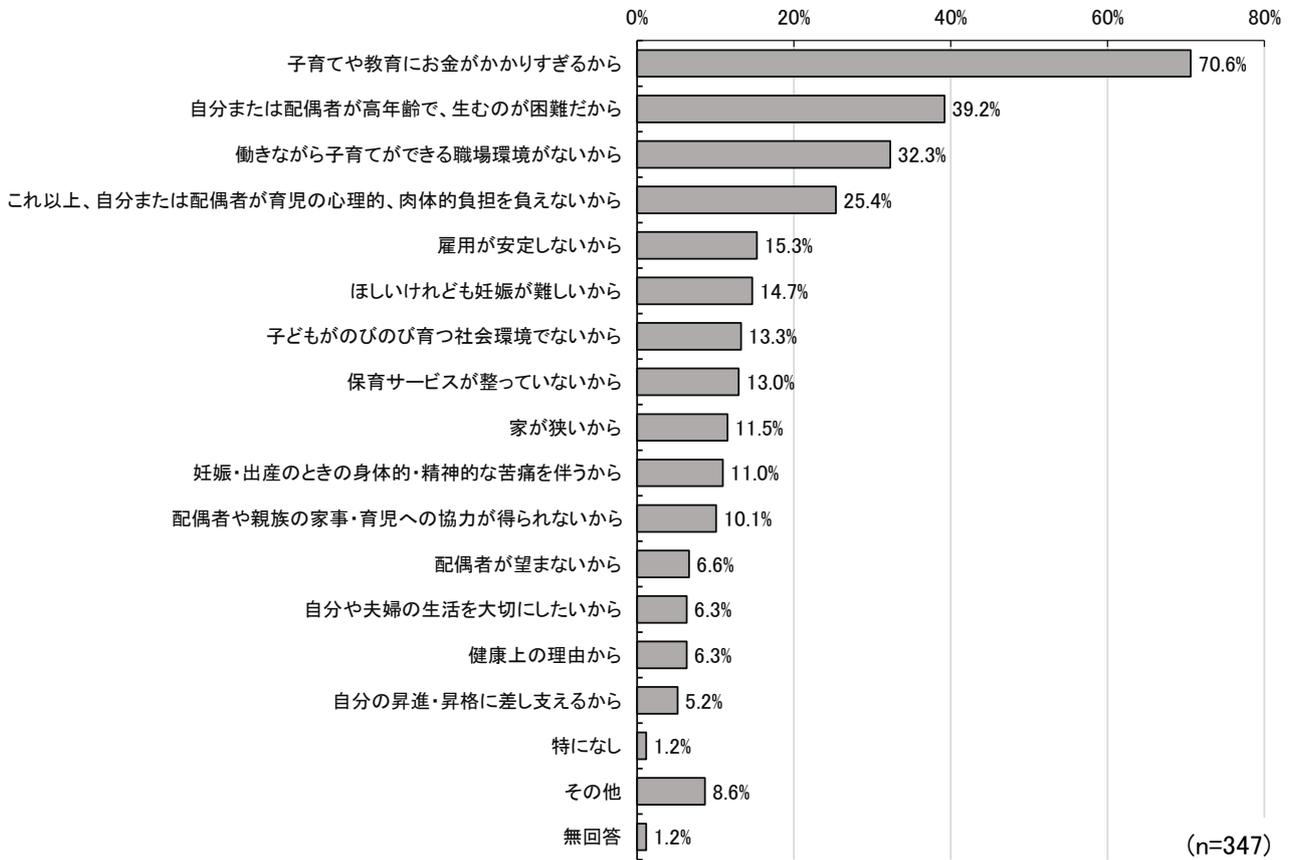
問3-1 問3で理想とする子どもの数について現在のお子さんの数よりも多い人数を答えた方にうかがいます。
 理想的な子どもの数は実現できると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また実現できない場合、その理由は何ですか。ア～チの当てはまるものすべてに○をつけてください。

理想的な子どもの数は実現できるかどうかについては、「実現できると思う」が7.7%、「実現できないと思う」が73.5%となっています。



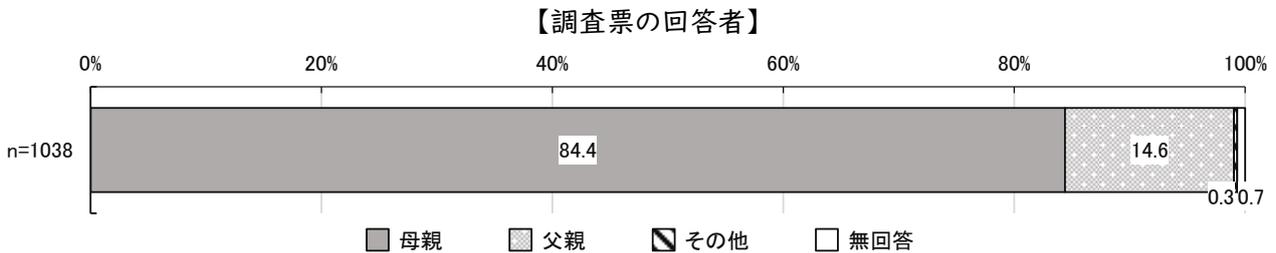
実現できないと思う理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が70.6%と最も高く、「自分または配偶者が高年齢で、生むのが困難だから」(39.2%)、「働きながら子育てができる職場環境がないから」(32.3%)、「これ以上、自分または配偶者が育児の心理的、肉体的負担を負えないから」(25.4%)等の順となっています。

【実現できない理由】



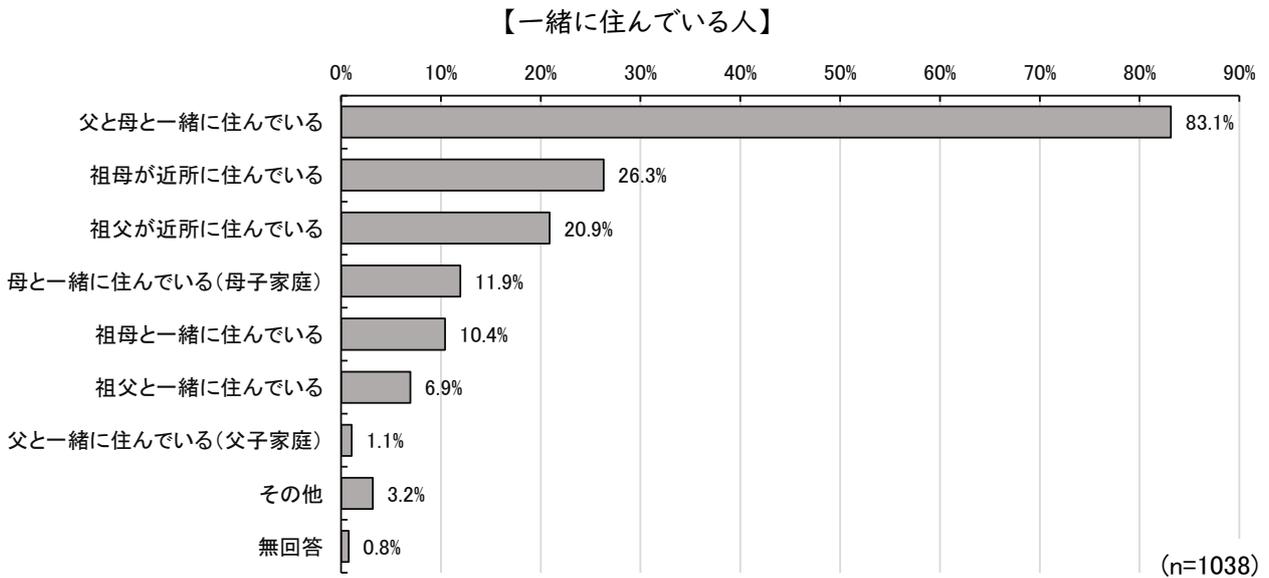
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票に回答された方については、「母親」が84.4%、「父親」が14.6%となっています。



問5 封筒の宛名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

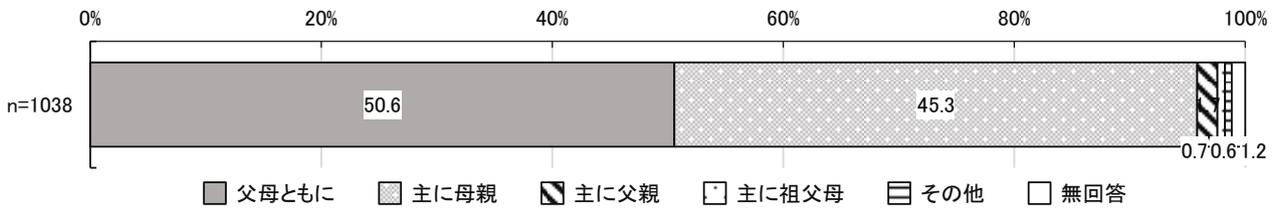
一緒に住んでいる人については、「父と母と一緒に住んでいる」が83.1%と最も高く、次いで「祖母が近所に住んでいる」(26.3%)、「祖父が近所に住んでいる」(20.9%)、「母と一緒に住んでいる(母子家庭)」(11.9%)等の順となっています。



問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が50.6%と最も高く、次いで「主に母親」(45.3%)等の順となっています。

【子育てを主に行っている方】

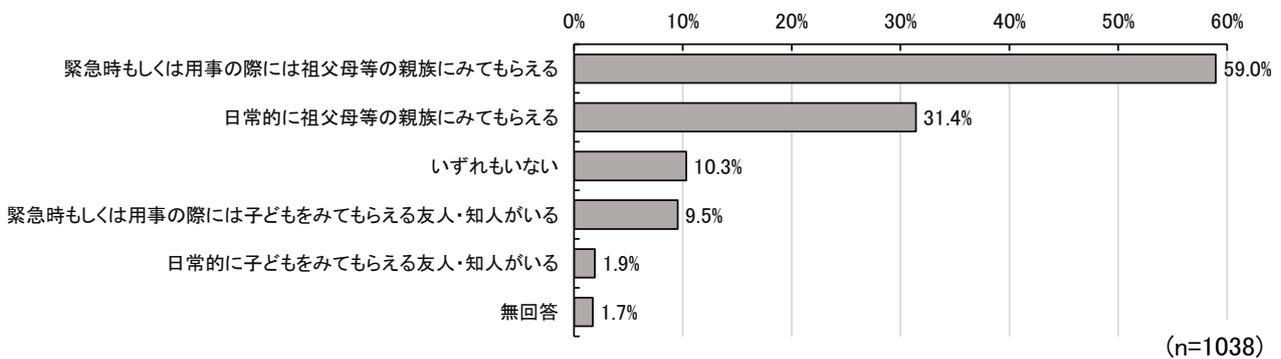


3 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(31.4%)、「いずれもない」(10.3%)等の順となっています。

【日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無】



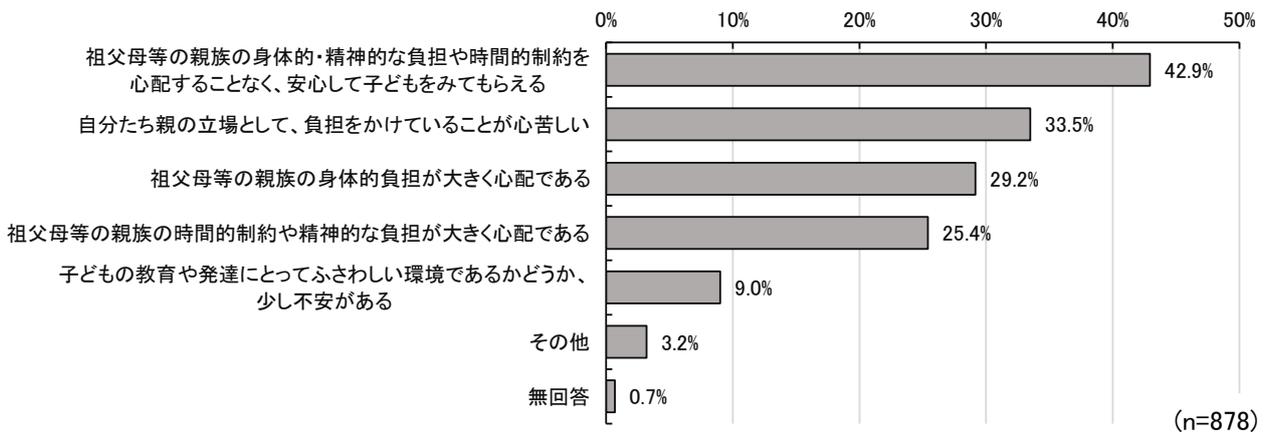
問7-1

問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が42.9%と最も高く、次いで「自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(33.5%)、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(29.2%)等の順となっています。

【祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について】

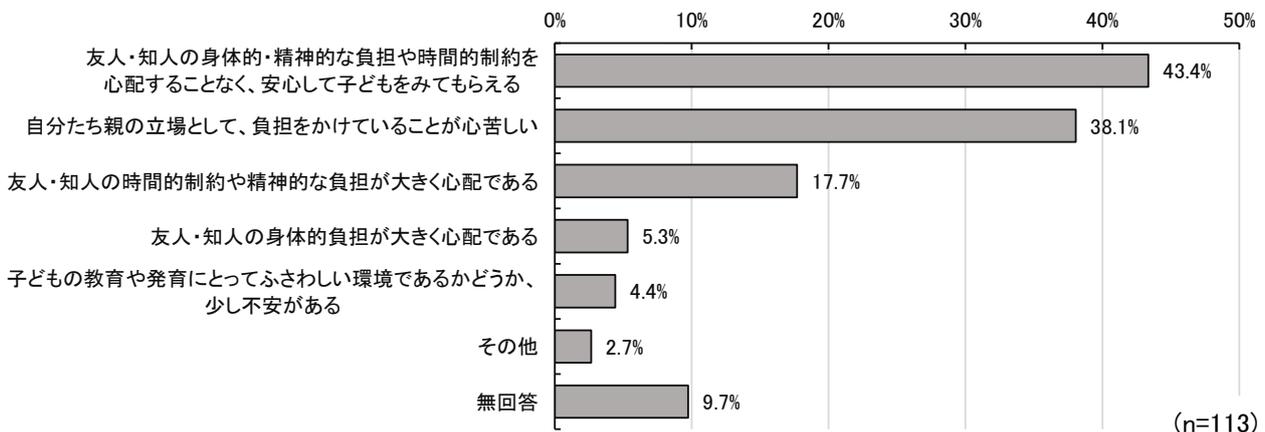
**問7-2**

問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が43.4%と最も高く、次いで「自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(38.1%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(17.7%)等の順となっています。

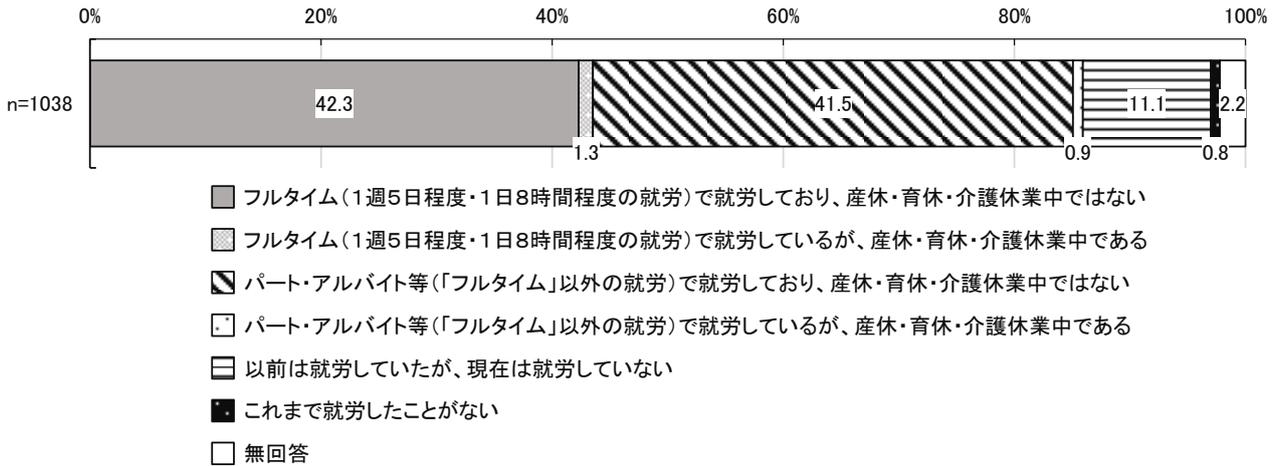
【友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について】



問8 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（41.5%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（11.1%）等の順となっています。

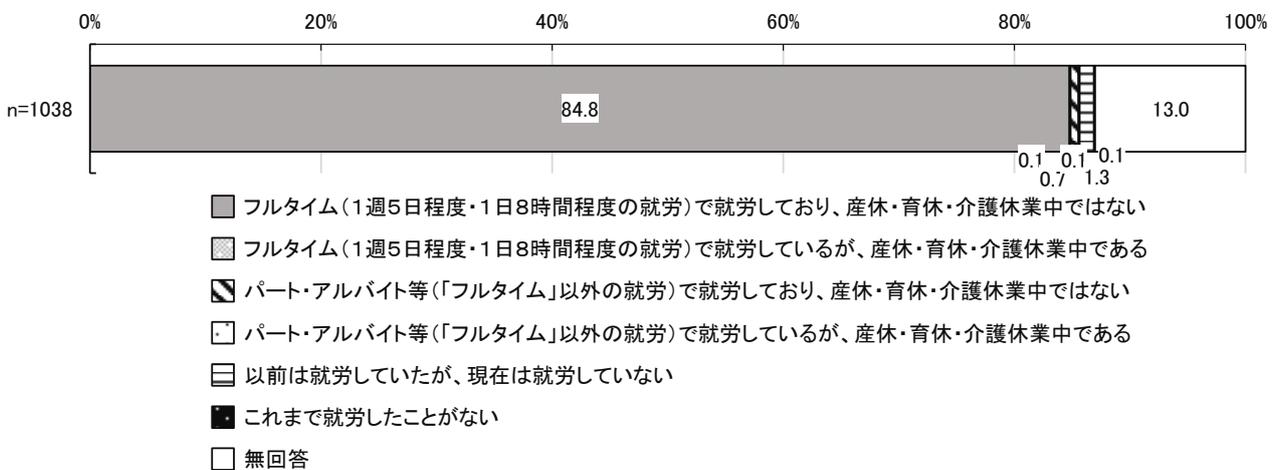
【「母親」の就労状況】



問9 宛名のお子さんの「父親」の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

父親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が84.8%と最も高くなっています。

【「父親」の就労状況】



問10

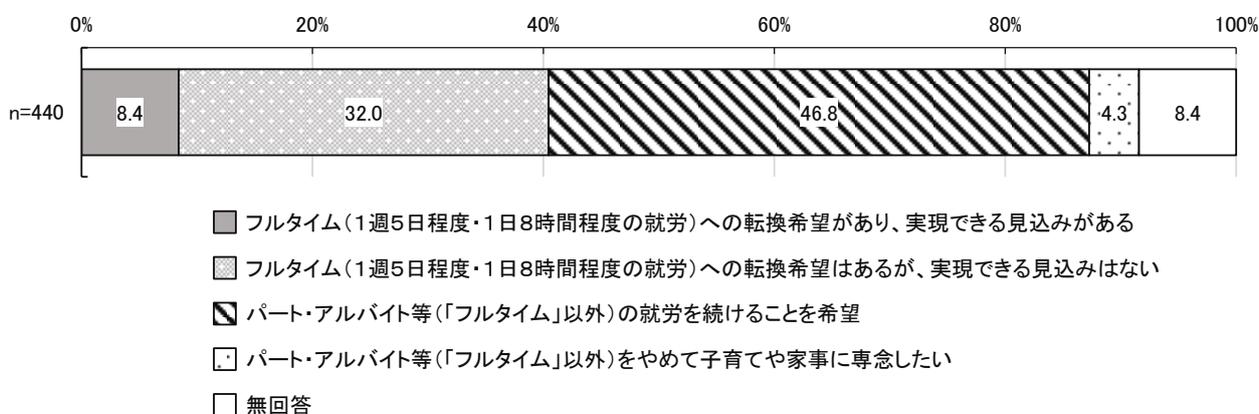
問8または問9で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（母親）

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が46.8%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（32.0%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（8.4%）、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」（4.3%）の順となっています。

【「母親」のフルタイムへの転換希望】

**（父親）**

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が5件、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」がそれぞれ1件となっています。

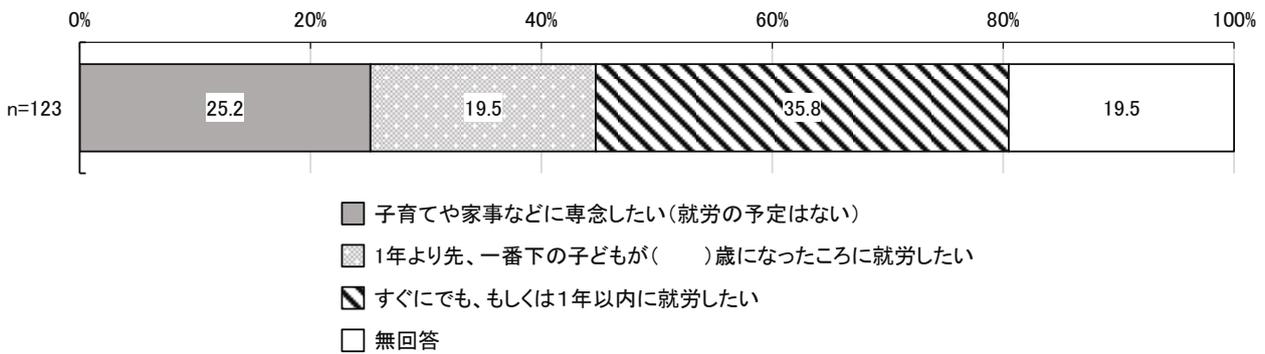
問11

問8または問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

(母親)

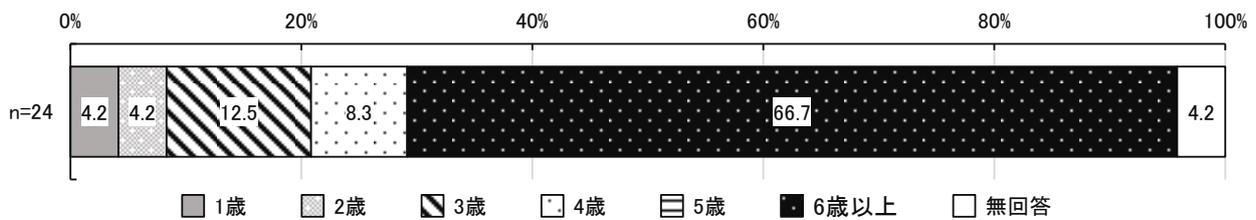
就労希望については、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が35.8%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(25.2%)、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」(19.5%)の順となっています。

【「母親」の就労希望】



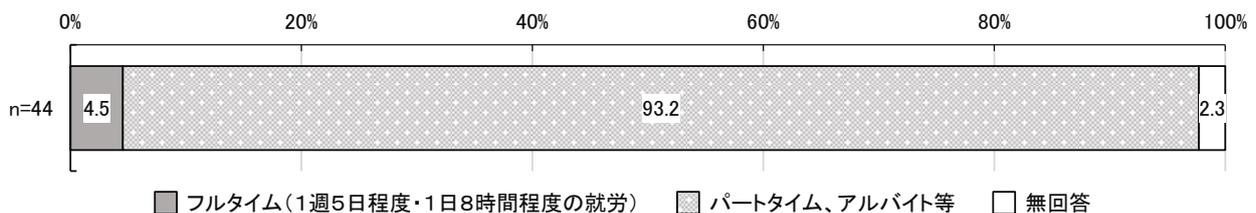
「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」については、「6歳以上」が66.7%と最も高く、次いで「3歳」(12.5%)、「4歳」(8.3%)等の順となっています。

【「母親」の就労時期】



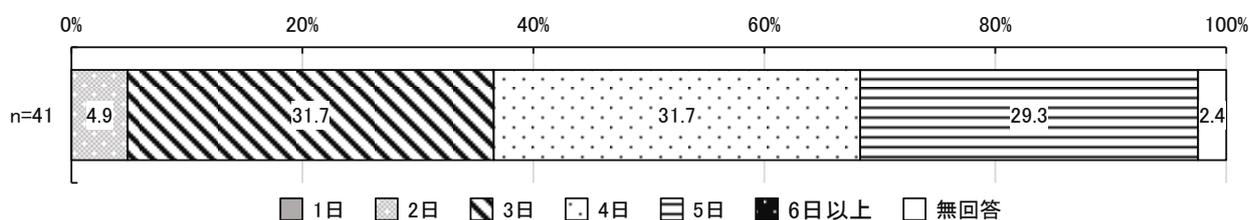
「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が93.2%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が4.5%となっています。

【「母親」の希望する就労形態】



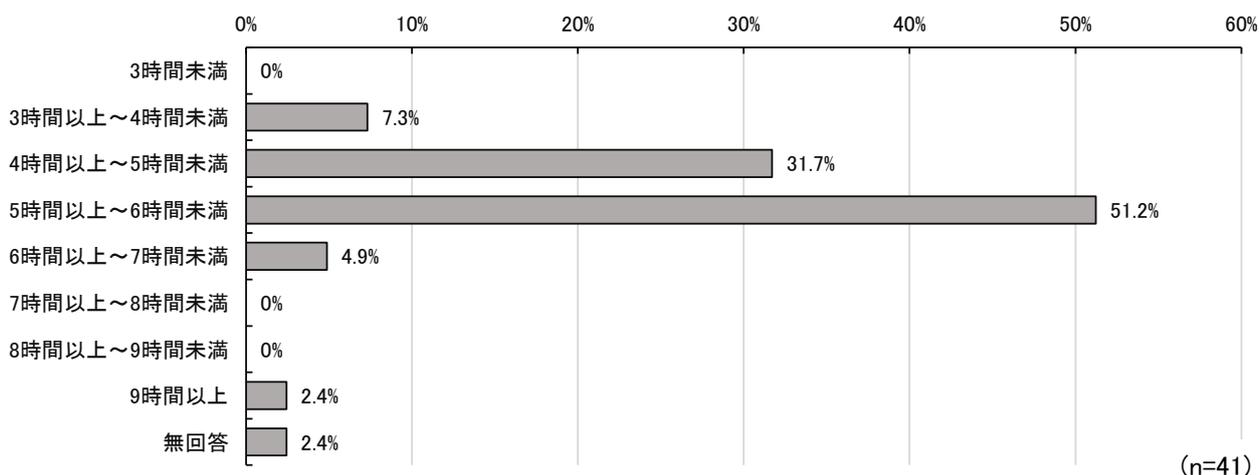
「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」を選んだ方の1週当たり就労日数については、「3日」「4日」がそれぞれ31.7%と最も高く、次いで「5日」（29.3%）等の順となっています。

【「母親」の希望する就労日数】



「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」を選んだ方の1日当たり就労時間については、「5時間以上～6時間未満」が51.2%と最も高く、次いで「4時間以上～5時間未満」（31.7%）、「3時間以上～4時間未満」（7.3%）等の順となっています。

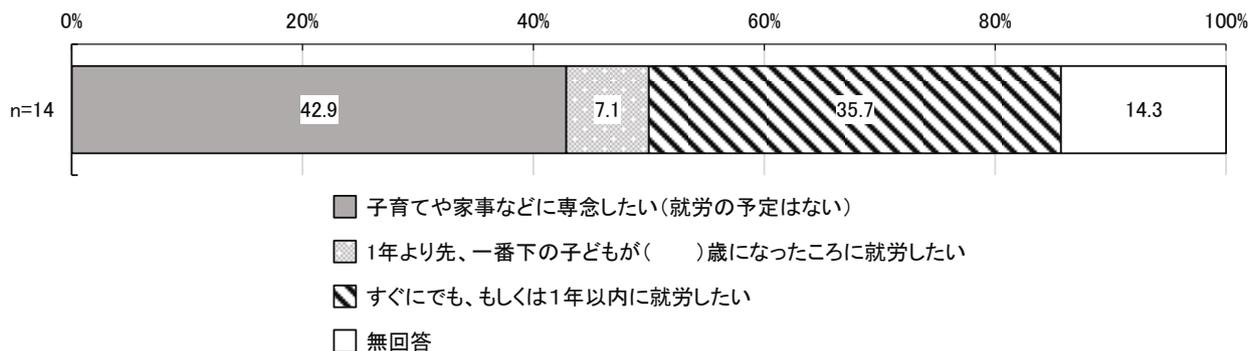
【「母親」の希望する就労時間】



(父親)

就労希望については、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が42.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（35.7%）、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」が7.1%の順となっています。

【「父親」の就労希望】



「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」については、「6歳以上」が1件となっています。

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態については、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が5件となっています。

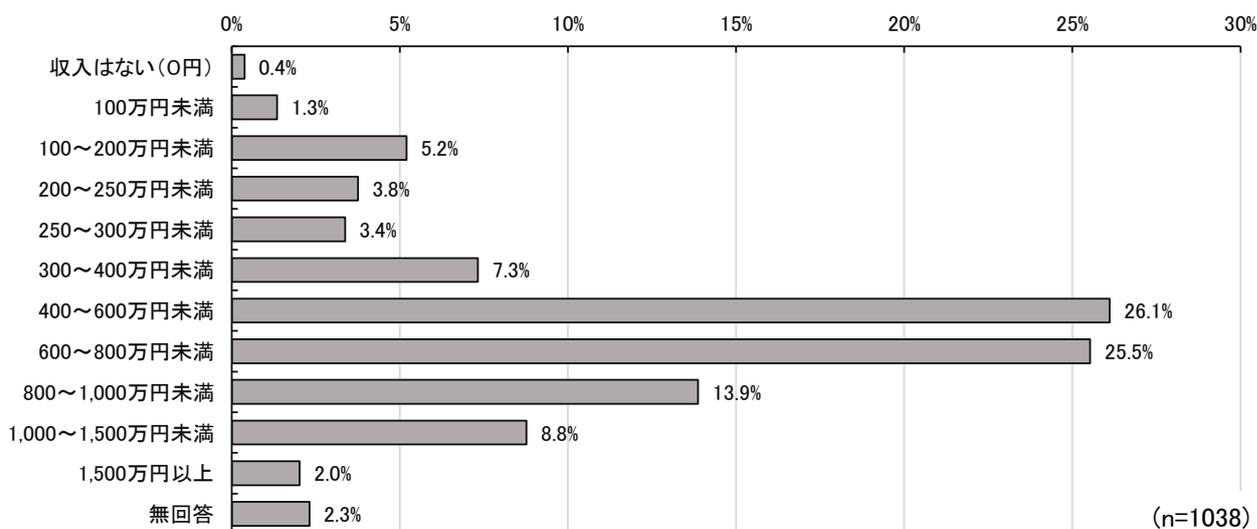
「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」を選んだ方の1週当たり就労日数については、有効回答はありません。

「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」を選んだ方の1日当たり就労時間については、有効回答はありません。

問12 宛名のお子さんと生計をともにしている世帯全員の方の、おおよその年間収入(税込)はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
※収入には、勤労収入(パート・アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含みます
※複数の収入源がある場合(父親が勤労収入、母親が事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

お子さんと生計をともにしている世帯全員の年間収入については、「400~600万円未満」が26.1%と最も高く、次いで「600~800万円未満」(25.5%)、「800~1,000万円未満」(13.9%)等の順となっています。

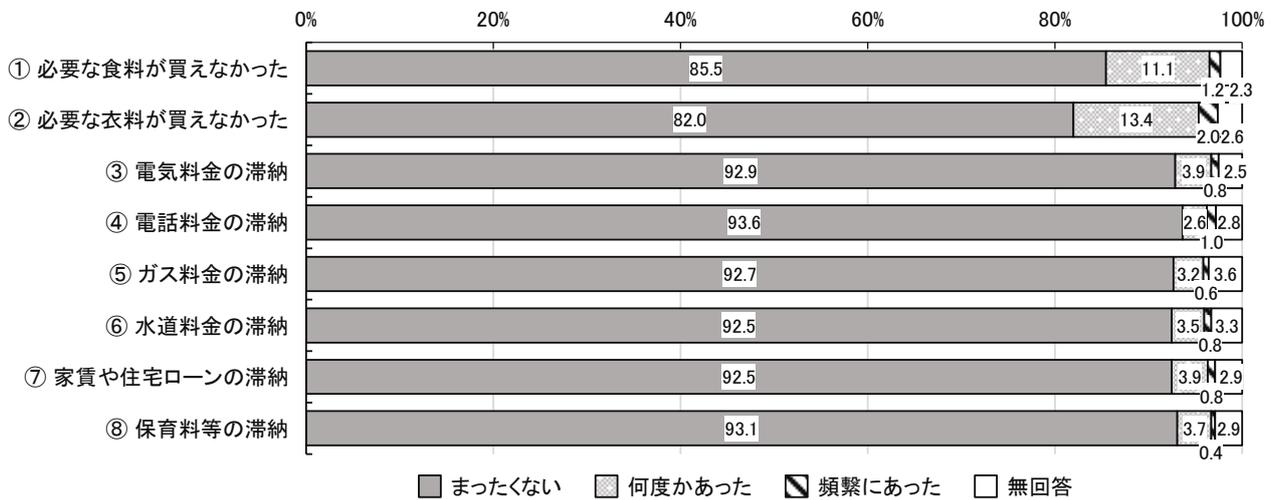
【世帯年収】



問13 あなたの世帯(家庭)では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。①～⑧の項目ごとに、当てはまる番号1つに○をつけてください。

経済的な理由による経験については、「何度かあった」では、「②必要な衣料が買えなかった」が13.4%と最も高く、次いで「①必要な食料が買えなかった」(11.1%)等の順となっています。

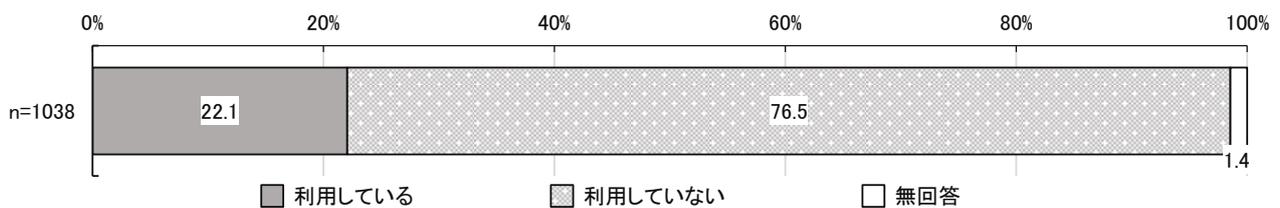
【経済的な理由による経験】



問14 現在、放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用状況については、「利用していない」が76.5%、「利用している」が22.1%となっています。

【放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用状況】



問15 問14で「1. 利用している」に○をつけた方におうかがいます。

平日、土曜日、日曜日・祝日、夏休み等長期休業期ごとに、放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用していますか。利用していない場合、利用希望はありますか（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。利用していない場合は、アからウの当てはまるもの1つに○をつけてください。また、利用している時間帯又は利用したい時間帯を、（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）（18：00）のように24時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

（平日）

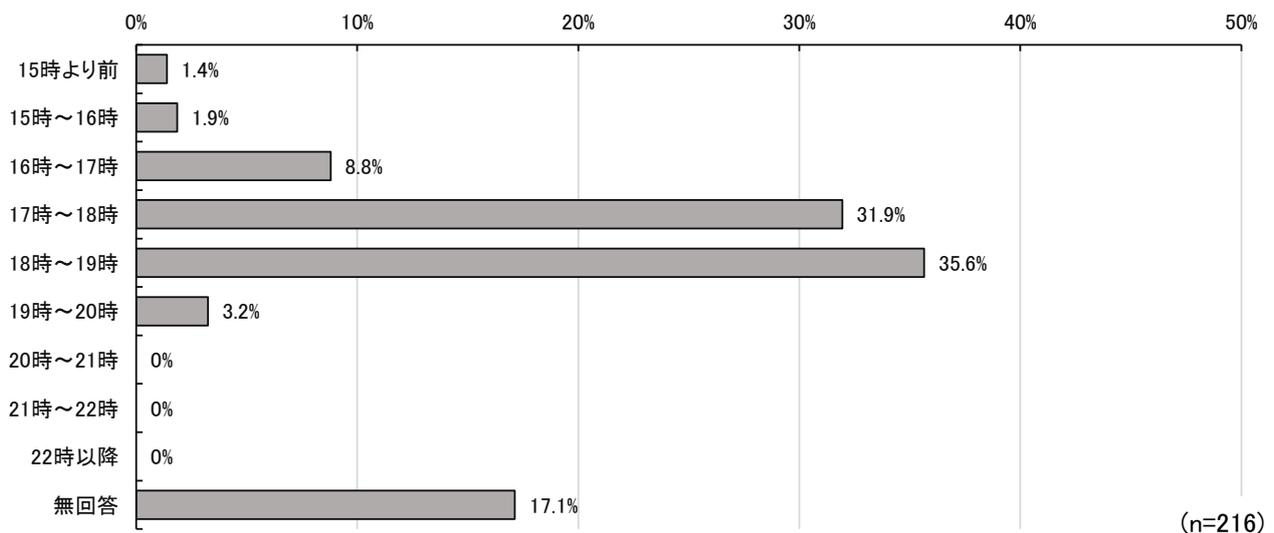
平日の利用状況については、「利用している」が94.3%、「利用していない」が4.4%となっています。

【平日の利用状況】



利用している時間帯については、「18時～19時」が35.6%と最も高く、次いで「17時～18時」(31.9%)、「16時～17時」(8.8%)等の順となっています。

【利用終了時間】

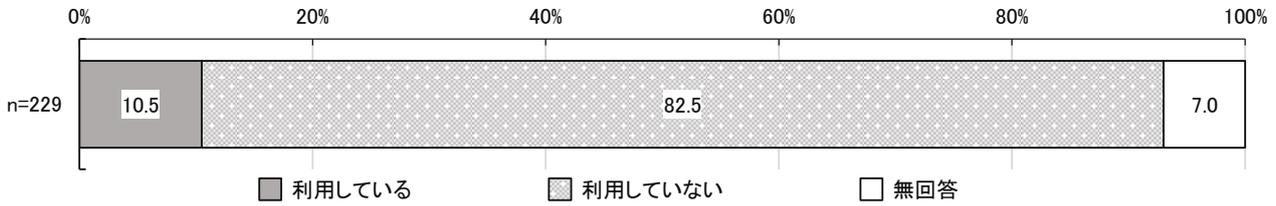


「利用していない」と答えた方の利用希望については、「利用する必要はない」が4件、「週に1～2回は利用したい」が1件となっています。

(土曜日)

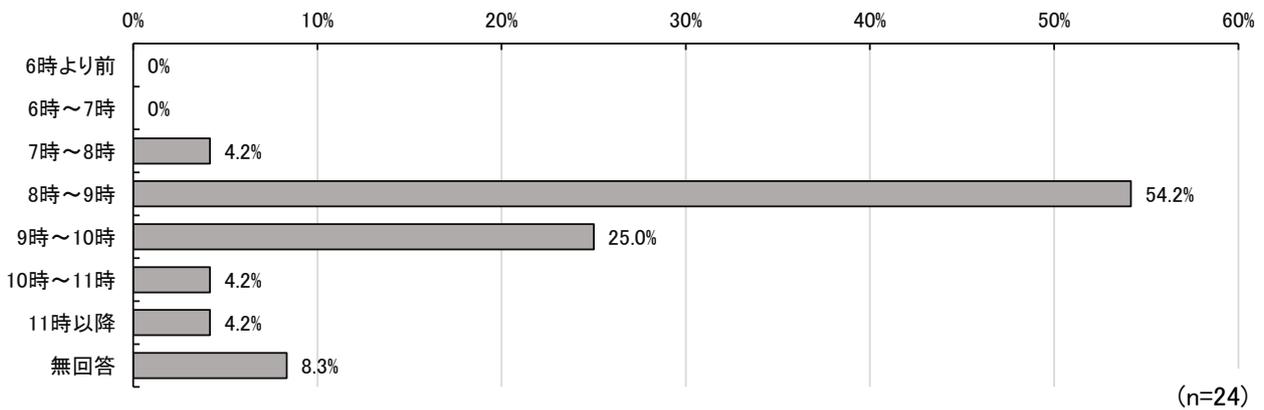
土曜日の利用状況については、「利用していない」が82.5%、「利用している」が10.5%となっています。

【土曜日の利用状況】



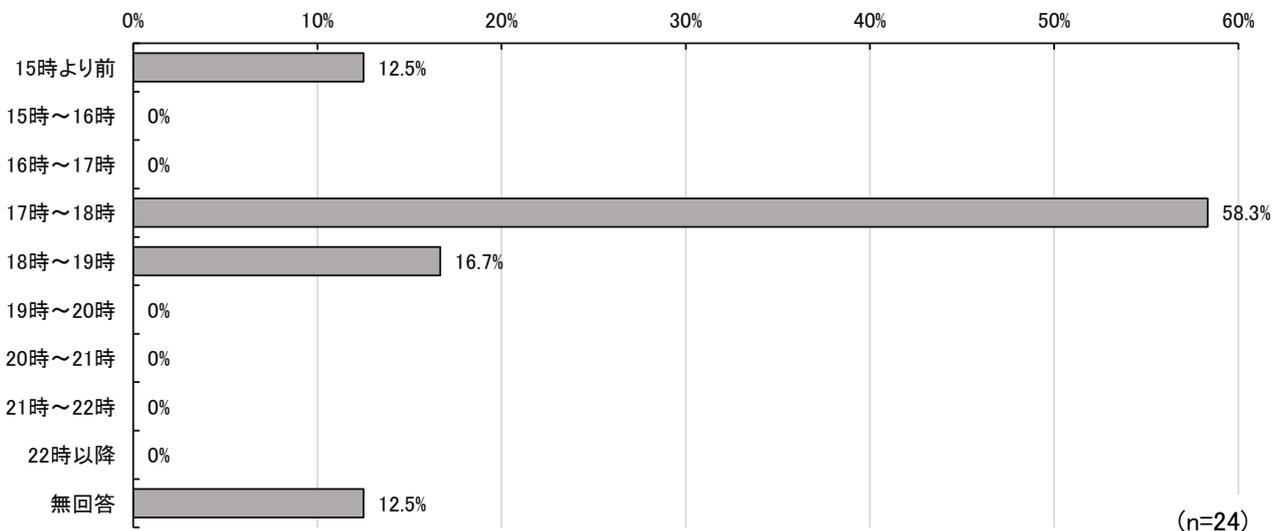
「利用している」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が54.2%と最も高く、次いで「9時～10時」(25.0%)等の順となっています。

【利用開始時間】



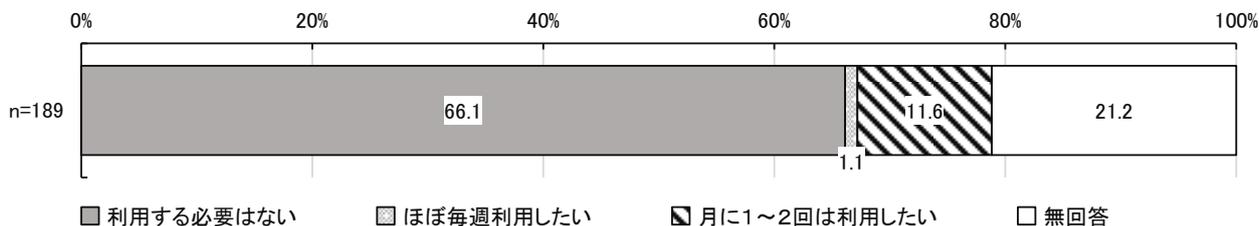
「利用している」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時～18時」が58.3%と最も高く、次いで「18時～19時」(16.7%)、「15時より前」(12.5%)の順となっています。

【利用終了時間】



「利用していない」と答えた方の利用希望については、「利用する必要はない」が66.1%と最も高く次いで「月に1~2回は利用したい」(11.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.1%)の順となっています。

【利用希望】

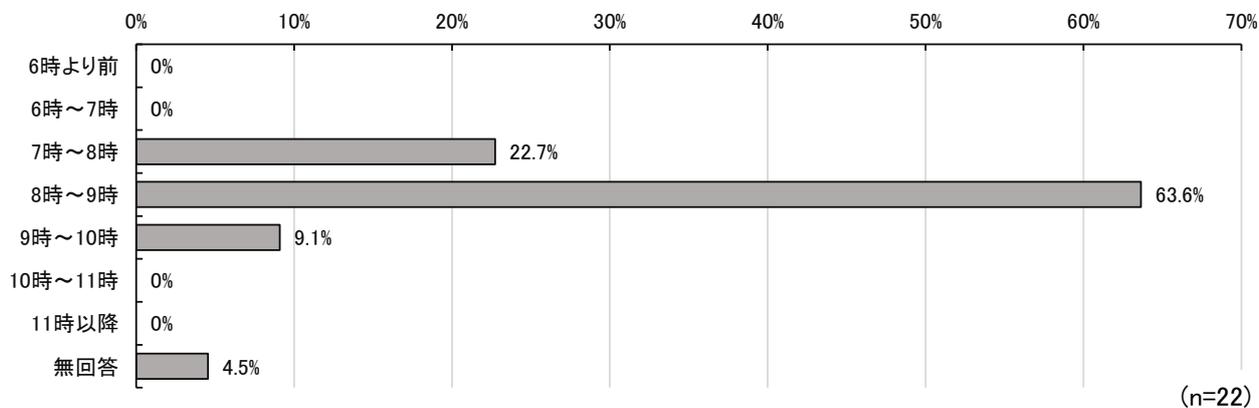


「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時~9時」が2件となっています。

「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」「19時~20時」がそれぞれ1件となっています。

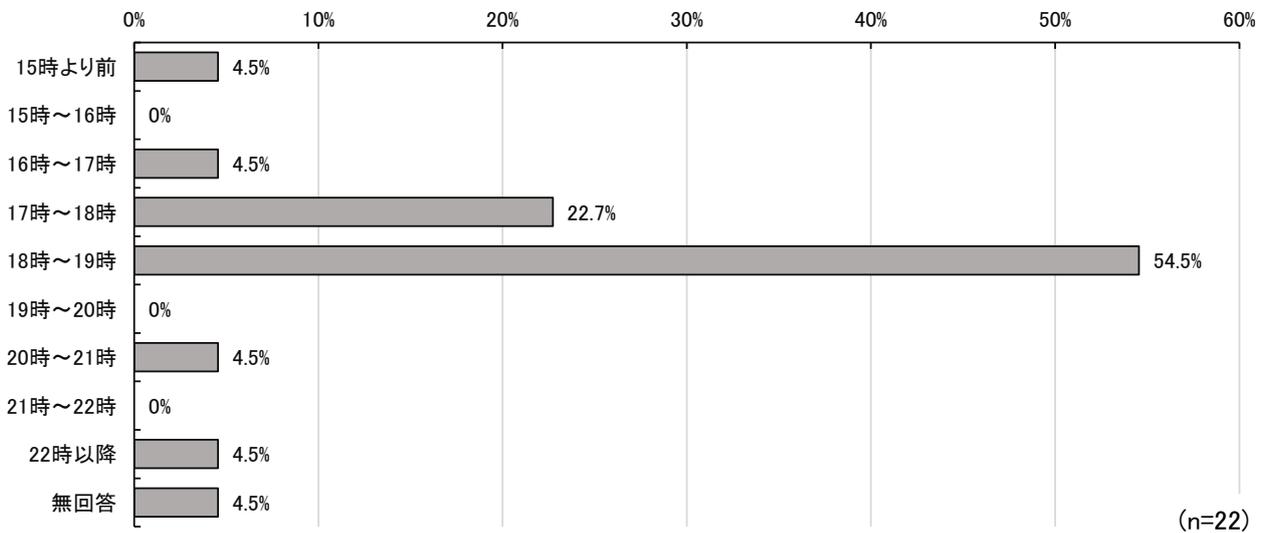
「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時~9時」が63.6%と最も高く、次いで「7時~8時」(22.7%)、「9時~10時」(9.1%)の順となっています。

【利用開始時間】



「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「18時~19時」が54.5%と最も高く、次いで「17時~18時」(22.7%)等の順となっています。

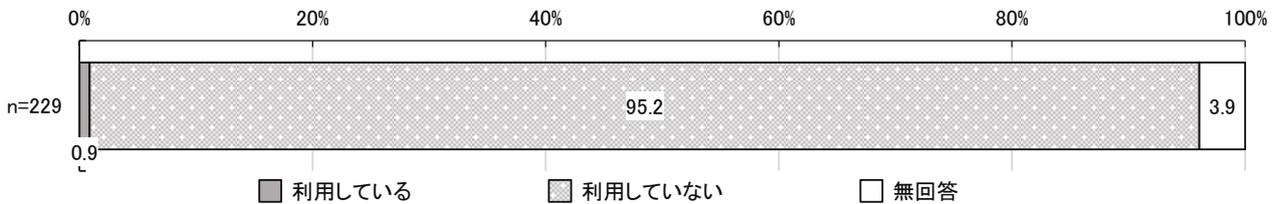
【利用終了時間】



(日曜日・祝日)

日曜日・祝日の利用状況については、「利用していない」が95.2%、「利用している」が0.9%となっています。

【日曜日・祝日の利用状況】

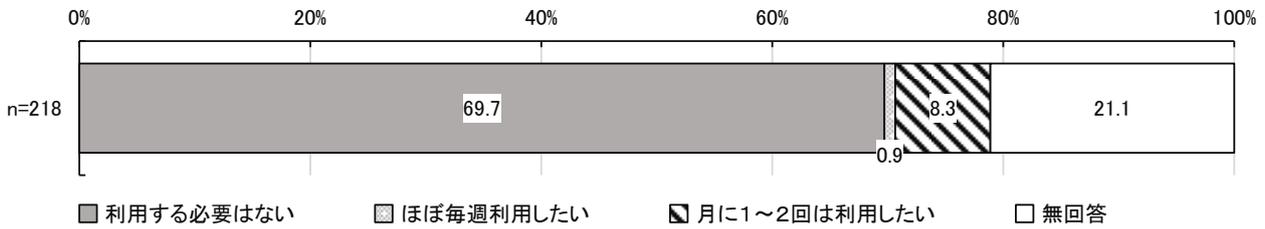


「利用している」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時~9時」が1件となっています。

「利用している」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「18時~19時」が1件となっています。

「利用していない」と答えた方の利用希望については、「利用する必要はない」が69.7%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」(8.3%)、「ほぼ毎週利用したい」(0.9%)の順となっています。

【日曜日・祝日の利用希望】

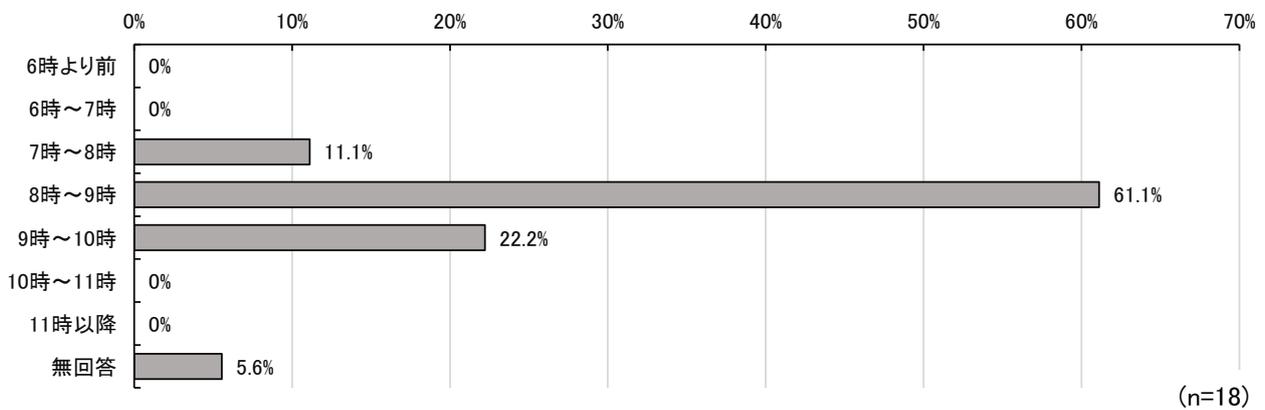


「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「7時~8時」「9時~10時」がそれぞれ1件となっています。

「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「18時~19時」「22時以降」がそれぞれ1件となっています。

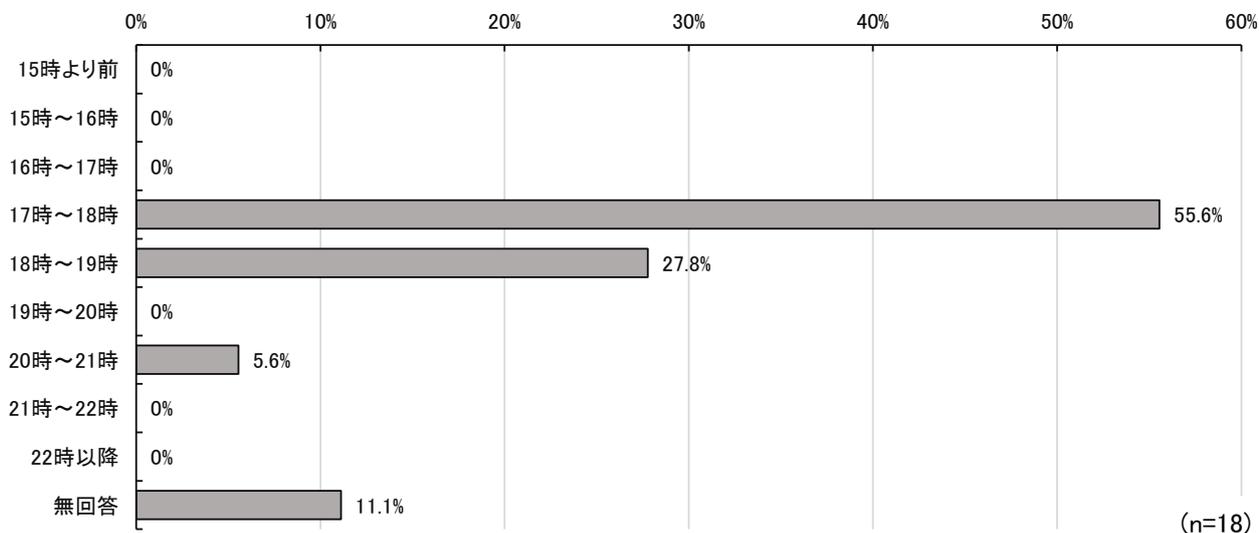
「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時~9時」が61.1%と最も高く、次いで「9時~10時」(22.2%)、「7時~8時」(11.1%)の順となっています。

【利用開始時間】



「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」が55.6%と最も高く、次いで「18時~19時」(27.8%)、「20時~21時」(5.6%)の順となっています

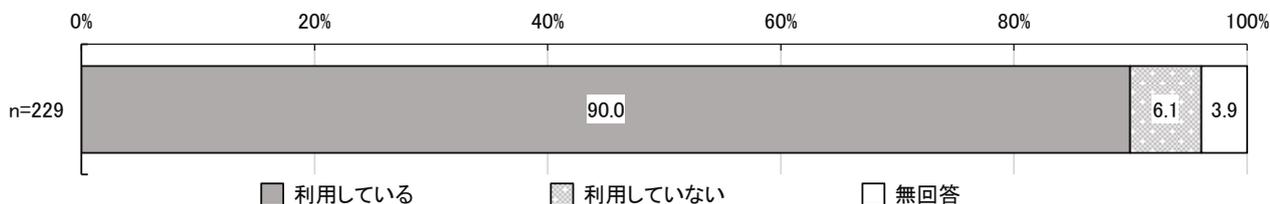
【利用終了時間】



(夏休み等長期休業期)

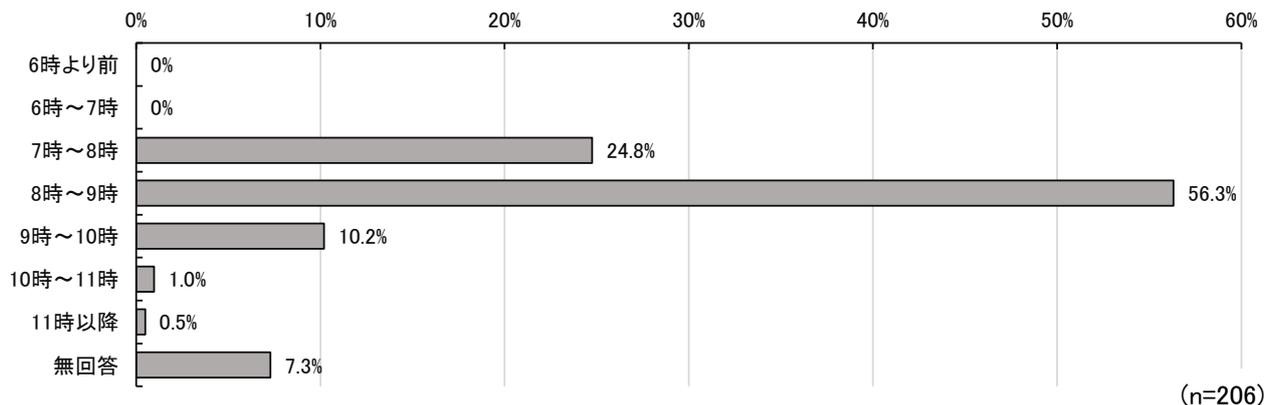
夏休み等長期休業期の利用状況については、「利用している」が90.0%、「利用していない」が6.1%となっています。

【夏休み等長期休業期の利用状況】

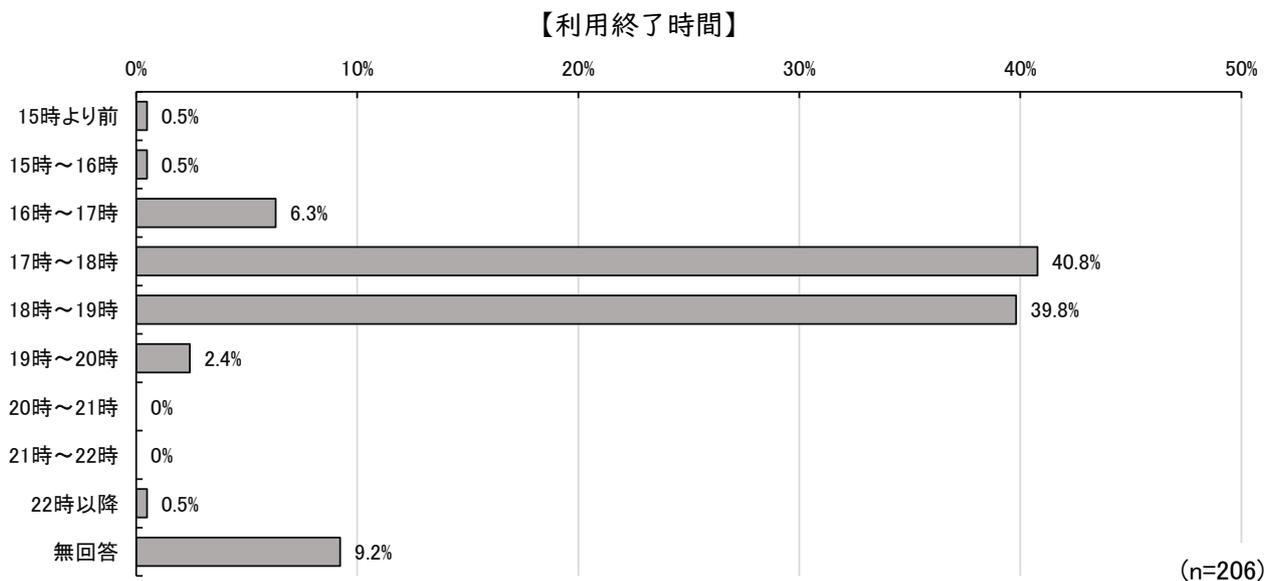


「利用している」と答えた方の利用している時間帯の利用開始時間については、「8時~9時」が56.3%と最も高く、次いで「7時~8時」(24.8%)、「9時~10時」(10.2%)等の順となっています。

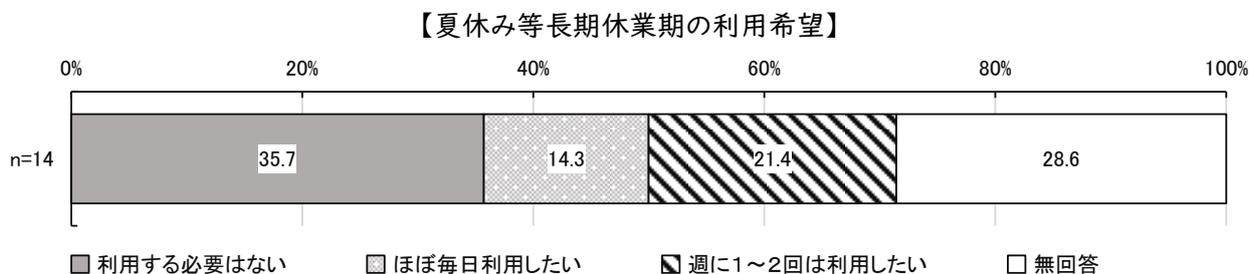
【利用開始時間】



「利用している」と答えた方の利用している時間帯の利用終了時間については、「17時～18時」が40.8%と最も高く、次いで「18時～19時」(39.8%)、「16時～17時」(6.3%)等の順となっています。



「利用していない」と答えた方の利用希望については、「利用する必要はない」が35.7%と最も高く、次いで「週に1～2回は利用したい」(21.4%)、「ほぼ毎日利用したい」(14.3%)となっています。



「ほぼ毎日利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が2件、「7時～8時」が1件となっています。

「ほぼ毎日利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「15時～16時」「16時～17時」「19時～20時」が1件となっています。

「週に1～2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が3件となっています。

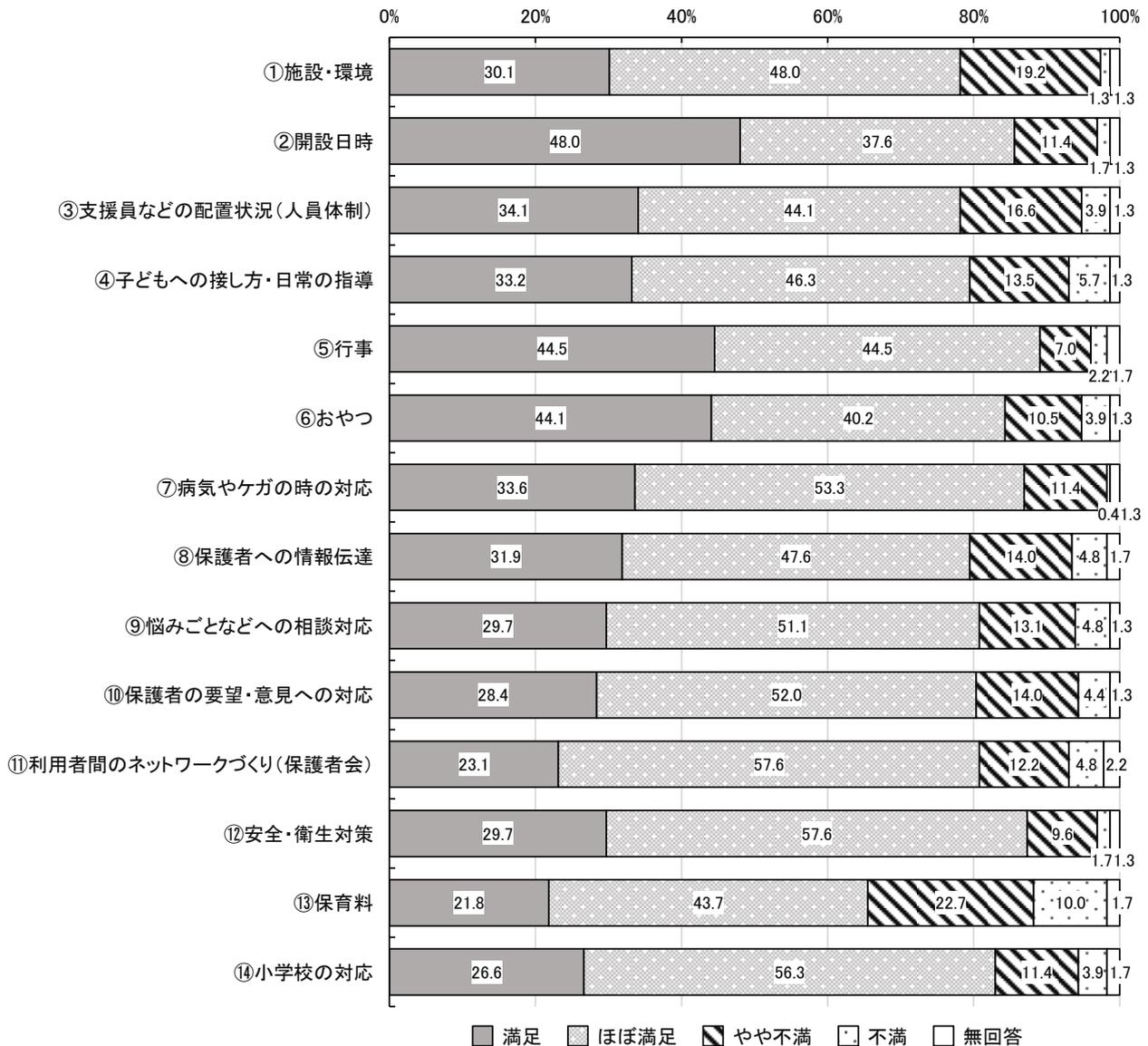
「週に1～2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「16時～17時」「17時～18時」「18時～19時」が1件となっています。

問15-1

問14で「1. 利用している」に○をつけた方に引き続きおうかがいします。
放課後児童クラブ〔学童保育〕における次の①～⑭までの項目に対して、どのように感じて
いますか。それぞれの項目について当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後児童クラブ〔学童保育〕の満足度については、「満足」と「ほぼ満足」をあわせた『満足』でみると、②開設日時、⑤行事、⑦病気やケガの時の対応、⑫安全・衛生対策、⑭小学校の対応で『満足』の割合が高くなっています。

【放課後児童クラブ〔学童保育〕の満足度】

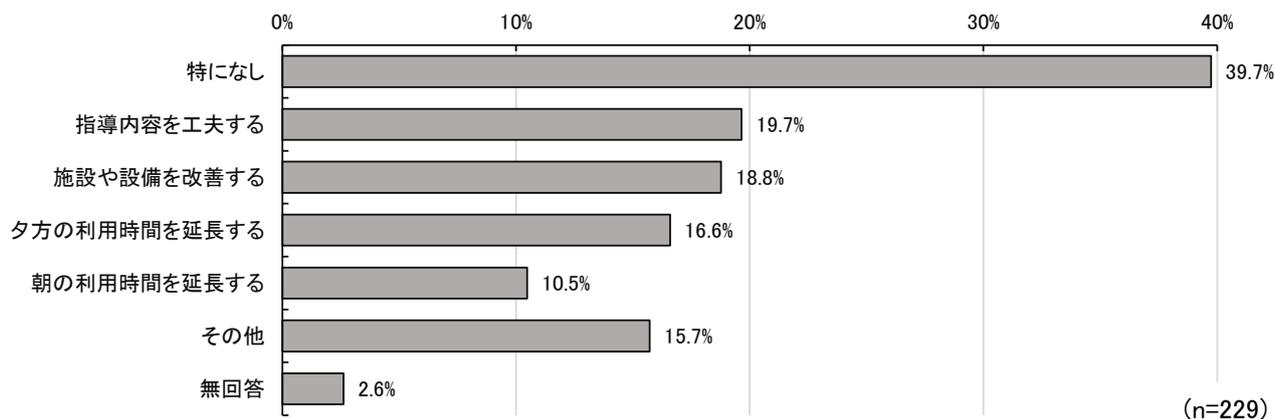


問15-2

問14で「1. 利用している」に○をつけた方に引き続きおうかがいします。
 現在通っている放課後児童クラブ〔学童保育〕にどのようなことを希望しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

現在通っている放課後児童クラブ〔学童保育〕に希望することについては、「特になし」が39.7%と最も高く、次いで「指導内容を工夫する」(19.7%)、「施設や設備を改善する」(18.8%)等の順となっています。

【放課後児童クラブ〔学童保育〕に希望すること】

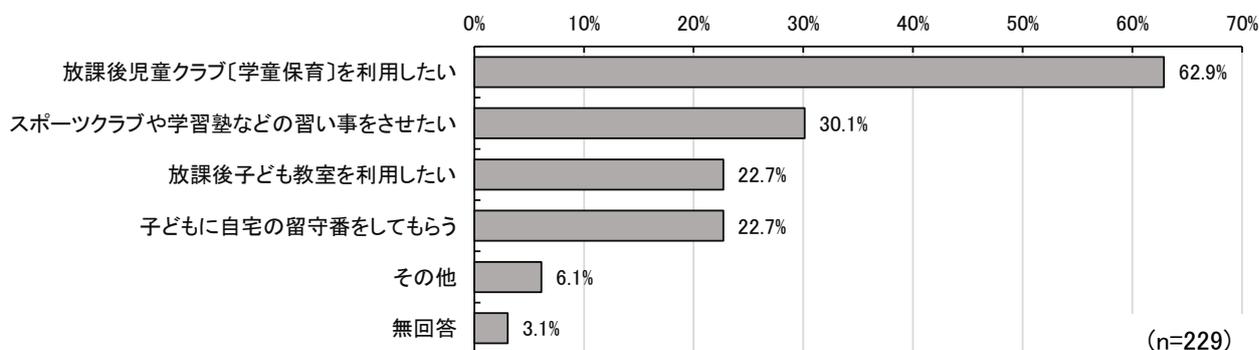


問15-3

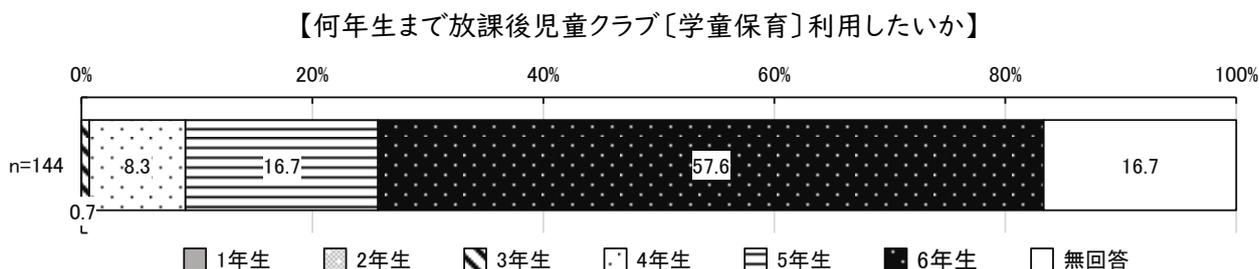
問14で「1. 利用している」に○をつけた方に引き続きおうかがいします。
 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。「1.」を選択した場合は、()内に数字でご記入ください。

小学4年生以降の放課後の過ごし方については、「放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用したい」が62.9%と最も高く、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」(30.1%)、「放課後子ども教室を利用したい」「子どもに自宅の留守番をしてもらう」(それぞれ22.7%)の順となっています。

【小学4年生以降の放課後の過ごし方】

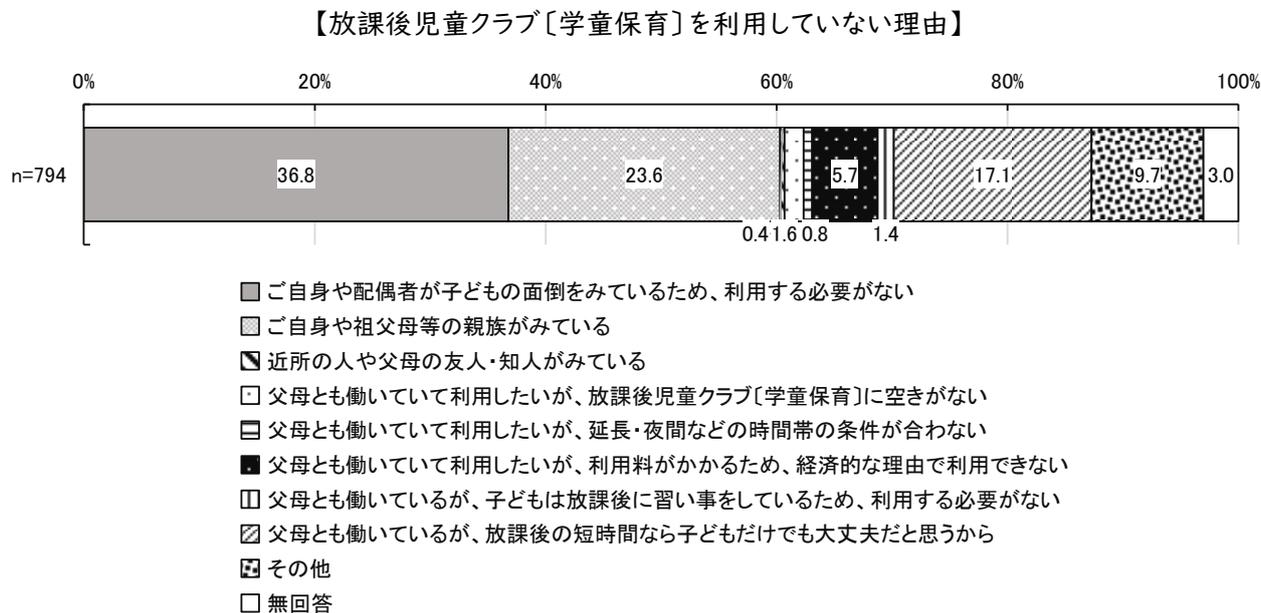


何年生まで「放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用したい」については、「6年生」が57.6%と最も高く、次いで「5年生」が16.7%となっています。



問16 問14で「2. 利用していない」に○をつけた方に引き続きおうかがいします。放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用していない理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用していない理由については、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が36.8%と最も高く、次いで「ご自身や祖父母等の親族がみている」(23.6%)、「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」(17.1%)等の順となっています。

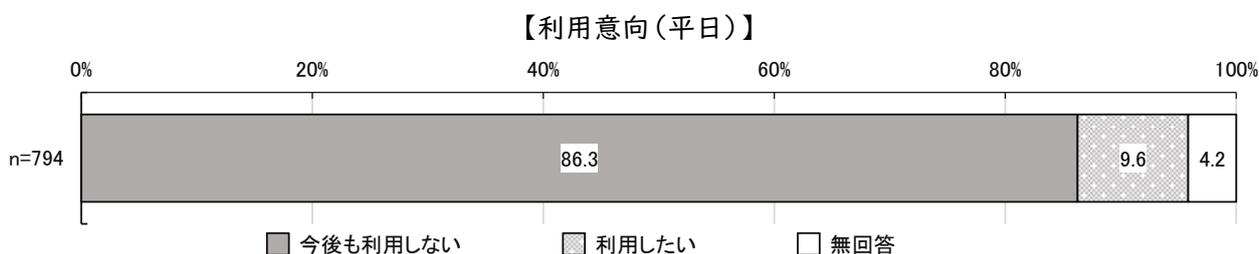


問16-1

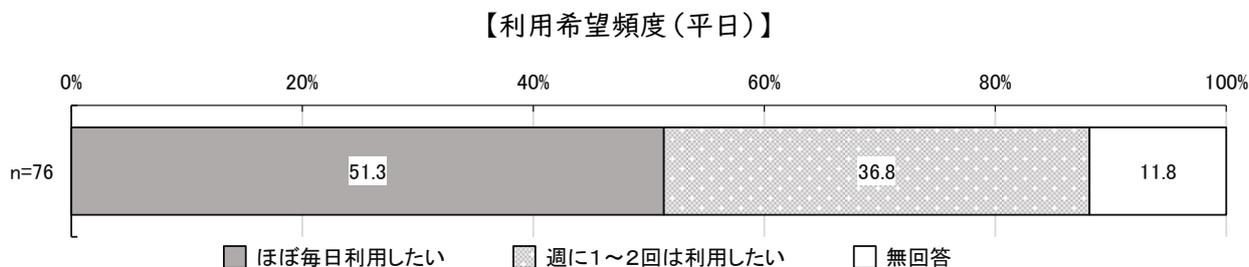
問14で「2. 利用していない」に○をつけた方に引き続きおうかがいします。封筒の宛名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用したいとお考えですか。平日、土曜日、日曜日・祝日、夏休み等長期休業期ごとに、当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、ア又はイの当てはまるもの1つに○をつけ、利用したい時間帯を()内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)(18:00)のように24時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

(平日)

今後の平日の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用意向については、「今後も利用しない」が86.3%、「利用したい」が9.6%となっています。

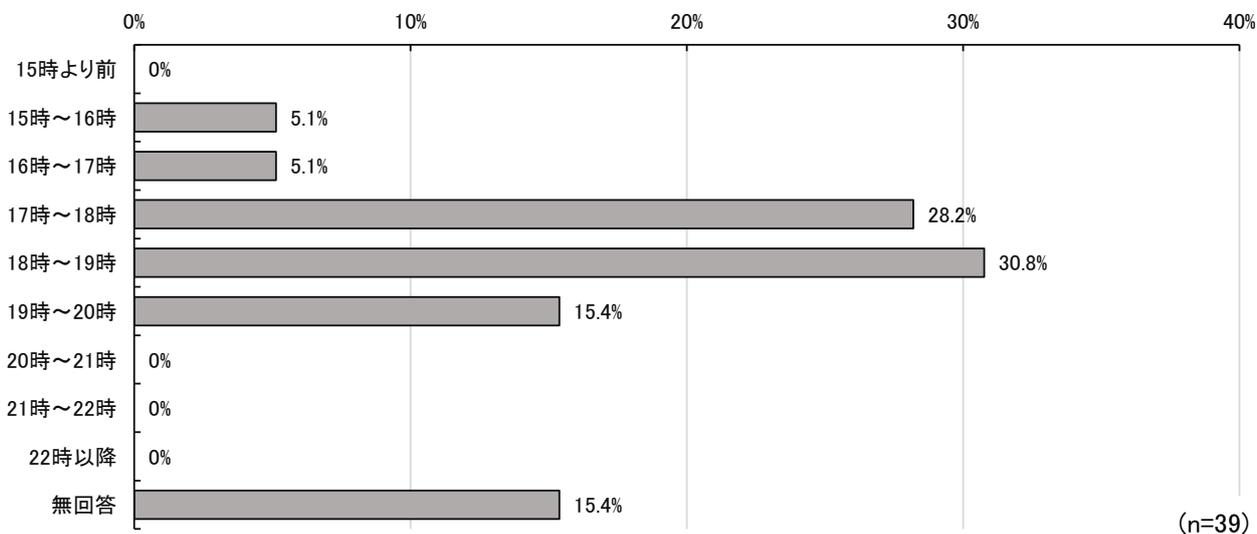


「利用したい」と答えた方の利用頻度については、「ほぼ毎日利用したい」が51.3%、「週に1~2回は利用したい」が36.8%となっています。



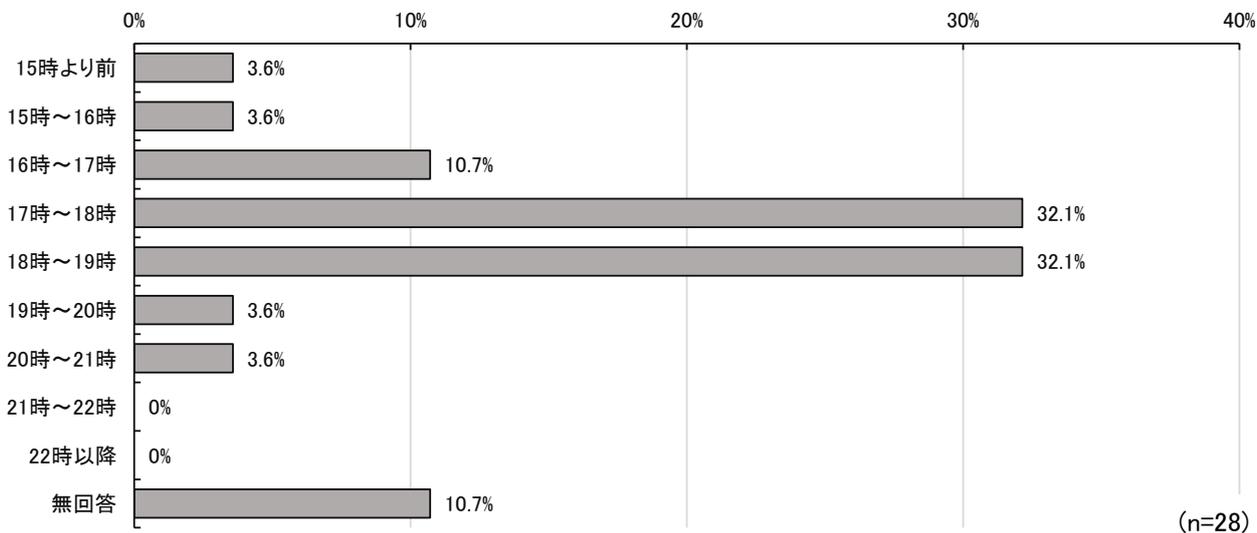
「ほぼ毎日利用したい」と答えた方の利用したい時間の利用終了時間については、「18時～19時」が30.8%と最も高く、次いで「17時～18時」(28.2%)、「19時～20時」(15.4%)等の順となっています。

【利用終了時間】



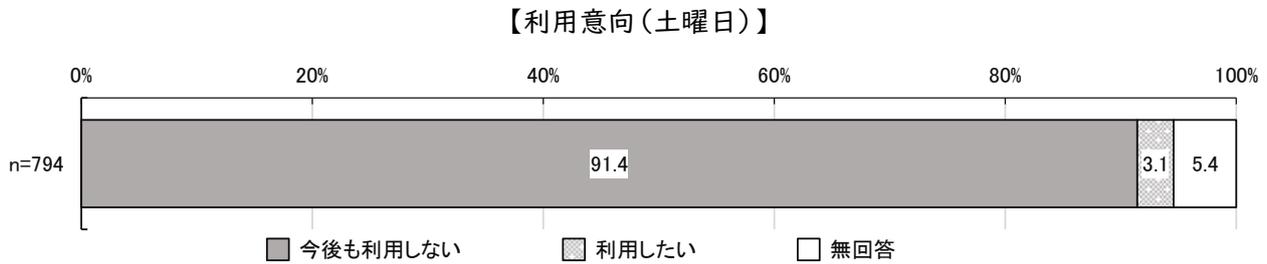
「週に1～2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間の利用終了時間については、「17時～18時」「18時～19時」がそれぞれ32.1%と最も高く、次いで「16時～17時」(10.7%)等の順となっています。

【利用終了時間】

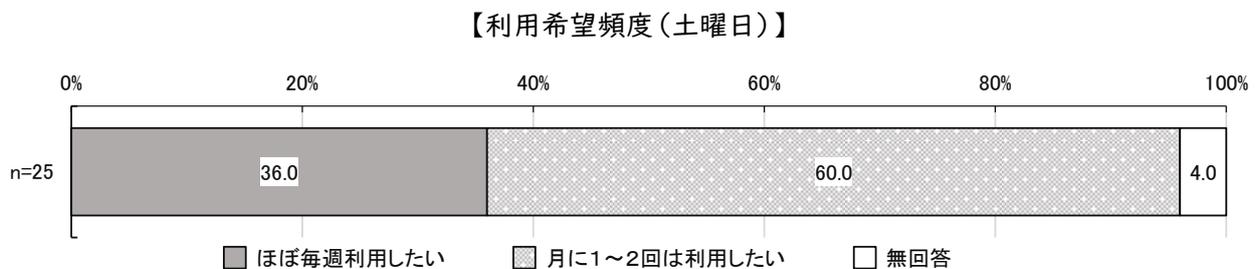


(土曜日)

今後の土曜日の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用意向については、「今後も利用しない」が91.4%、「利用したい」が3.1%となっています。



「利用したい」と答えた方の利用頻度については、「月に1~2回は利用したい」が60.0%、「ほぼ毎週利用したい」が36.0%となっています。

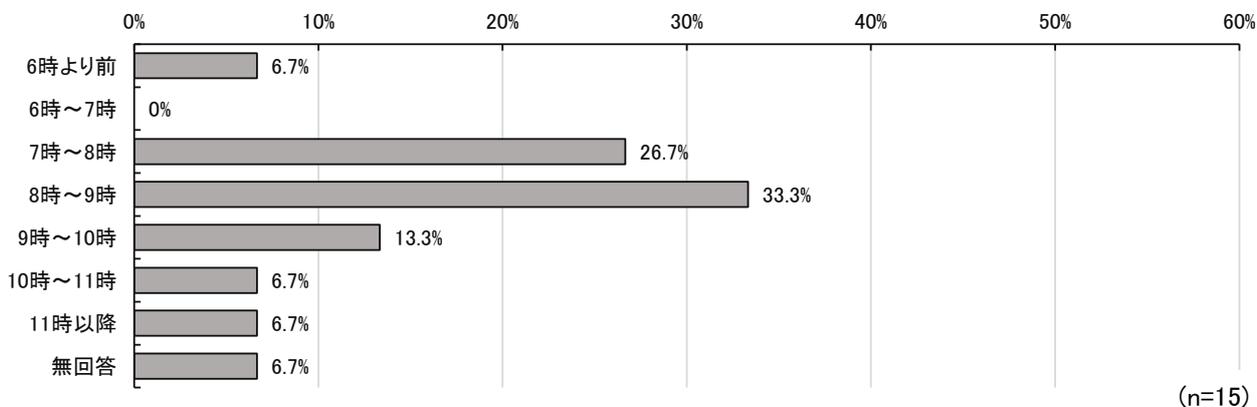


「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「9時~10時」が4件、「7時~8時」「8時~9時」がそれぞれ2件、「10時~11時」が1件となっています。

「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」「18時~19時」がそれぞれ3件、「15時より前」「16時~17時」「19時~20時」がそれぞれ1件となっています。

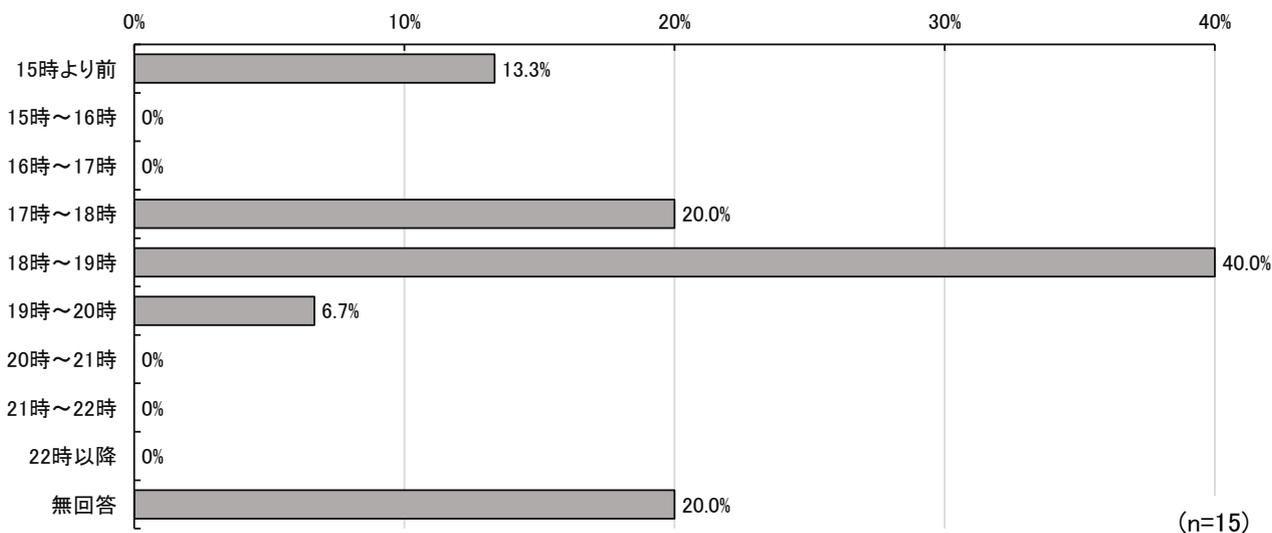
「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時~9時」が33.3%と最も高く、次いで「7時~8時」(26.7%)、「9時~10時」(13.3%)等の順となっています。

【利用開始時間】



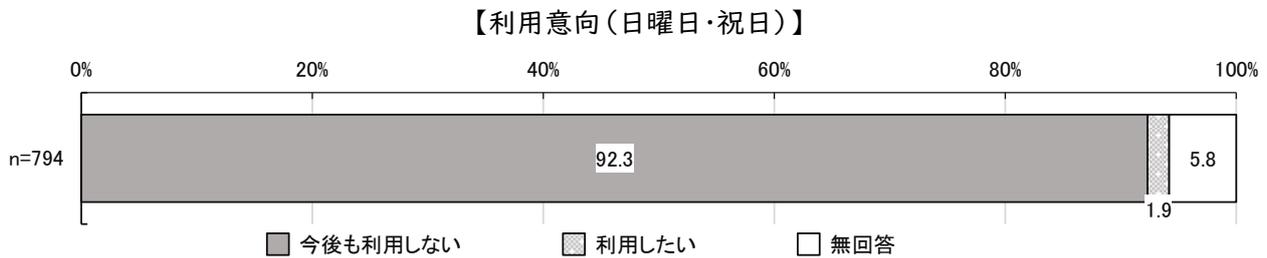
「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「18時~19時」が40.0%と最も高く、次いで「17時~18時」(20.0%)、「15時より前」(13.3%)等の順となっています。

【利用終了時間】

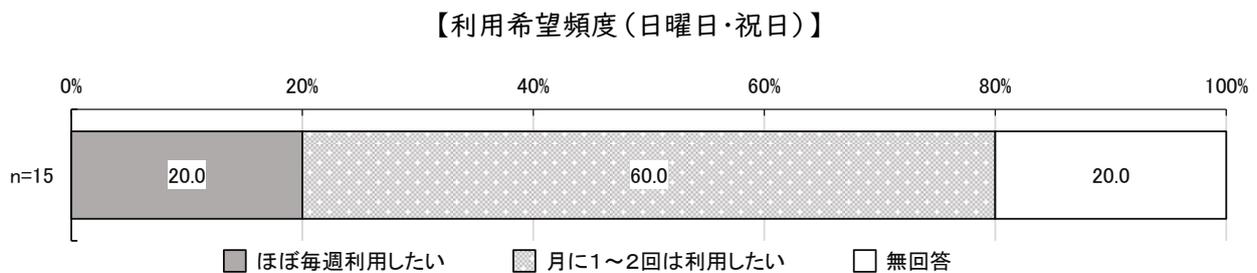


(日曜日・祝日)

今後の日曜日・祝日の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用意向については、「今後も利用しない」が92.3%、「利用したい」が1.9%となっています。



「利用したい」と答えた方の利用頻度については、「月に1~2回は利用したい」が60.0%、「ほぼ毎週利用したい」が20.0%となっています。



「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「7時~8時」が2件、「9時~10時」が1件となっています。

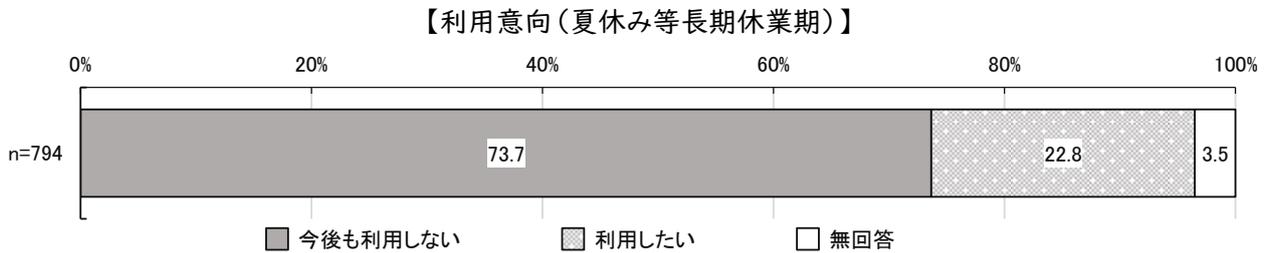
「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」「18時~19時」「19時~20時」がそれぞれ1件となっています。

「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「9時~10時」が3件、「8時~9時」「10時~11時」がそれぞれ2件となっています。

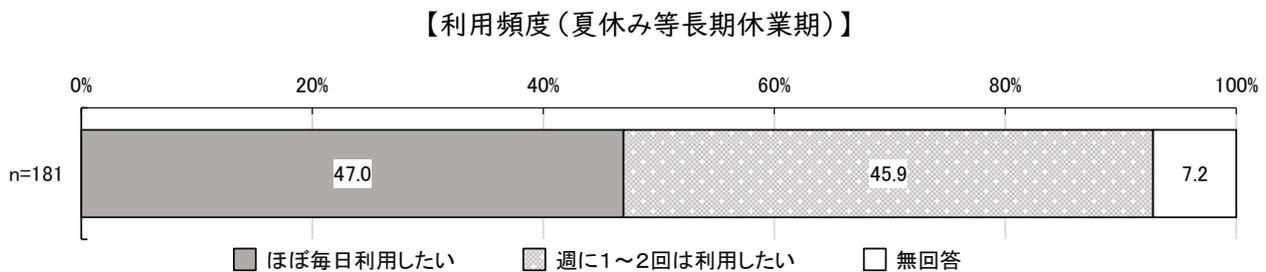
「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」が3件、「16時~17時」「18時~19時」がそれぞれ2件となっています。

(夏休み等長期休業期)

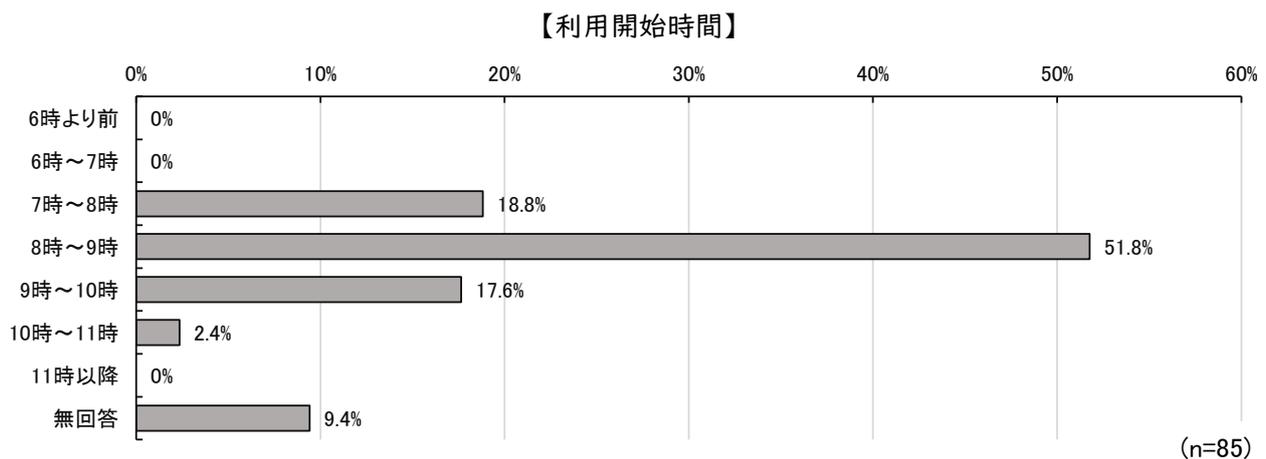
今後の夏休み等長期休業期の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用意向については、「今後も利用しない」が73.7%、「利用したい」が22.8%となっています。



「利用したい」と答えた方の利用頻度については、「ほぼ毎週利用したい」が47.0%、「週に1~2回は利用したい」が45.9%となっています。

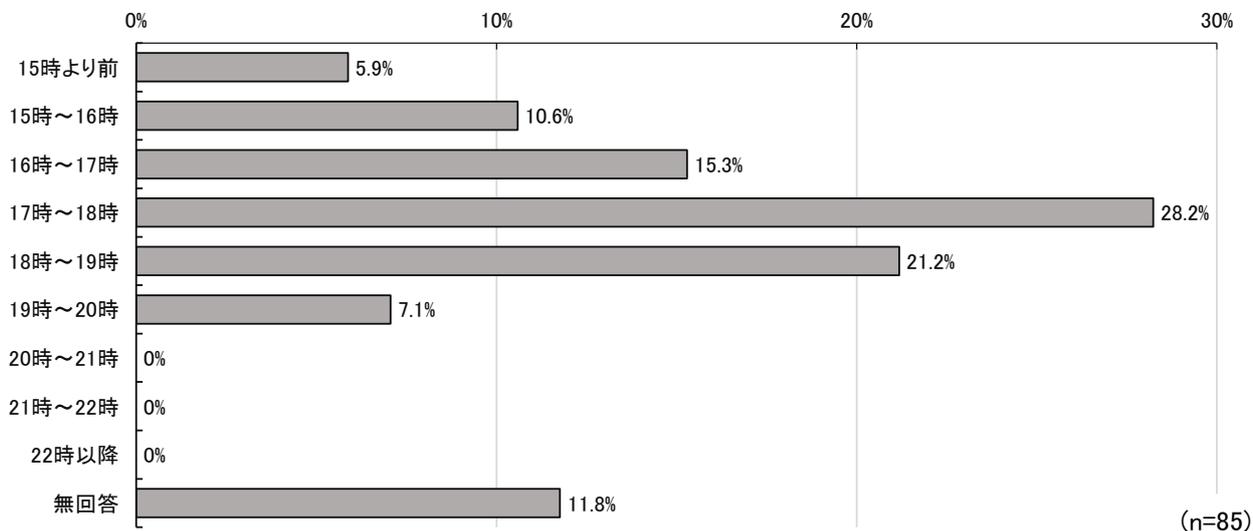


「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時~9時」が51.8%と最も高く、次いで「7時~8時」(18.8%)、「9時~10時」(17.6%)等の順となっています。



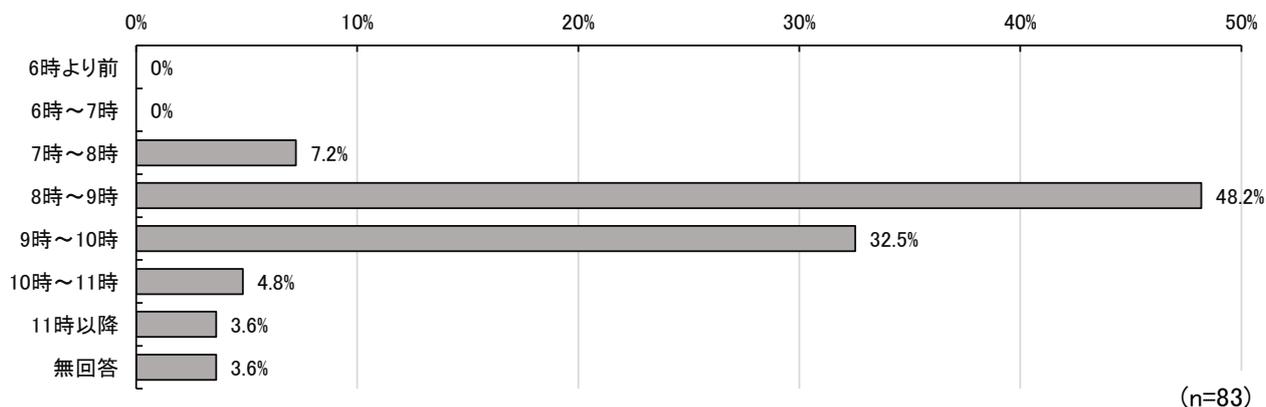
「ほぼ毎週利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時～18時」が28.2%と最も高く、次いで「18時～19時」(21.2%)、「16時～17時」(15.3%)等の順となっています。

【利用終了時間】



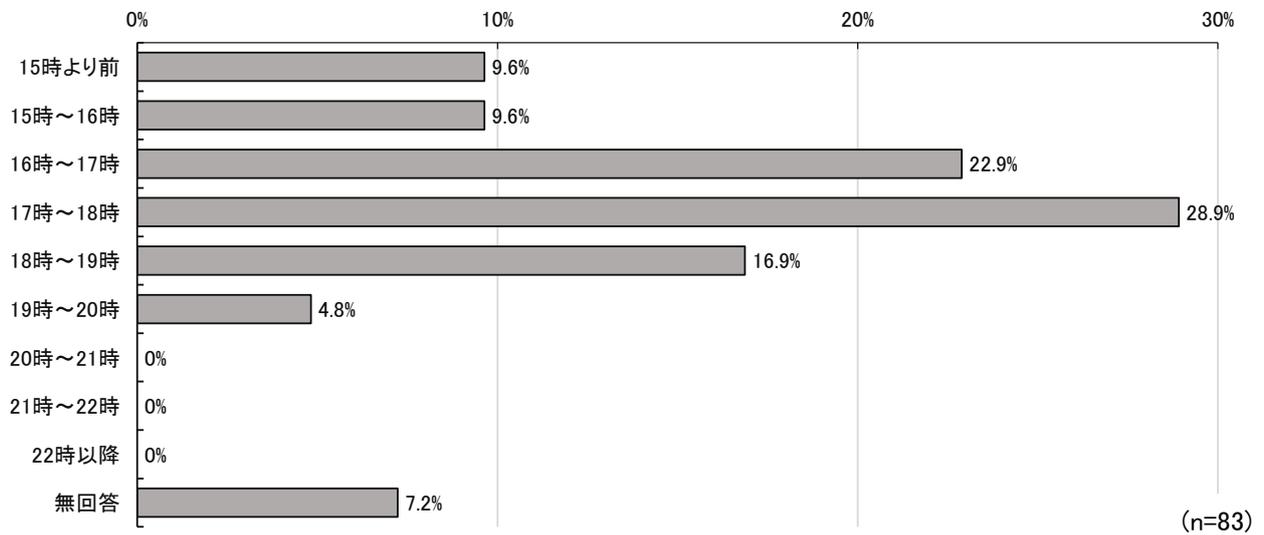
「月に1～2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の開始時刻については、「8時～9時」が48.2%と最も高く、次いで「9時～10時」(32.5%)、「7時～8時」(7.2%)等の順となっています。

【利用開始時間】



「月に1~2回は利用したい」と答えた方の利用したい時間帯の終了時刻については、「17時~18時」が28.9%と最も高く、次いで「16時~17時」(22.9%)、「18時~19時」(16.9%)等の順となっています。

【利用終了時間】

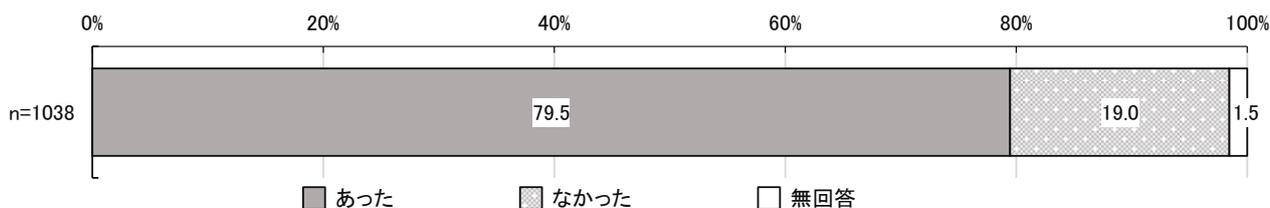


4 お子さんの病気の際の対応や、不定期な一時預かりについて

問 17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかったことはありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

病気やケガで小学校を休むことがあったかどうかについては、「あった」が79.5%、「なかった」が19.0%となっています。

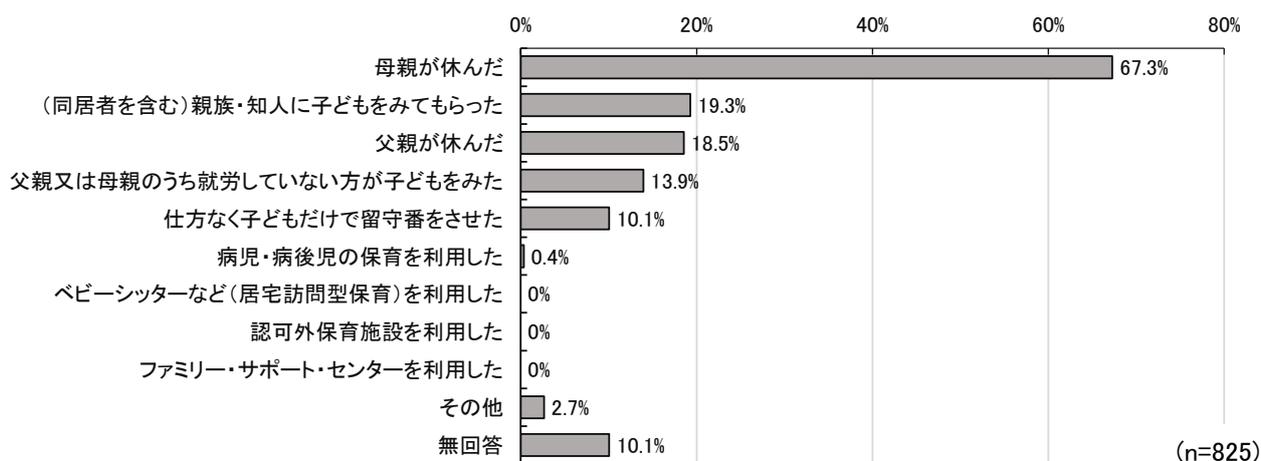
【病気やケガで小学校を休んだかどうか】



問 17-1 問17で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()に数字でご記入ください(半日程度の場合も1日とカウントしてください)。

お子さんが病気やケガで小学校を休んだ際の対処方法については、「母親が休んだ」が67.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(19.3%)、「父親が休んだ」(18.5%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(13.9%)等の順となっています。

【お子さんが病気やケガをした際の対処方法】

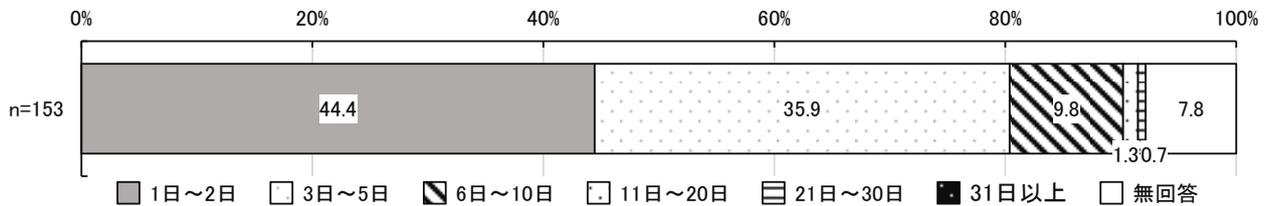


日数

父親が休んだ

父親が休んだ日数は、「1日～2日」が44.4%と最も高く、次いで「3日～5日」(35.9%)、「6日～10日」(9.8%)等の順となっています。

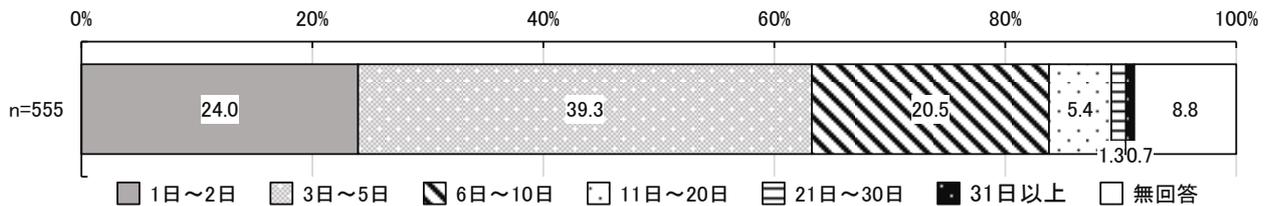
【父親が休んだ日数】



母親が休んだ

母親が休んだ日数は、「3日～5日」が39.3%と最も高く、次いで「1日～2日」(24.0%)、「6日～10日」(20.5%)等の順となっています。

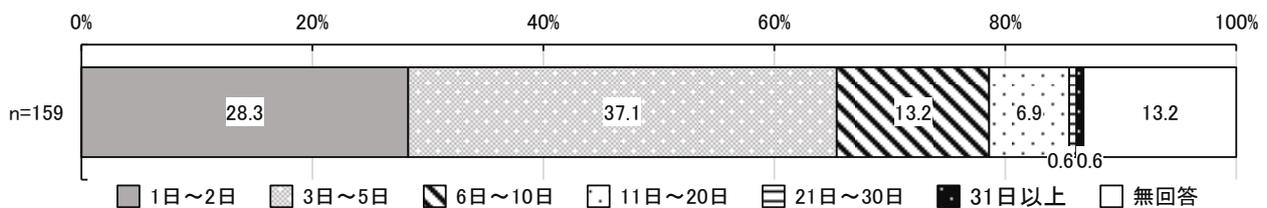
【母親が休んだ日数】



(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった

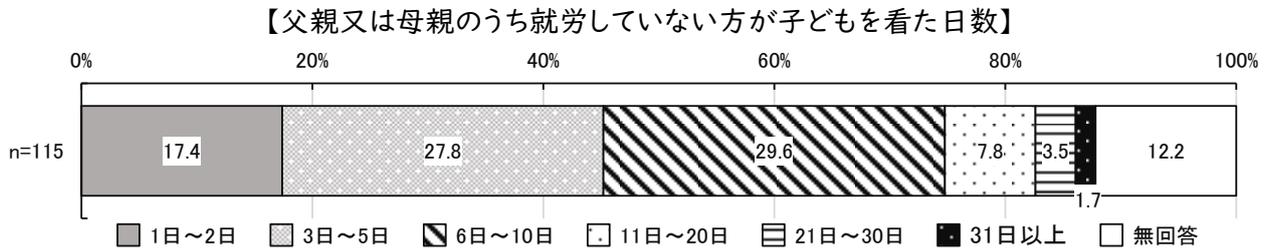
(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった日数は、「3日～5日」が37.1%と最も高く、次いで「1日～2日」(28.3%)、「6日～10日」(13.2%)等の順となっています。

【(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった日数】



父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た

父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た日数は、「6日～10日」が29.6%と最も高く、次いで「3日～5日」(27.8%)、「1日～2日」(17.4%)等の順となっています。



病児・病後児の保育を利用した

病児・病後児の保育を利用した日数は、「3日～5日」が2件、「6日～10日」が1件となっています。

ベビーシッターを利用した

有効回答はありません。

認可外保育施設を利用した

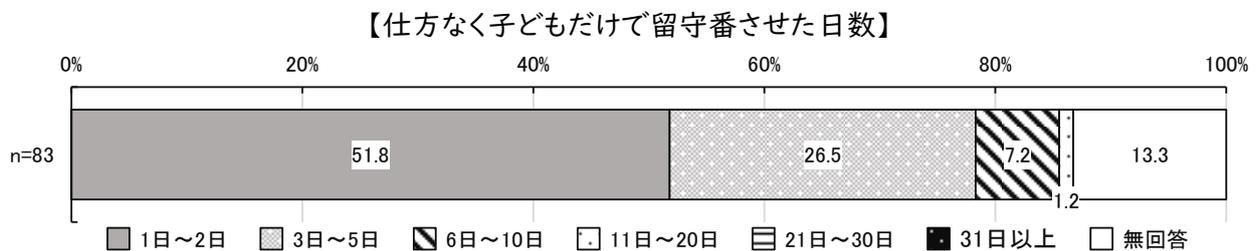
有効回答はありません。

ファミリーサポートセンターを利用した

有効回答はありません。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた

仕方なく子どもだけで留守番させた日数は、「1日～2日」が51.8%と最も高く、次いで「3日～5日」(26.5%)、「6日～10日」(7.2%)等の順となっています。



その他

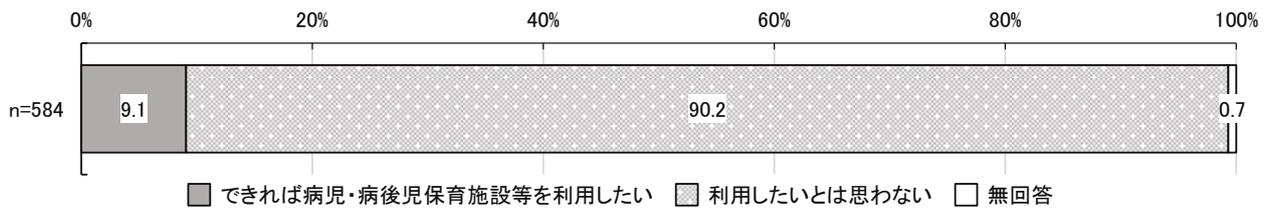
その他の日数は、「3日～5日」「6日～10日」がそれぞれ5件、「1日～2日」が3件、「11日～20日」が1件となっています。

問 17-2

問17-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当
 てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病
 児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の
 受診が必要となります。

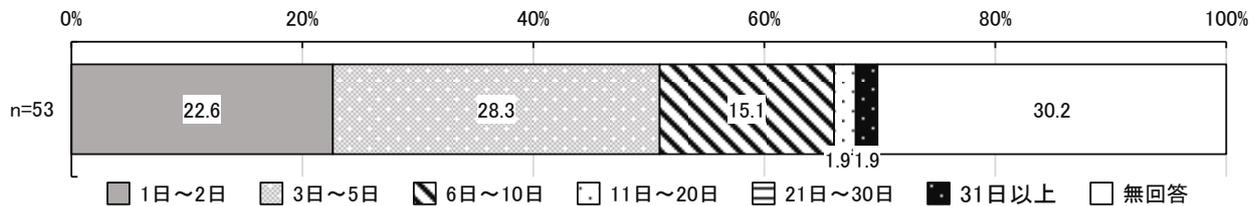
病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思うかどうかについては、「利用したいとは思わない」
 が90.2%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が9.1%となっています。

【病児・病後児保育施設等の利用意向】



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方の希望する利用日数については、「3日
 ~5日」が28.3%と最も高く、次いで「1日~2日」(22.6%)、「6日~10日」(15.1%)等の順となっ
 ています。

【希望する利用日数】

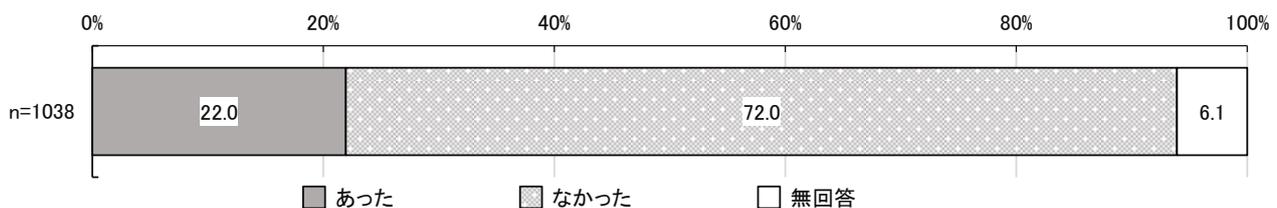


問 18

この1年間に私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な就労などを理由として、子どもを家
 族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか(子どもが病気の時の保育施設などの利
 用は除きます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつ
 け、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

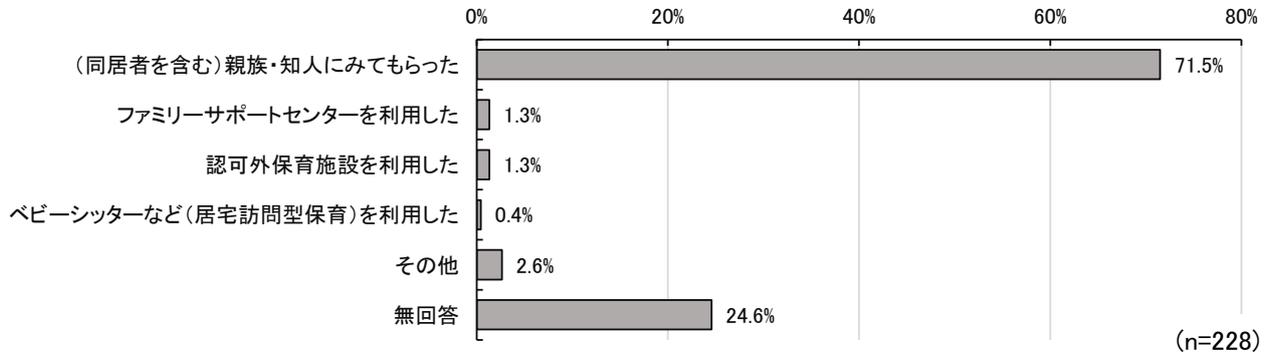
この1年間に、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことがあるかどうかについては、「なかった」
 が72.0%、「あった」が22.0%となっています。

【子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたかどうか】



「あった」と答えた方の1年間の対処方法については、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が71.5%と最も高く、次いで「ファミリーサポートセンターを利用した」「認可外保育施設を利用した」(それぞれ1.3%)等の順となっています。

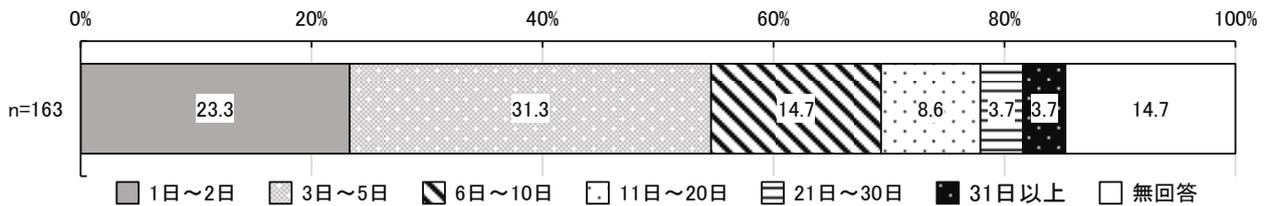
【一時的な子どもの預け先】



(同居者を含む)親族・知人にみてもらった

(同居者を含む)親族・知人にみてもらった日数については、「3日~5日」が31.3%と最も高く、次いで「1日~2日」(23.3%)、「6日~10日」(14.7%)等の順となっています。

【(同居者を含む)親族・知人にみてもらった日数】



ファミリーサポートセンターを利用した

ファミリーサポートセンターを利用した日数については、「1日~2日」が1件となっています。

ベビーシッターなど(居宅訪問型保育)を利用した

ベビーシッター(居宅訪問型保育)を利用した日数については、「3日~5日」が1件となっています。

認可外保育施設を利用した

認可外保育施設を利用した日数については、「1日~2日」「3日~5日」がそれぞれ1件となっています。

その他

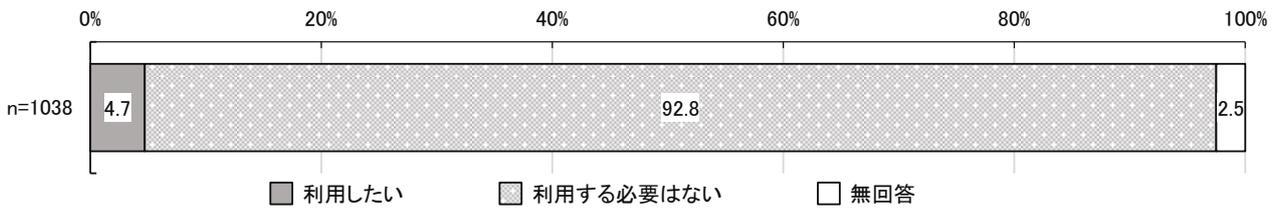
その他の日数については、「1日~2日」「3日~5日」「11日~20日」「31日以上」がそれぞれ1件となっています。

問19

宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹を含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を()内に数字でご記入ください)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

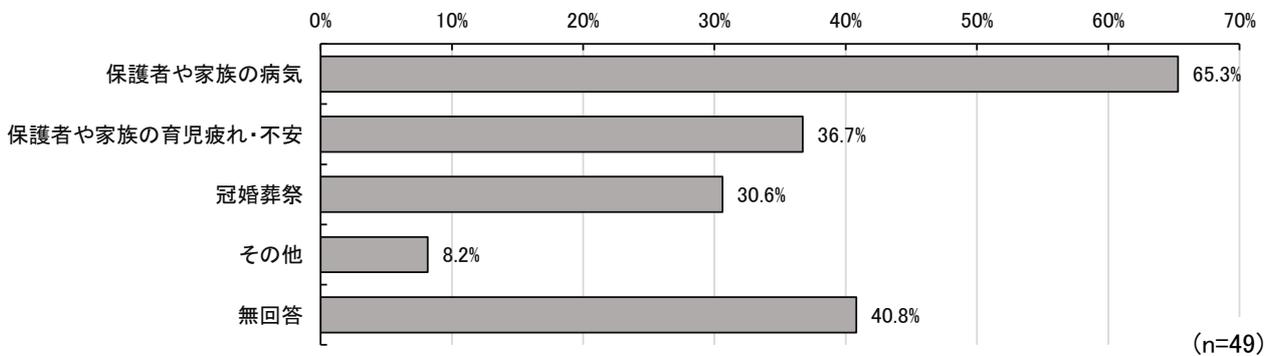
短期入所生活援助事業の利用希望については、「利用する必要はない」が92.8%、「利用したい」が4.7%となっています。

【短期入所生活援助事業の利用希望】



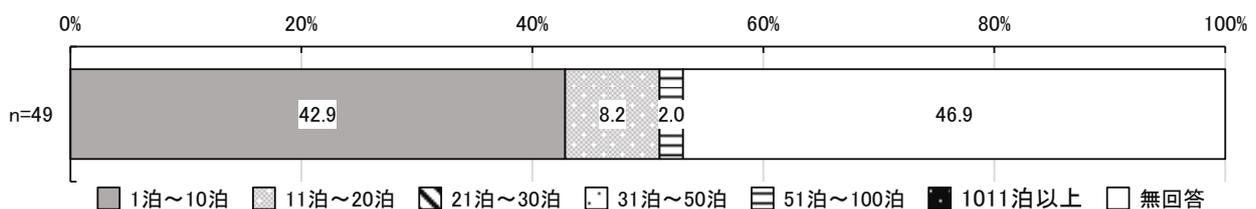
利用したい理由については、「保護者や家族の病気」が65.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(36.7%)、「冠婚葬祭」(30.6%)の順となっています。

【利用したい理由】



1年間の合計利用泊数

利用したい泊数については、「1泊～10泊」が42.9%と最も高く、次いで「11泊～20泊」(8.2%)、「51泊～100泊」(2.0%)の順となっています。

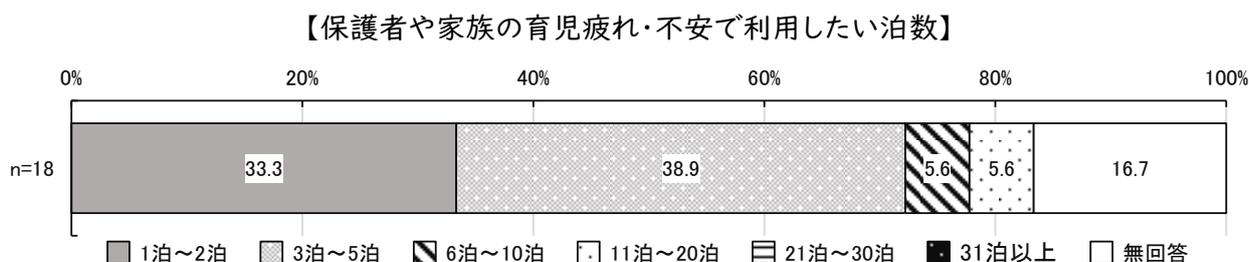


冠婚葬祭

冠婚葬祭で利用したい泊数については、「1泊～2泊」が10件、「3泊～5泊」が2件となっています。

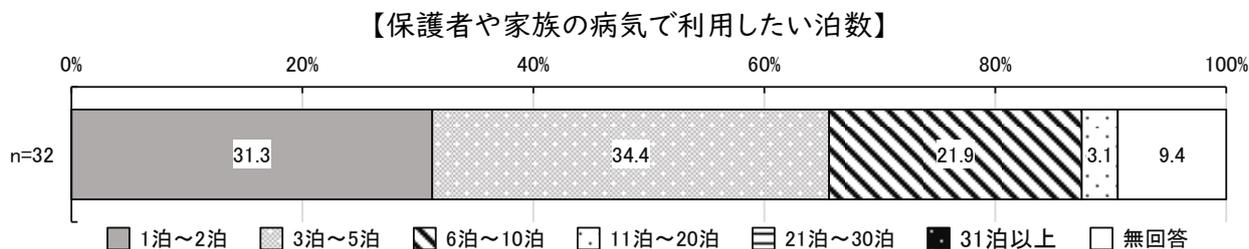
保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の育児疲れ・不安で利用したい泊数については、「3泊～5泊」が38.9%と最も高く、次いで「1泊～2泊」(33.3%)、「6泊～10泊」「11泊～20泊」(それぞれ5.6%)となっています。



保護者や家族の病気

保護者や家族の病気で利用したい日数については、「3泊～5泊」が34.4%と最も高く、次いで「1泊～2泊」(31.3%)、「6泊～10泊」(21.9%)等の順となっています。



その他

その他の理由で利用したい日数については、「1泊～2泊」「6泊～10泊」がそれぞれ1件となっています。

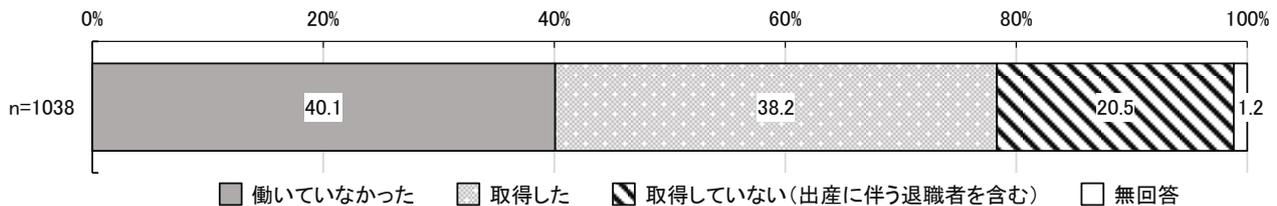
5 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問20 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(母親)

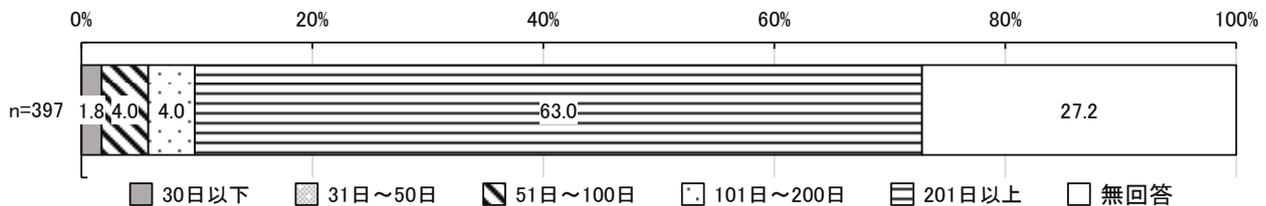
育児休業の取得の有無については、「働いていなかった」が40.1%と最も高く、次いで「取得した」(38.2%)、「取得していない(出産に伴う退職者を含む)」(20.5%)の順となっています。

【育児休業の取得の有無(母親)】



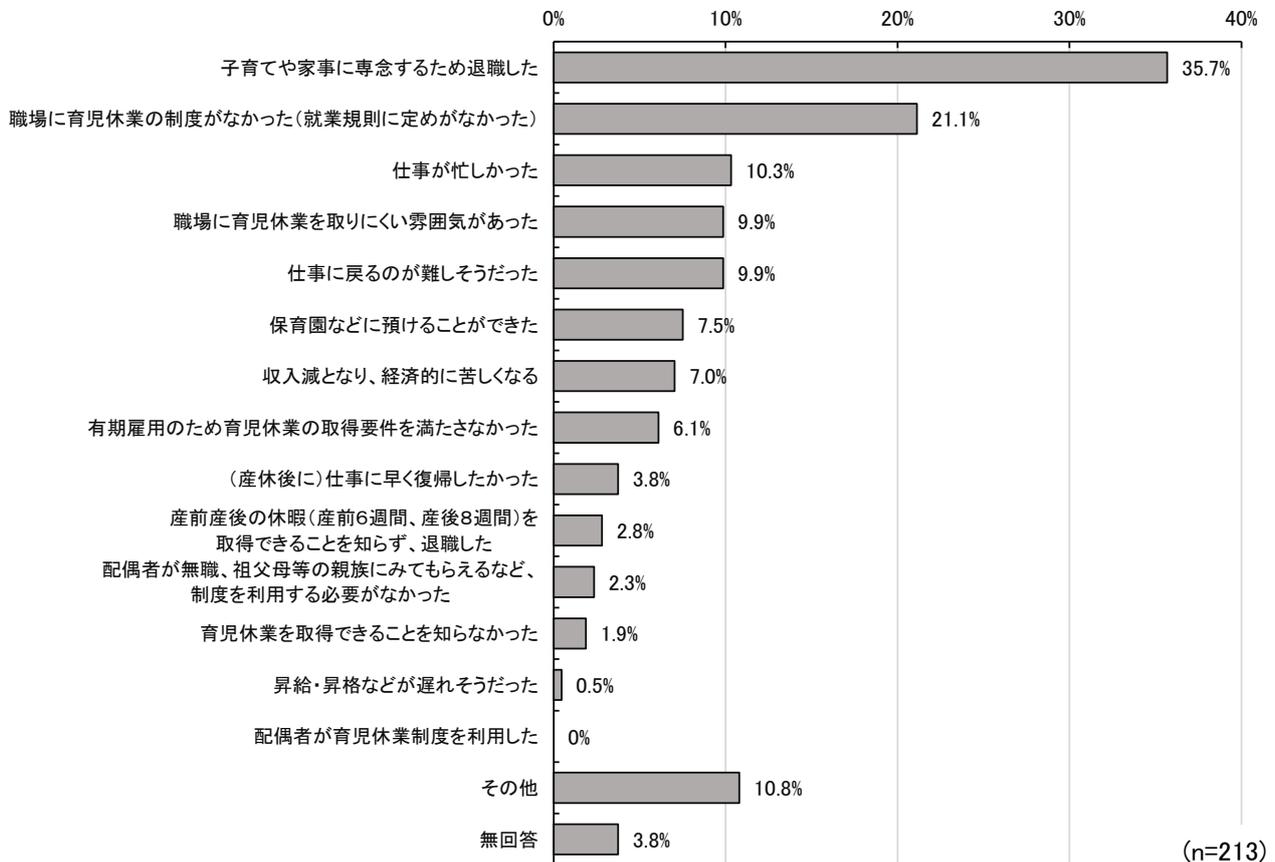
育児休業の取得期間については、「201日以上」が63.0%と最も高く、次いで「51日~100日」「101日~200日」(それぞれ4.0%)等の順となっています。

【育児休業の取得期間(母親)】



育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が35.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(21.1%)、「仕事が忙しかった」(10.3%)等の順となっています。

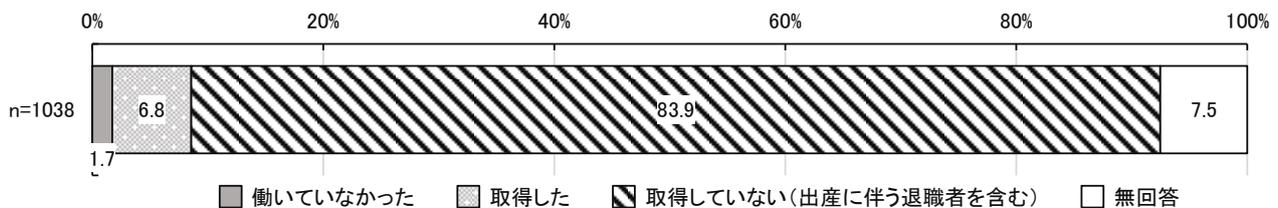
【育児休業を取得していない理由(母親)】



(父親)

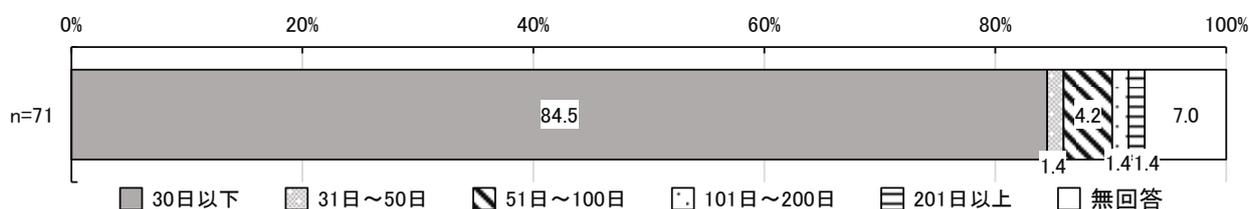
育児休業の取得の有無については、「取得していない(出産に伴う退職者を含む)」が83.9%と最も高く、次いで「取得した」(6.8%)、「働いていなかった」(1.7%)の順となっています。

【育児休業の取得の有無(父親)】



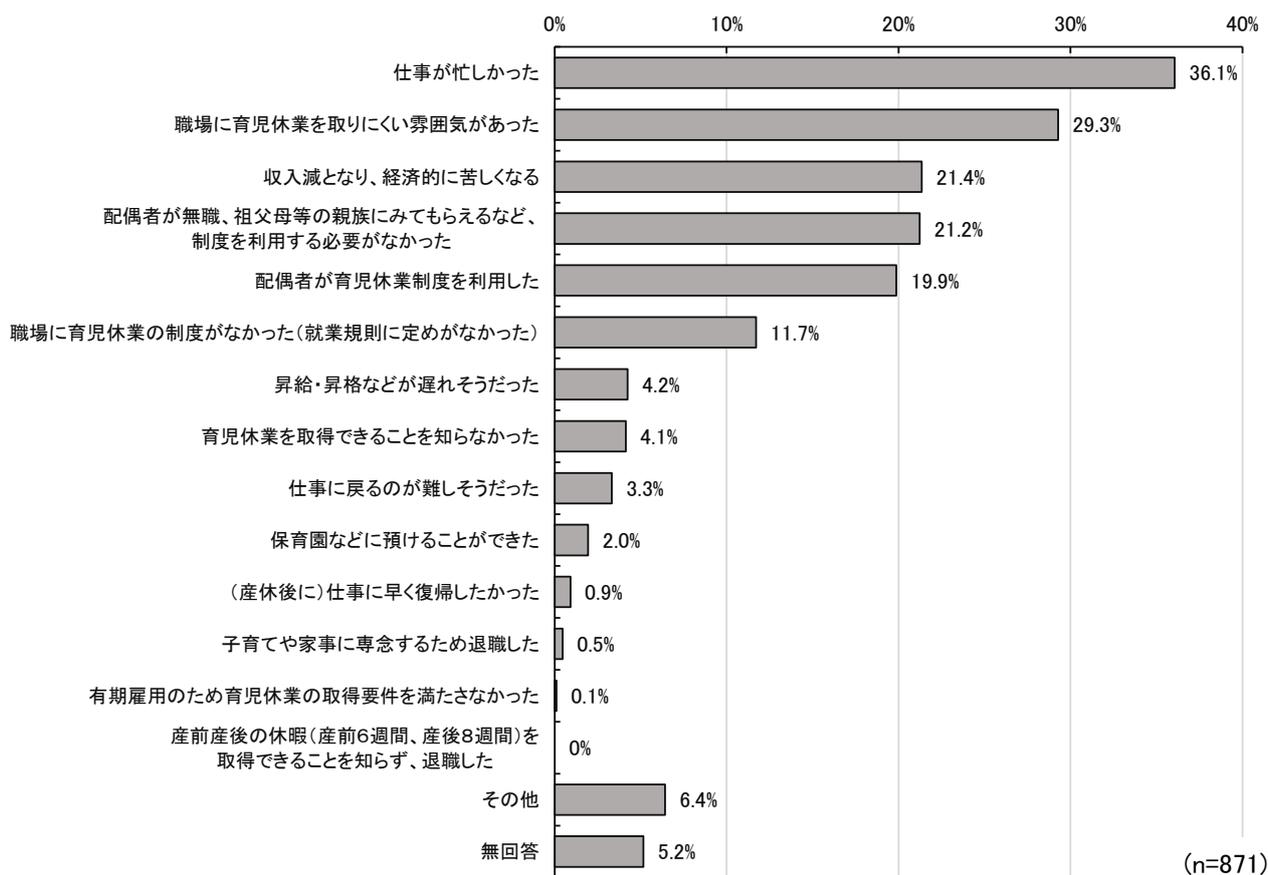
育児休業の取得期間については、「30日以下」が84.5%と最も高く、次いで「51日～100日」(4.2%)等の順となっています。

【育児休業の取得期間(父親)】



育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が36.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(29.3%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(21.4%)等の順となっています。

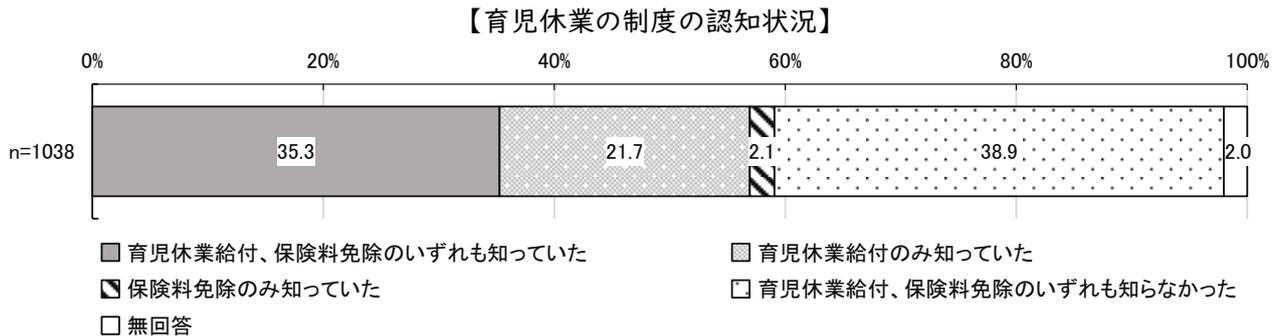
【育児休業を取得していない理由(父親)】



問20-1

子どもが原則1歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業および企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じていたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業の制度の認知状況については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が38.9%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」（35.3%）、「育児休業給付のみ知っていた」（21.7%）等の順となっています。

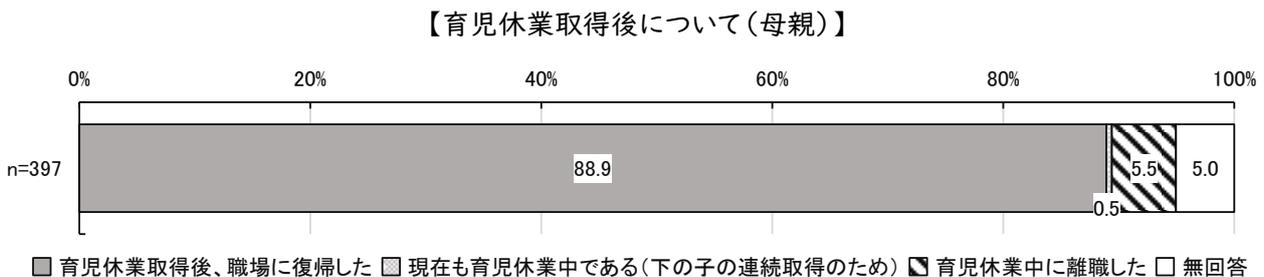


問20-2

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

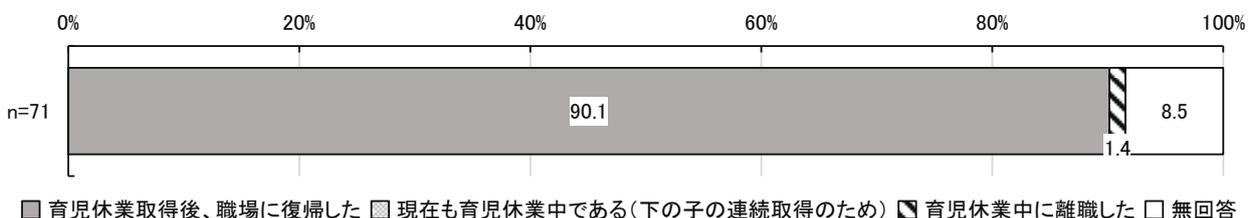
(母親)

育児休業取得後については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が88.9%と最も高く、次いで「育児休業中に離職した」（5.5%）、「現在も育児休業中である（下の子の連続取得のため）」（0.5%）の順となっています。



(父親)

育児休業取得後については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.1%、「育児休業中に離職した」が1.4%となっています。

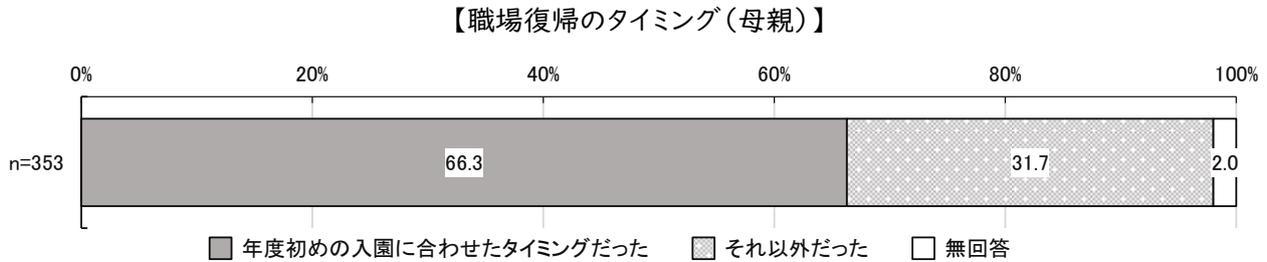


問20-3

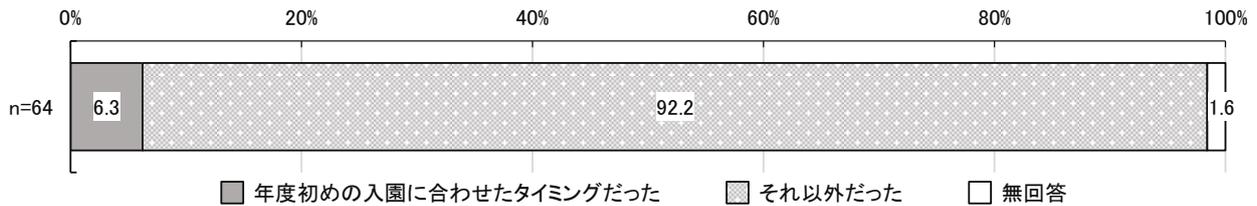
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

(母親)

職場復帰をしたタイミングについては、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が66.3%、「それ以外だった」が31.7%となっています。

**(父親)**

職場復帰をしたタイミングについては、「それ以外だった」が92.2%、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が6.3%となっています。



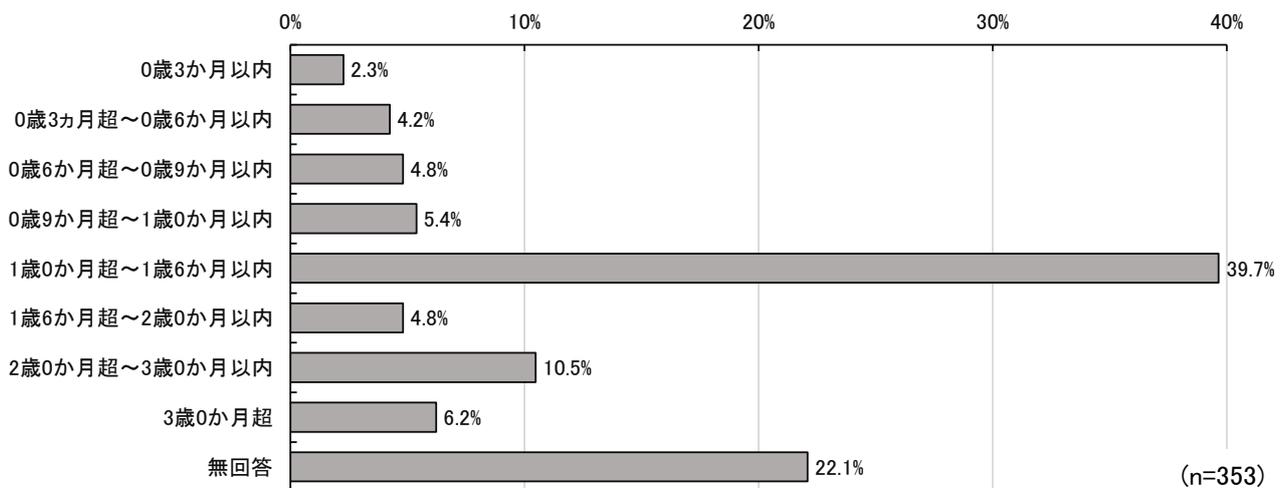
問20-4

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(母親)

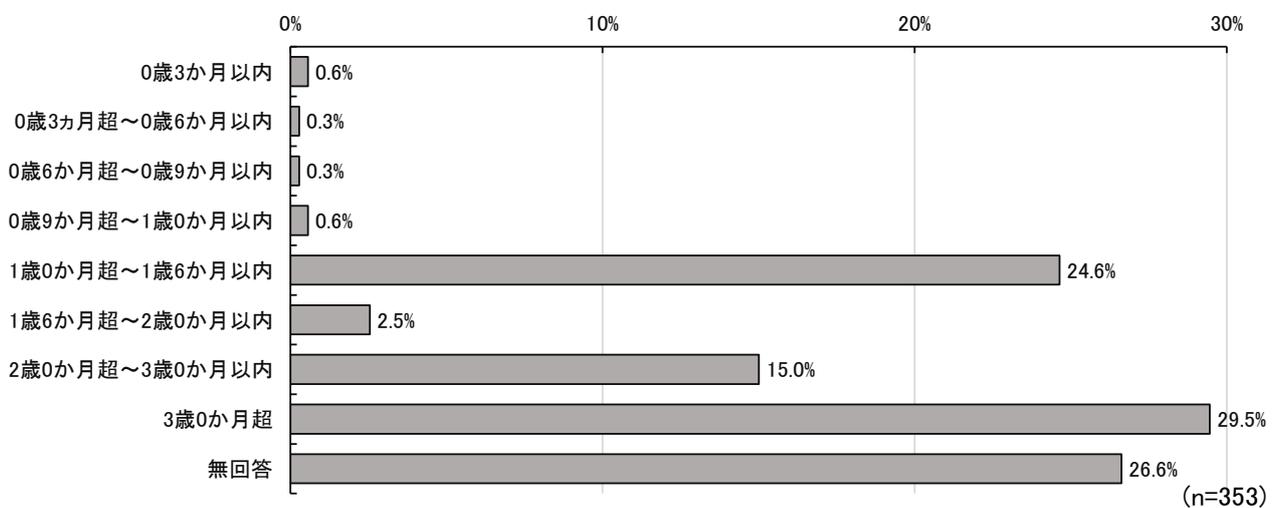
実際の取得期間については、「1歳0か月超～1歳6か月以内」が39.7%と最も高く、次いで「2歳0か月超～3歳0か月以内」(10.5%)、「3歳0か月超」(6.2%)等の順となっています。

【実際の取得期間(母親)】



希望の取得期間については、「3歳0か月超」が29.5%と最も高く、次いで「1歳0か月超～1歳6か月以内」(24.6%)、「2歳0か月超～3歳0か月以内」(15.0%)等の順となっています。

【希望の取得期間(母親)】



(父親)

実際の取得期間については、「0歳3か月以内」が18件、「1歳0か月超～1歳6か月以内」が2件、「0歳3か月超～0歳6か月以内」「0歳6か月超～0歳9か月以内」「2歳0か月超～3歳0か月以内」がそれぞれ1件となっています。

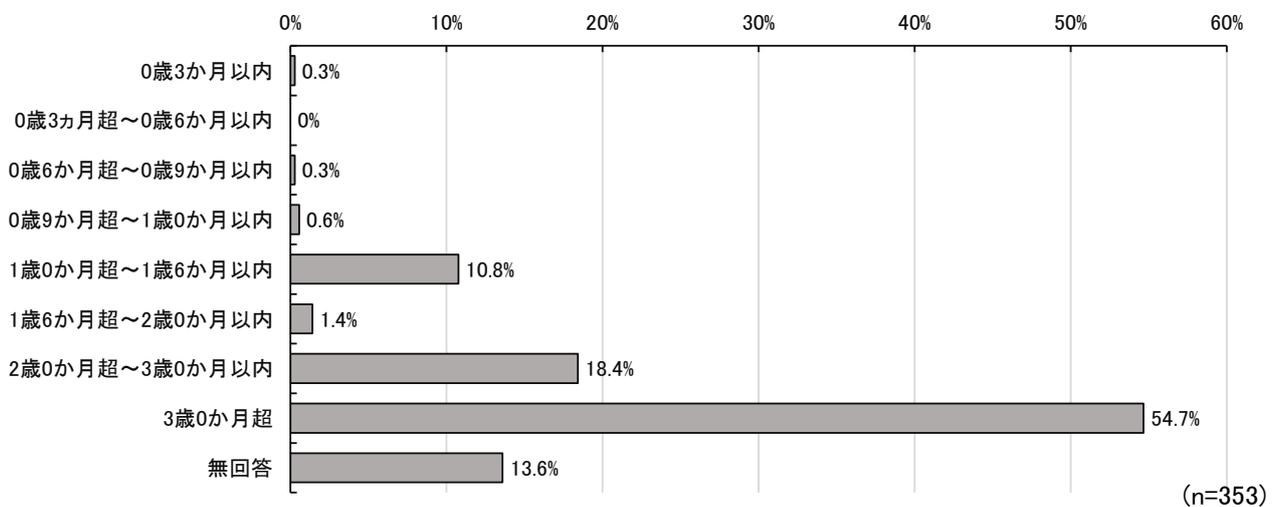
希望の取得期間については、「0歳3歳0か月以内」が6件、「1歳0か月超～1歳6か月以内」が4件、「0歳3か月超～0歳6か月以内」「2歳0か月超～3歳0か月以内」が2件、「3歳0か月超」が1件となっています。

問20-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(母親)

育児休業取得後の職場復帰時の希望する子どもの年齢については、「3歳0か月超」が54.7%と最も高く、次いで「2歳0か月超～3歳0か月以内」(18.4%)、「1歳0か月超～1歳6か月以内」(10.8%)等の順となっています。

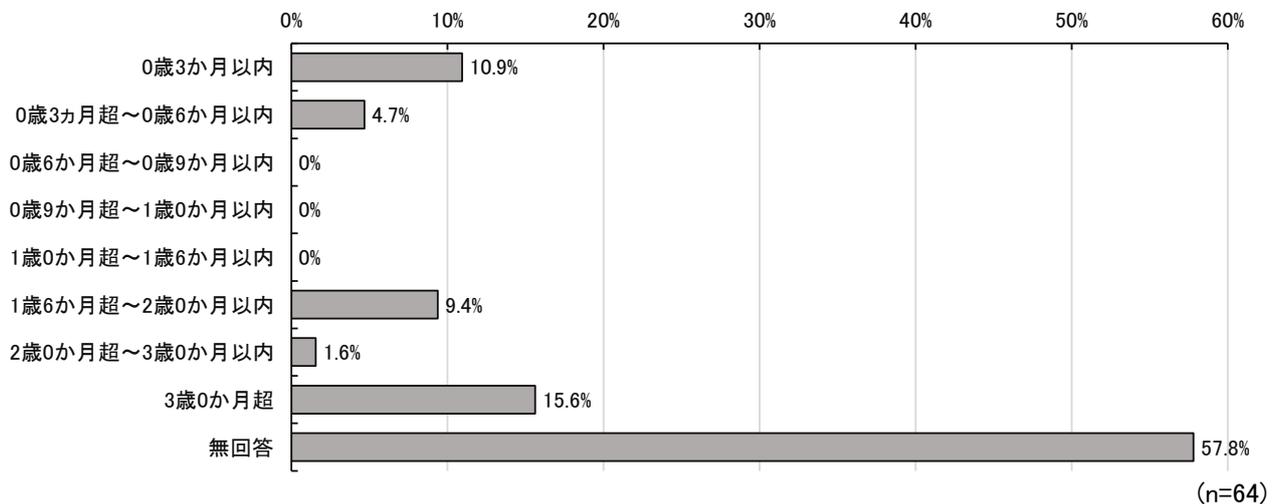
【職場復帰時の希望する子どもの年齢(母親)】



(父親)

育児休業取得後の職場復帰時の希望する子どもの年齢については、「3歳0か月超」が15.6%と最も高く、次いで「0歳3か月以内」(10.9%)、「1歳6か月超～2歳0か月以内」(9.4%)等の順となっています。

【職場復帰時の希望する子どもの年齢(父親)】



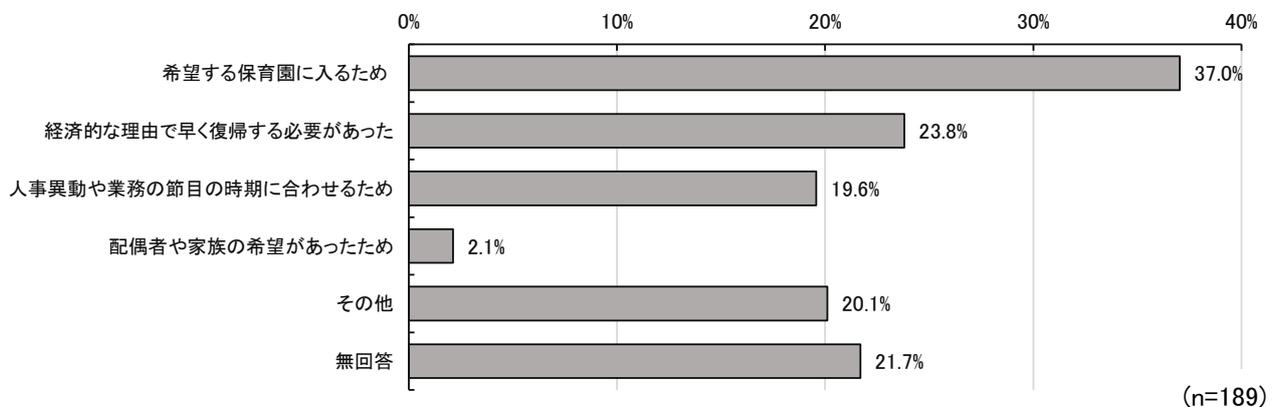
問20-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

(母親)

希望より早く職場復帰した理由については、「希望する保育園に入るため」が37.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」(23.8%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(19.6%)等の順となっています。

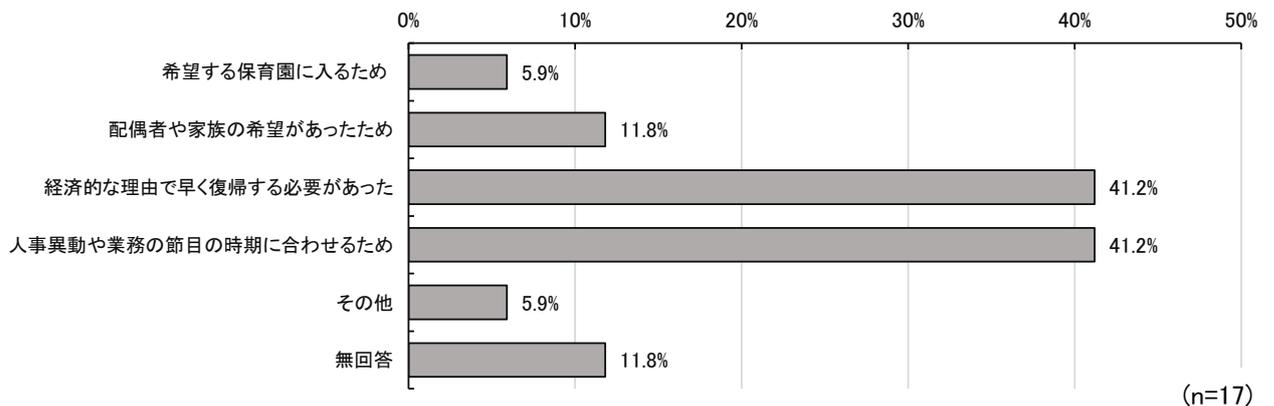
【希望より早く職場復帰した理由(母親)】



(父親)

希望より早く職場復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がそれぞれ41.2%と最も高く、次いで「配偶者や家族の希望があったため」(11.8%)等の順となっています。

【希望より早く職場復帰した理由(父親)】

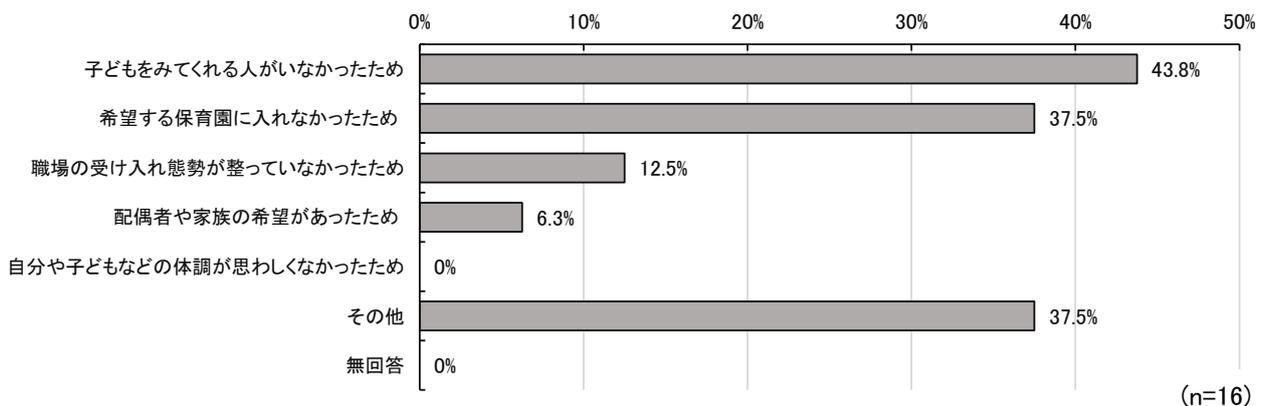


(2) 「希望」より遅く復帰した方

(母親)

希望より遅く復帰した理由については、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が43.8%と最も高く、次いで「希望する保育園に入れなかったため」(37.5%)、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」(12.5%)等の順となっています。

【希望より遅く職場復帰した理由(母親)】



父親

有効回答はありませんでした。

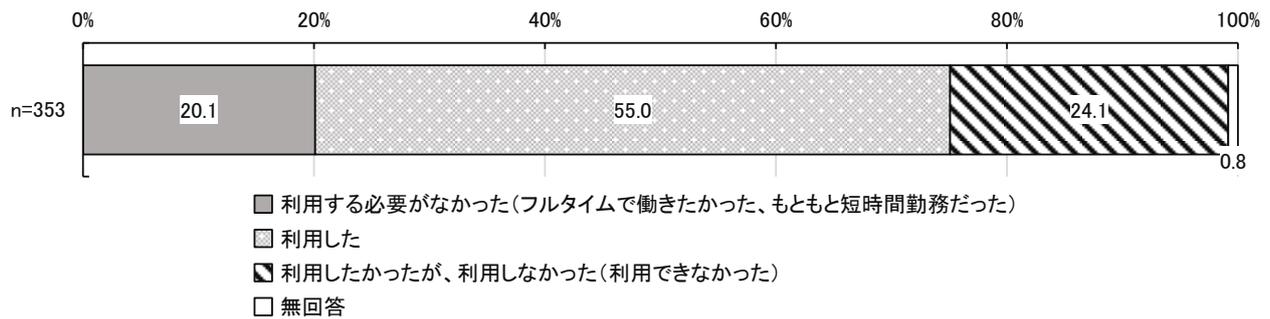
問20-7

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(母親)

短時間勤務制度を利用したかについては、「利用した」が55.0%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」(24.1%)、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」(20.1%)の順となっています。

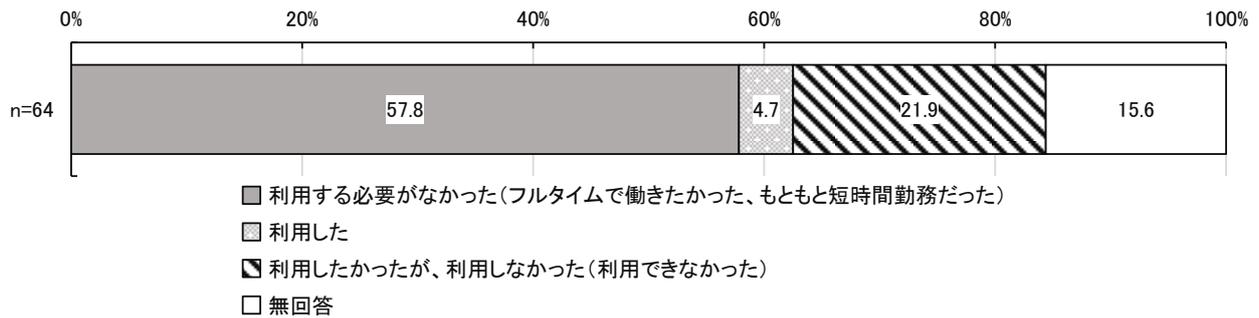
【短時間勤務制度の利用について(母親)】



(父親)

短時間勤務制度を利用したかについては、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が57.8%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」(21.9%)、「利用した」(4.7%)の順となっています。

【短時間勤務制度の利用について(父親)】



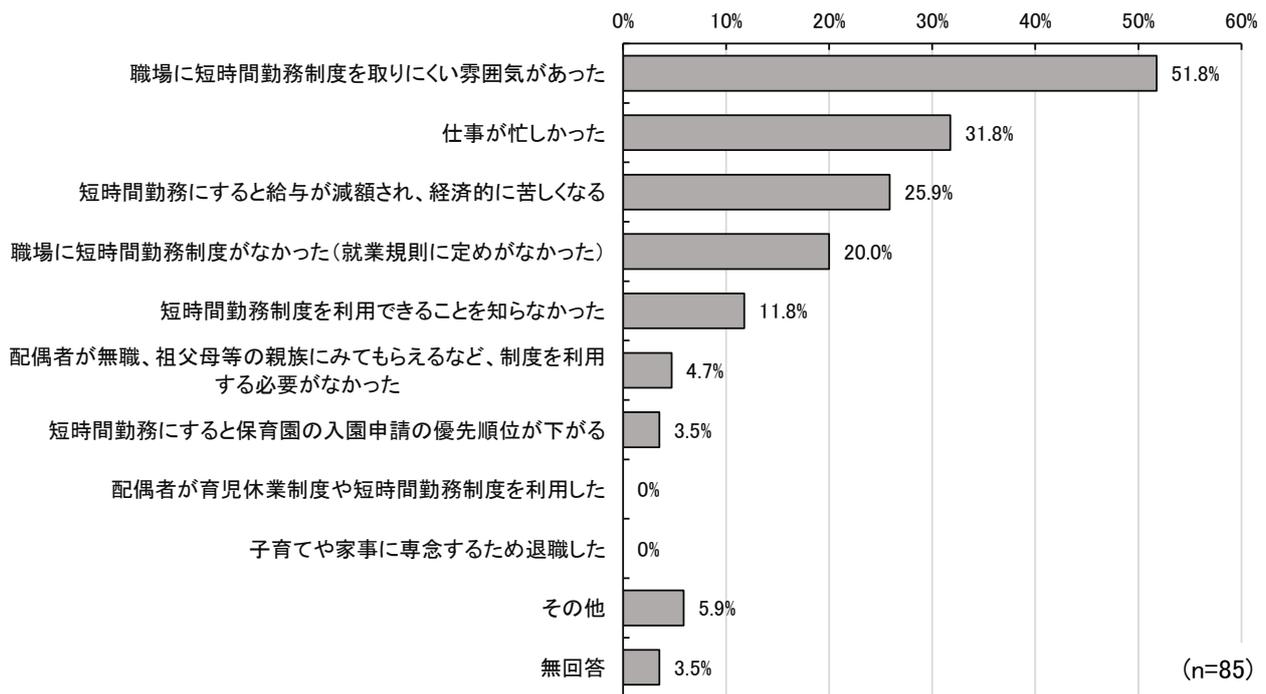
問20-8

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(母親)

短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が51.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」(31.8%)、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(25.9%)等の順となっています。

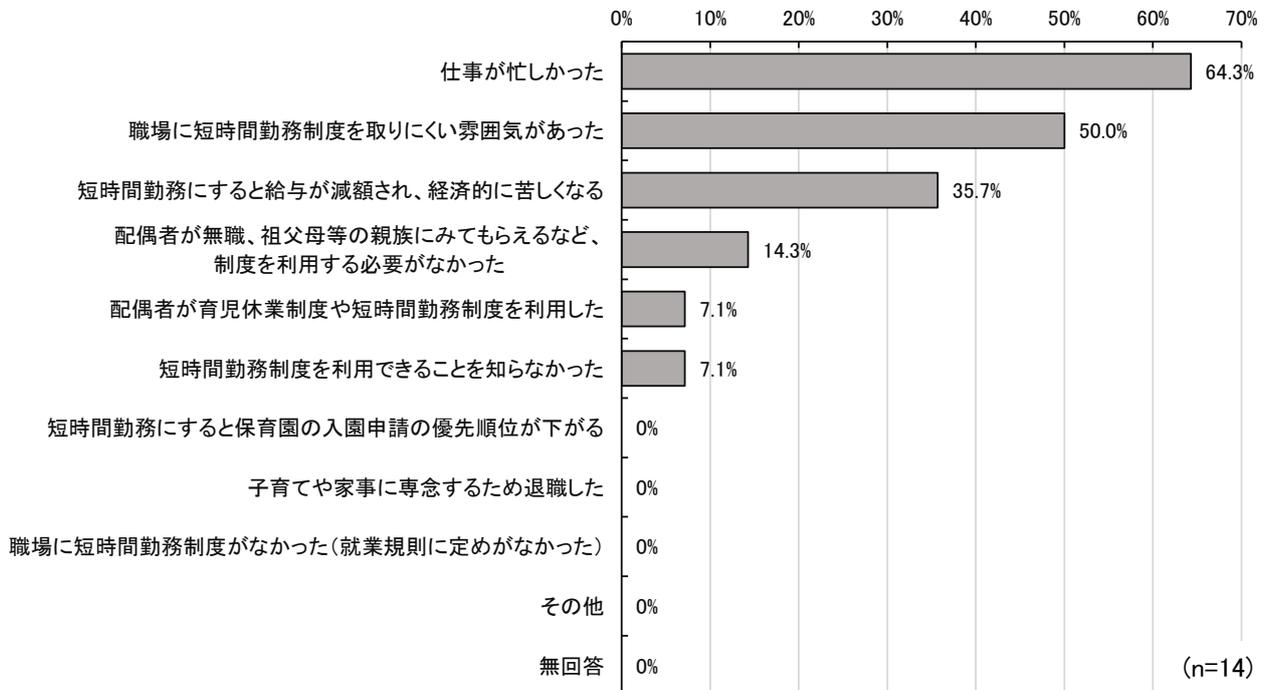
【短時間勤務制度を利用しなかった理由(母親)】



(父親)

短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「仕事が忙しかった」が64.3%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(50.0%)、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(35.7%)等の順となっています。

【短時間勤務制度を利用しなかった理由(父親)】

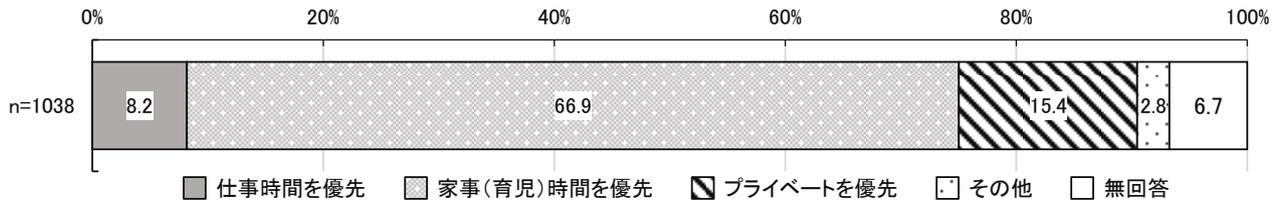


問21 生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)」・「プライベートの生活時間」の優先度についてお
うかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(希望)

希望する生活の中の優先度については、「家事(育児)時間を優先」が66.9%と最も高く、次いで「プ
ライベートを優先」(15.4%)、「仕事時間を優先」(8.2%)の順となっています。

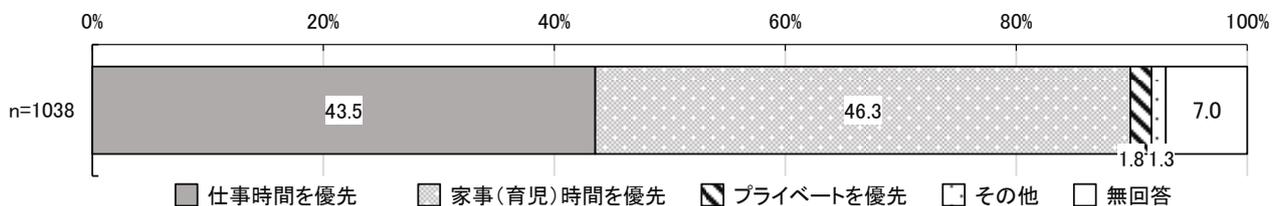
【生活の中の優先度(希望)】



(現実)

現実の生活の中の優先度については、「家事(育児)時間を優先」が46.3%と最も高く、次いで「仕
事時間を優先」(43.5%)、「プライベートを優先」(1.8%)の順となっています。

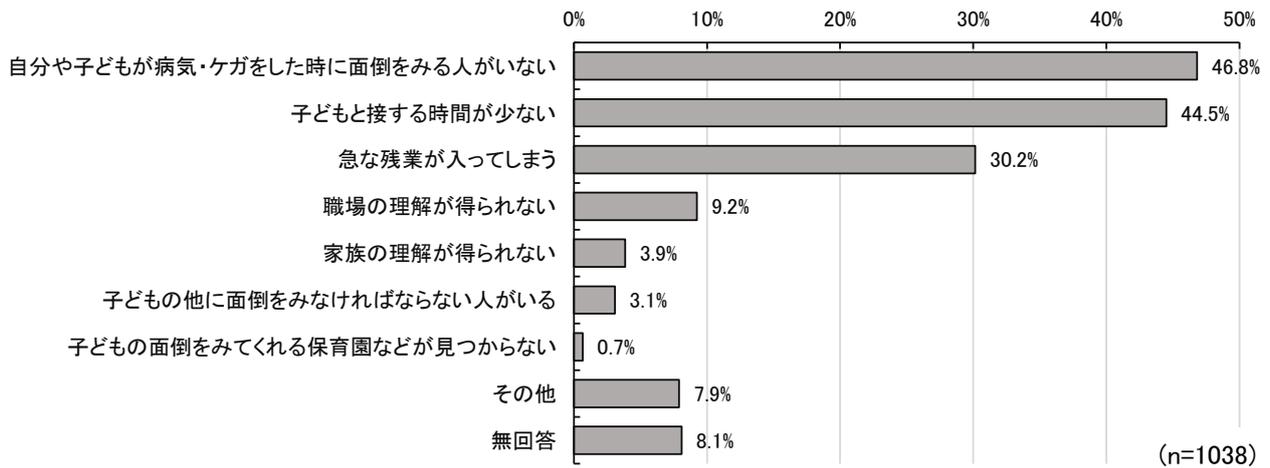
【生活の中の優先度(現実)】



問22 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについては、「自分や子どもが病気・ケガをした時に面倒をみる人がいない」が46.8%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」(44.5%)、「急な残業が入ってしまう」(30.2%)等の順となっています。

【仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること】

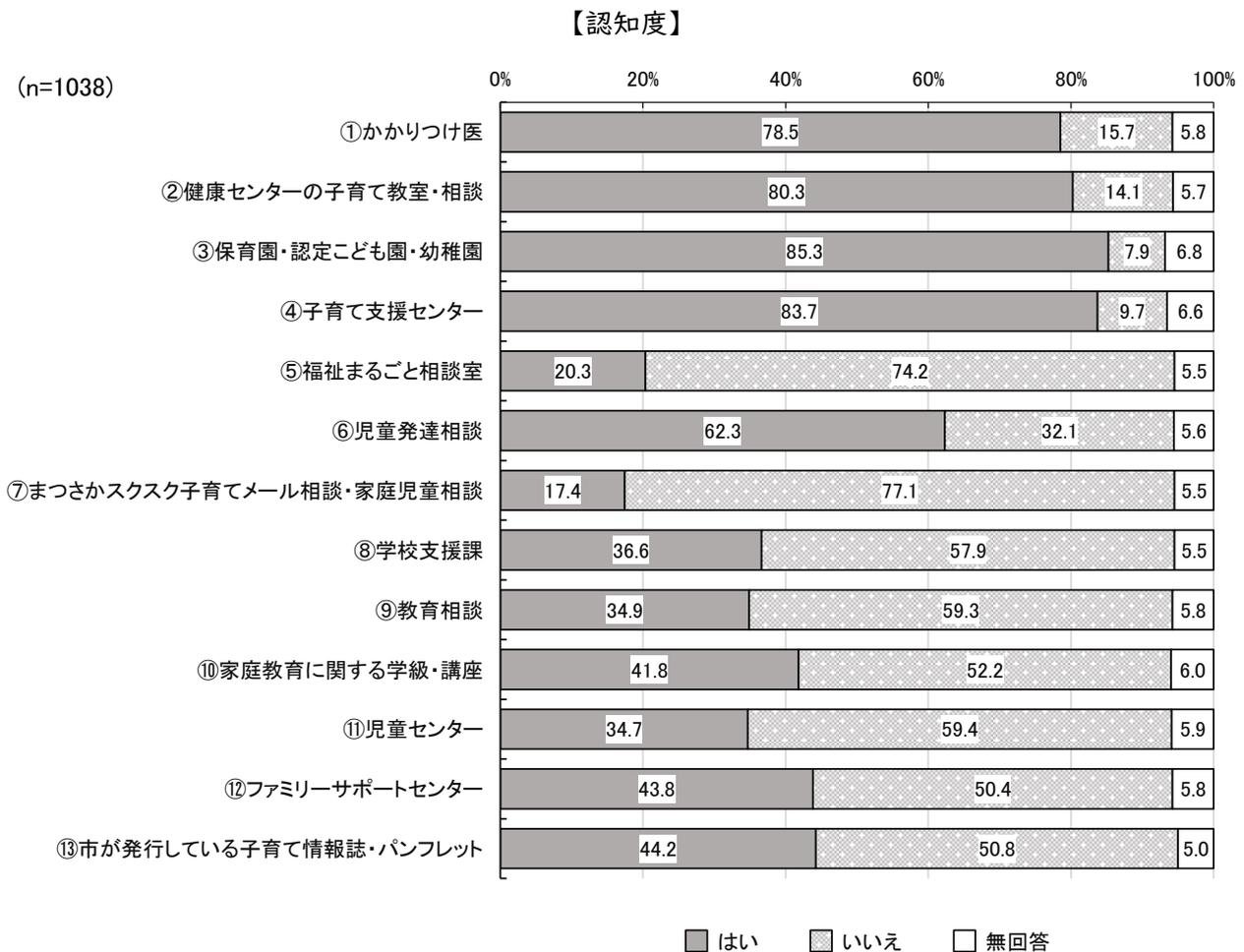


6 子育て支援相談窓口の認知度・利用意向について

問23 子育て・発達に関して、下記の市の機関又は関係する機関の相談窓口等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

①認知度 (A 知っている)

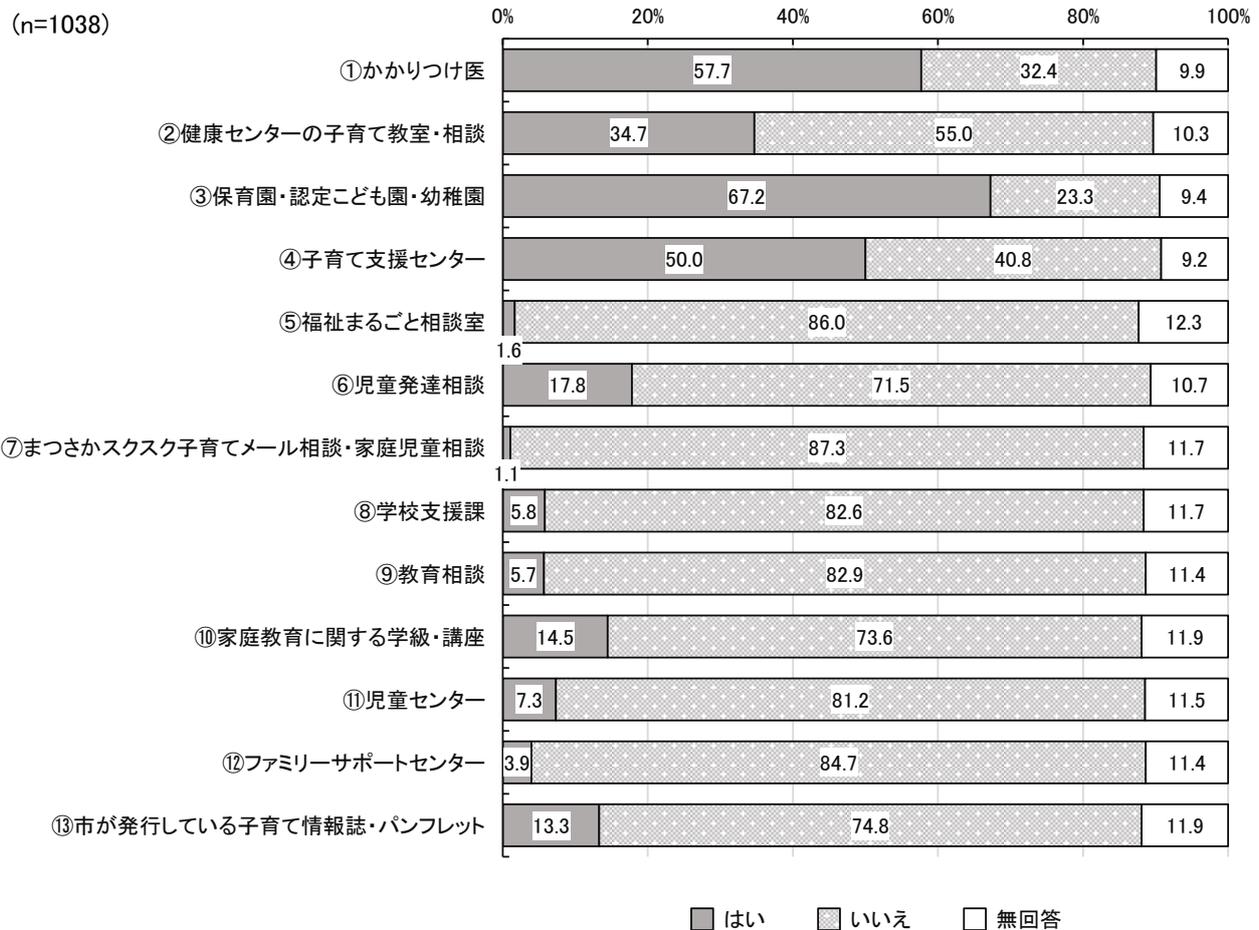
認知度については、①かかりつけ医、②健康センターの子育て教室・相談、③保育園・認定こども園・幼稚園、④子育て支援センターで「はい」の割合が高く、⑤福祉まるごと相談室、⑦まつさかスクスク子育てメール相談・家庭児童相談で「いいえ」の割合が高くなっています。



②利用度 (B これまでに利用したことがある)

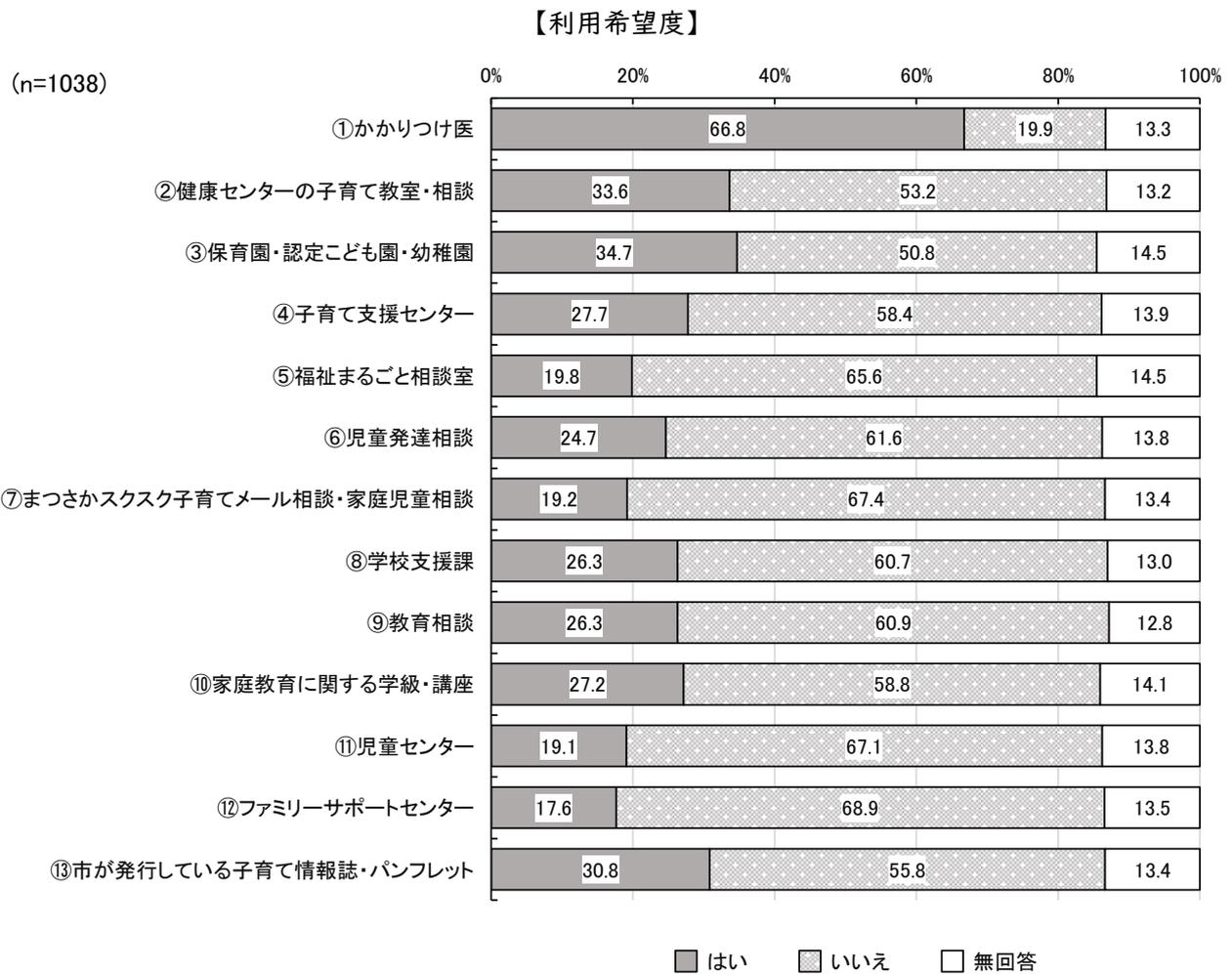
利用度については、①かかりつけ医、③保育園・認定こども園・幼稚園、④子育て支援センターで「はい」の割合が高く、⑤福祉まるごと相談室、⑦まつさかスクスク子育てメール相談・家庭児童相談、⑫ファミリーサポートセンターで「いいえ」の割合が高くなっています。

【利用度】



③利用希望度(C 今後利用したい)

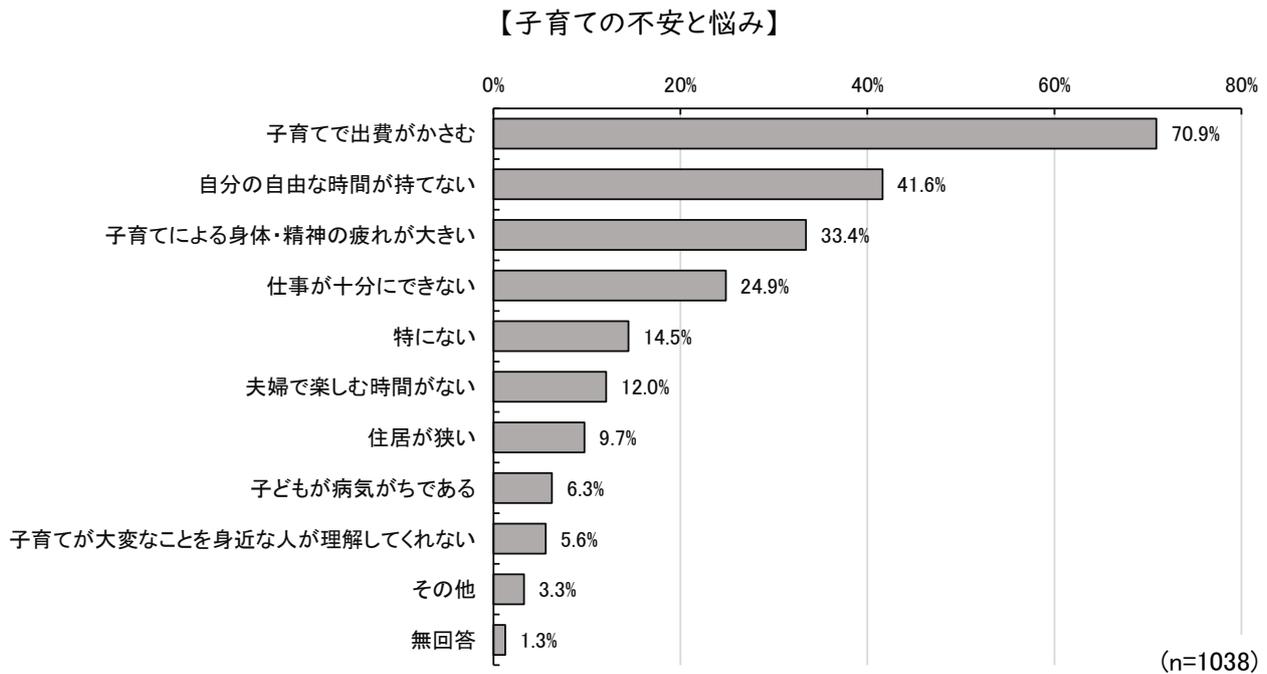
利用希望度については、①かかりつけ医で「はい」の割合が高く、⑦まつさかスクスク子育てメール相談・家庭児童相談、⑪児童センター、⑫ファミリーサポートセンターで「いいえ」の割合が高くなっています。



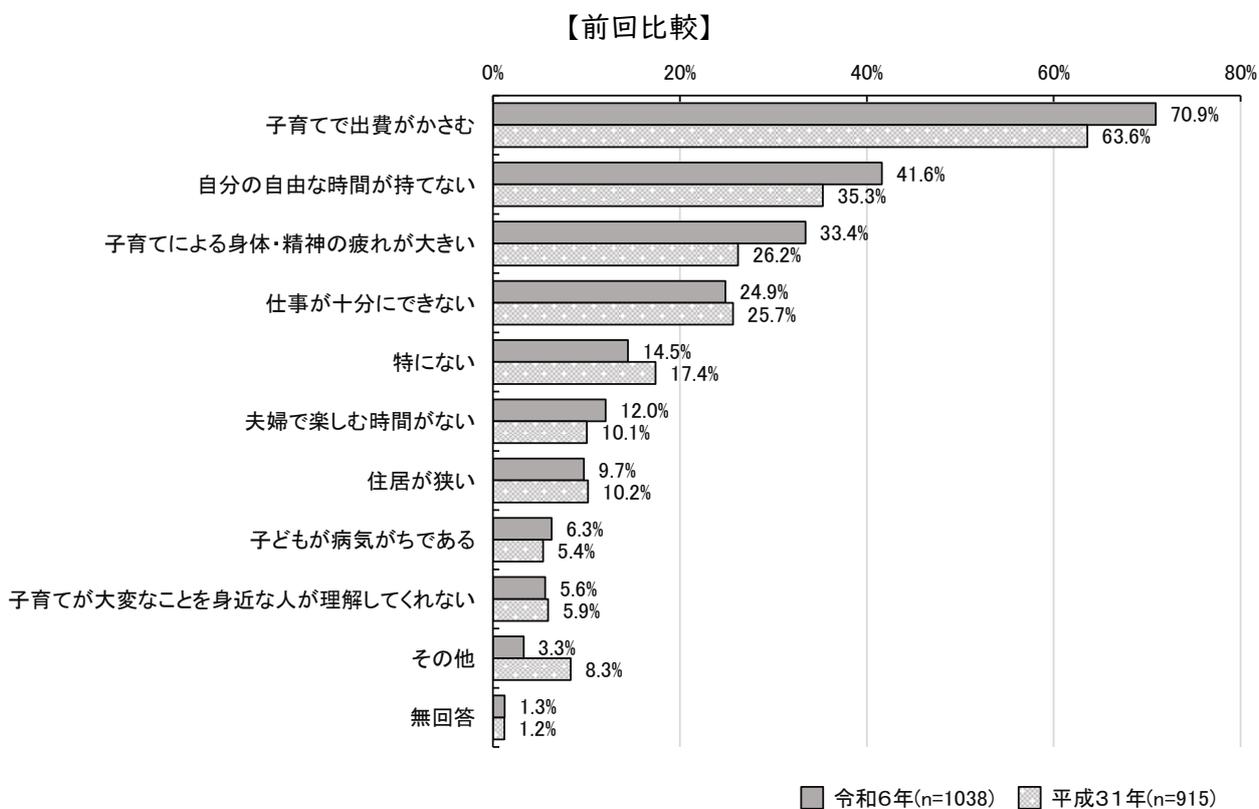
7 子育ての不安と悩みについて

問24 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをする上で不安に思っていることについては、「子育てで出費がかさむ」が70.9%と最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」(41.6%)、「子育てによる身体・精神の疲れが大きい」(33.4%)等の順となっています。



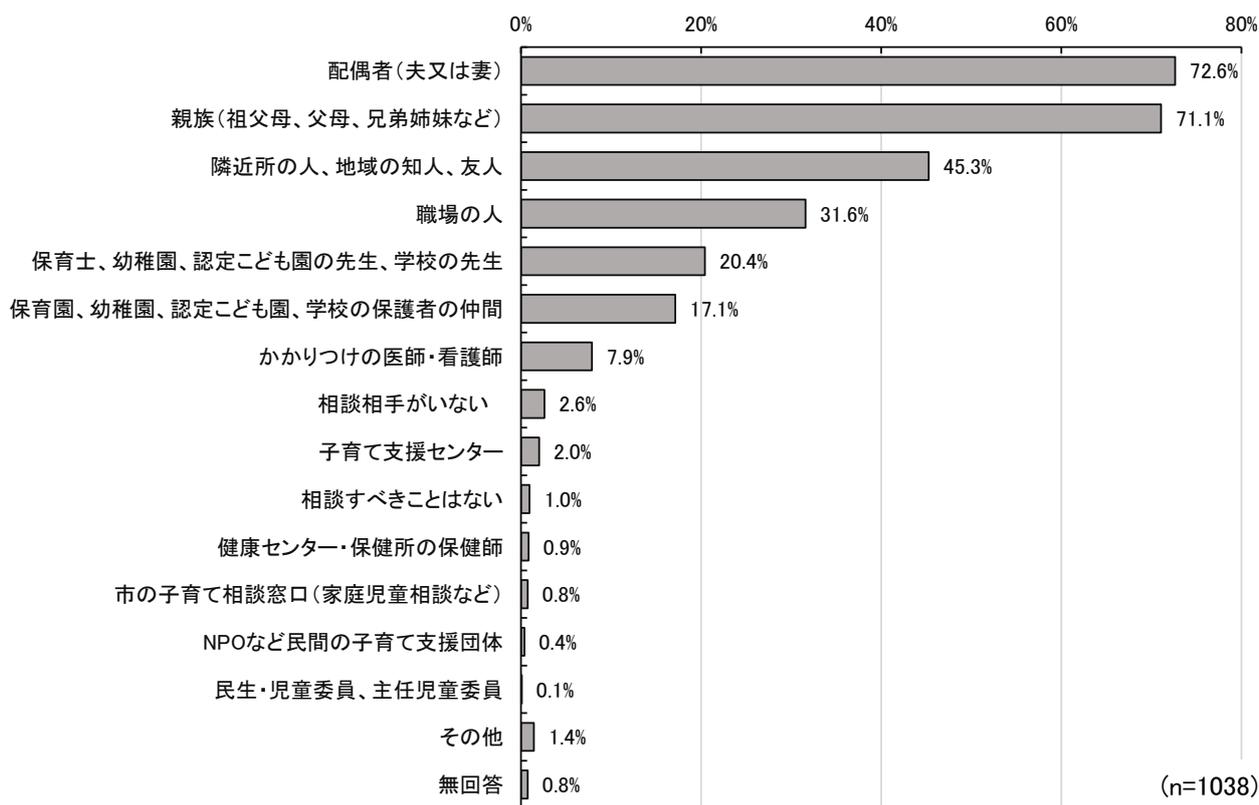
前回調査と比較すると、令和6年調査では、「子育てで出費がかさむ」「自分の自由な時間が持てない」「子育てによる身体・精神の疲れが大きい」等が平成31年調査よりも割合が高くなっています。



問25 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

気軽に相談できる人や場所については、「配偶者(夫又は妻)」が72.6%と最も高く、次いで「親族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)」(71.1%)、「隣近所の人、地域の知人、友人」(45.3%)、「職場の人」(31.6%)等の順となっています。

【気軽に相談できる人や場所】

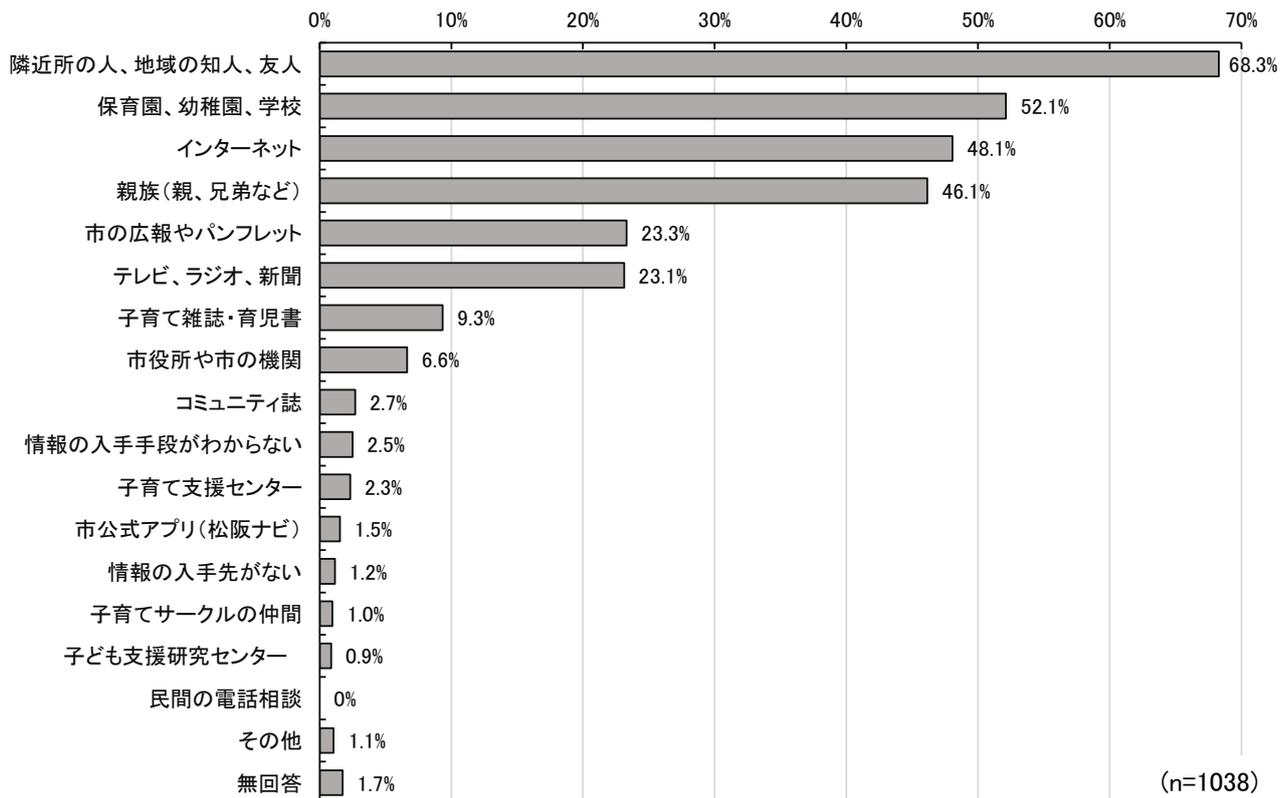


8 子育てに関する情報の入手

問26 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

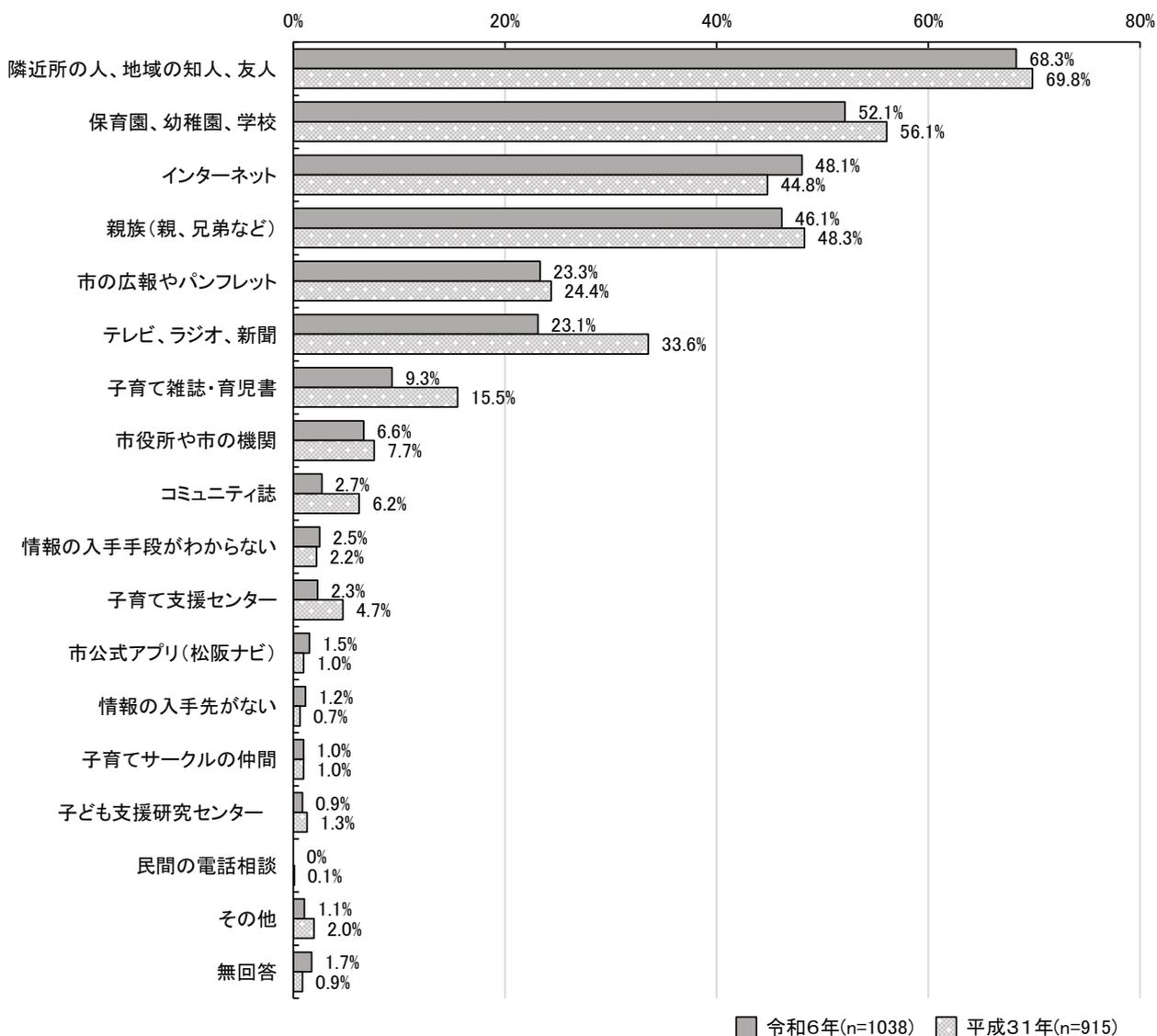
子育てに関する情報の入手先については、「隣近所の人、地域の知人、友人」が68.3%と最も高く、次いで「保育園、幼稚園、学校」(52.1%)、「インターネット」(48.1%)等の順となっています。

【子育てに関する情報の入手先】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「インターネット」が平成31年調査よりも割合が高く、「テレビ、ラジオ、新聞」「子育て雑誌・育児書」等が割合が低くなっています。

【前回比較】

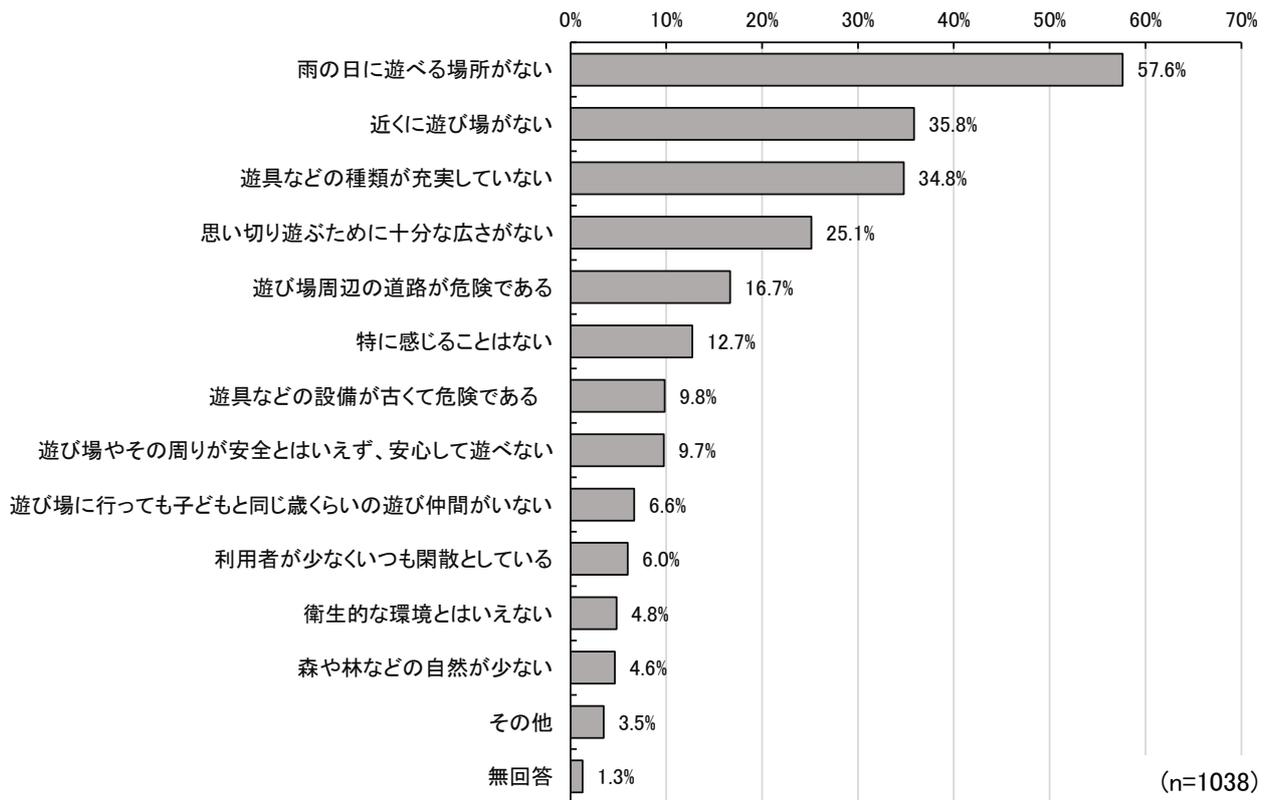


9 家の近くの子どもの遊び場

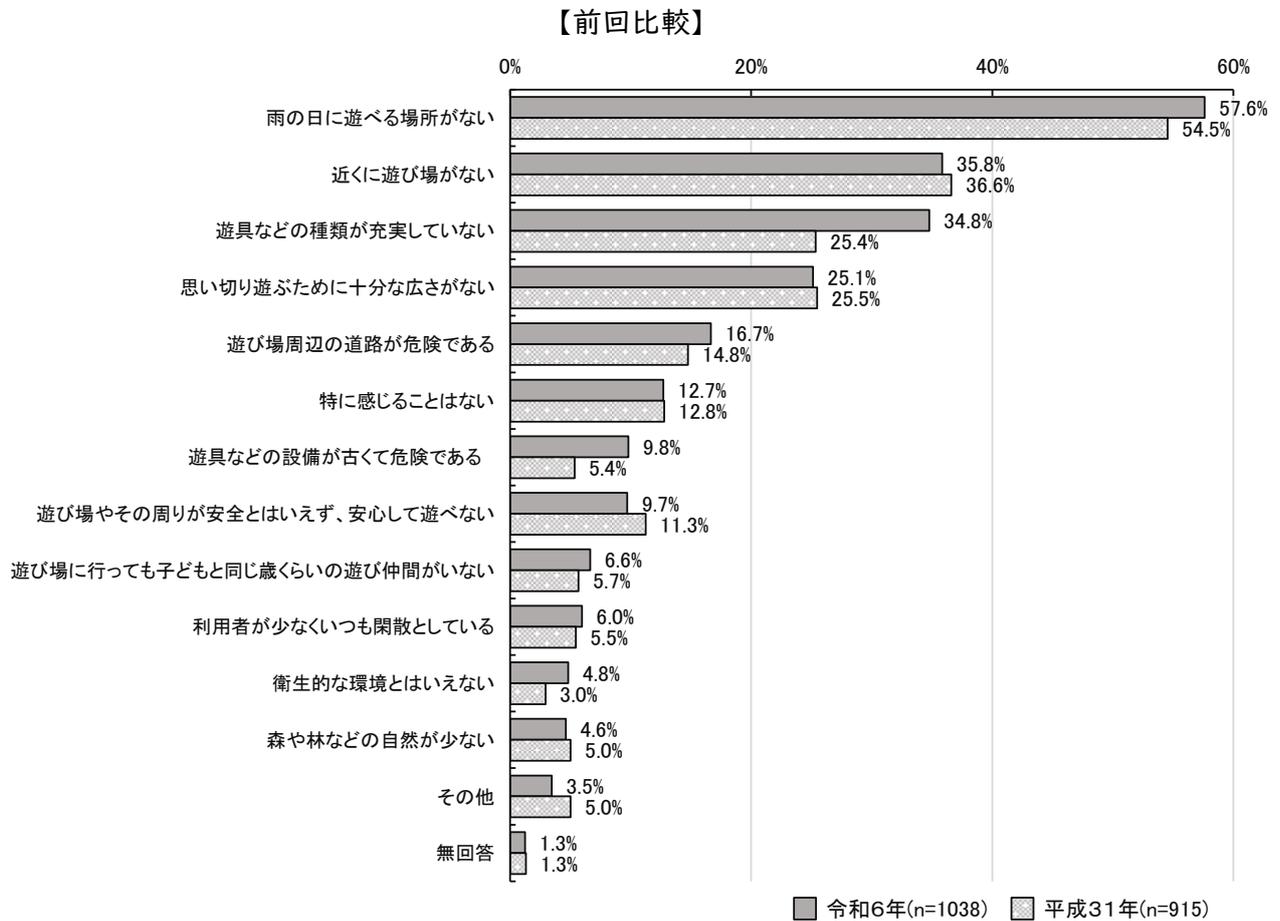
問27 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

家の近くの子どもの遊び場については、「雨の日に遊べる場所がない」が57.6%と最も高く、次いで「近くに遊び場がない」(35.8%)、「遊具などの種類が充実していない」(34.8%)等の順となっています。

【家の近くの子どもの遊び場について】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「遊具などの種類が充実していない」等が平成31年調査よりも割合が高くなっています。

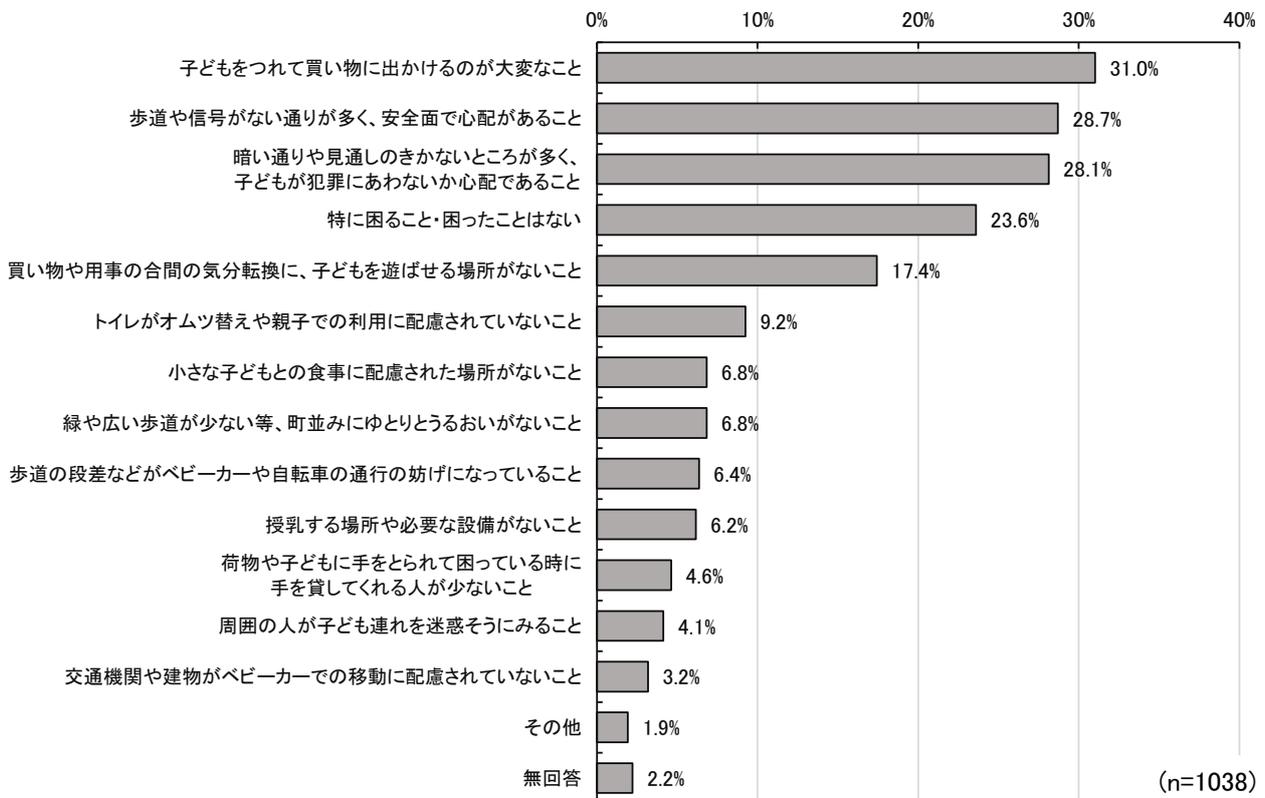


10 子どもとの外出の際、困ること・困ったこと

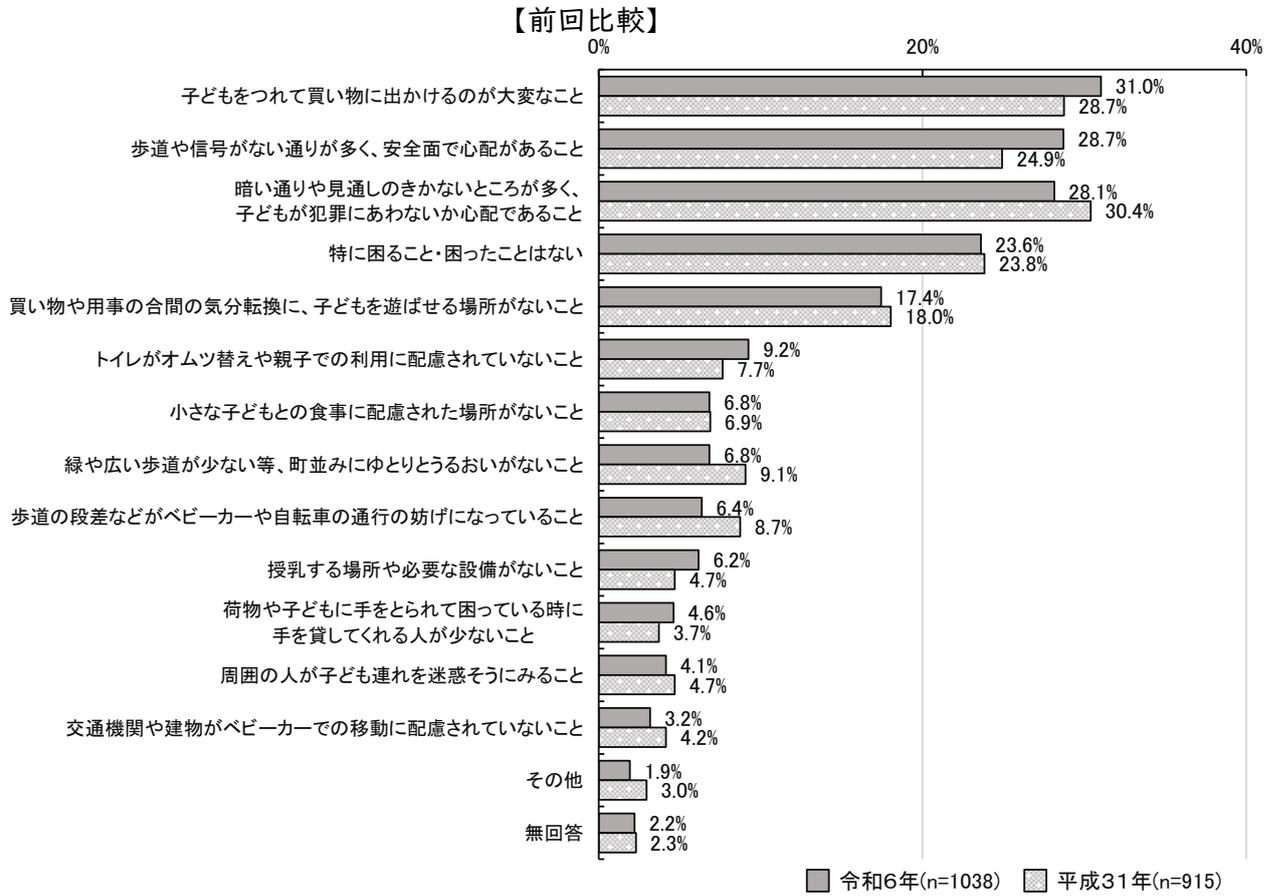
問28 子どもとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

外出の際、困ること・困ったことについては、「子どもをつれて買い物に出かけるのが大変なこと」が31.0%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配があること」(28.7%)、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪にあわないか心配であること」(28.1%)等の順となっています。

【外出の際に困ること】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「子どもをつれて買い物に出かけるのが大変なこと」「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配があること」等が平成31年調査よりも割合が高くなっています。

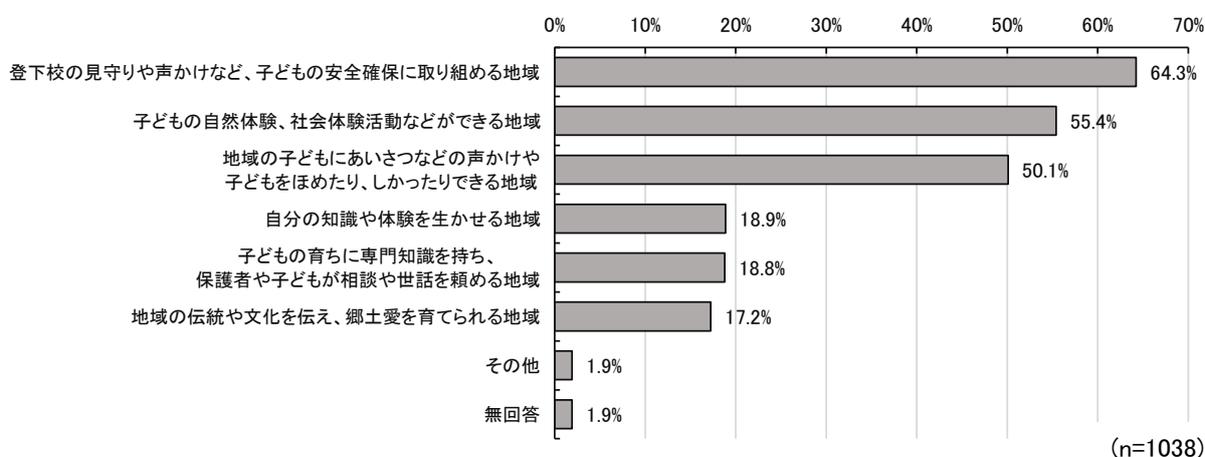


11 子どもの育ちを支援するため、どのような地域が必要か

問29 子どもの育ちを支援するため、どのような地域が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

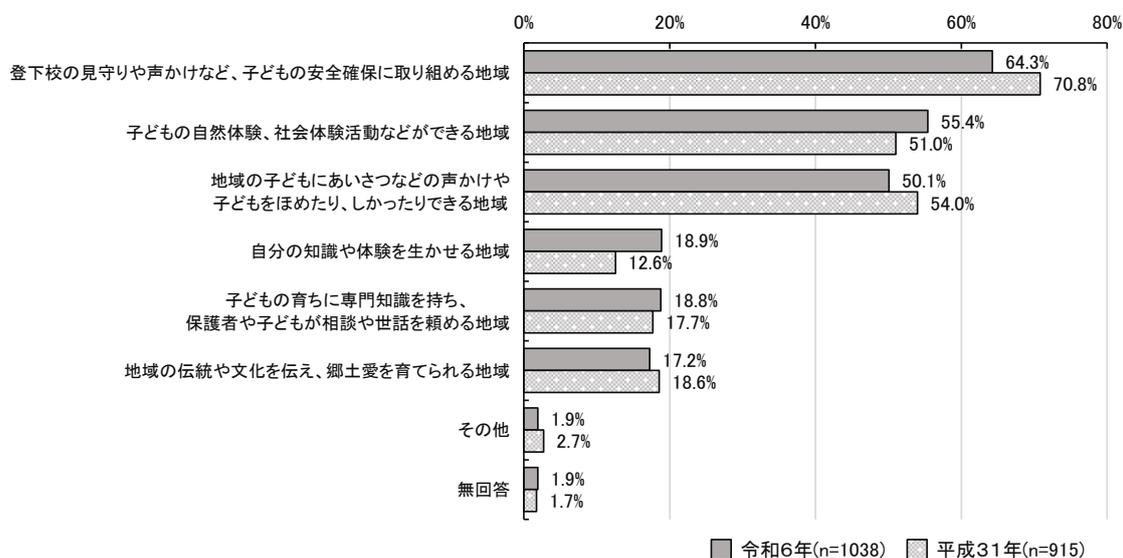
子どもの育ちを支援するため、どのような地域が必要だと思うかについては、「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める地域」が64.3%と最も高く、次いで「子どもの自然体験、社会体験活動などができる地域」（55.4%）、「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる地域」（50.1%）等の順となっています。

【子どもの育ちを支援するため、どのような地域が必要か】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「子どもの自然体験、社会体験活動などができる地域」「自分の知識や体験を生かせる地域」等が平成31年調査よりも割合が高く、「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める地域」「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる地域」等が割合が低くなっています。

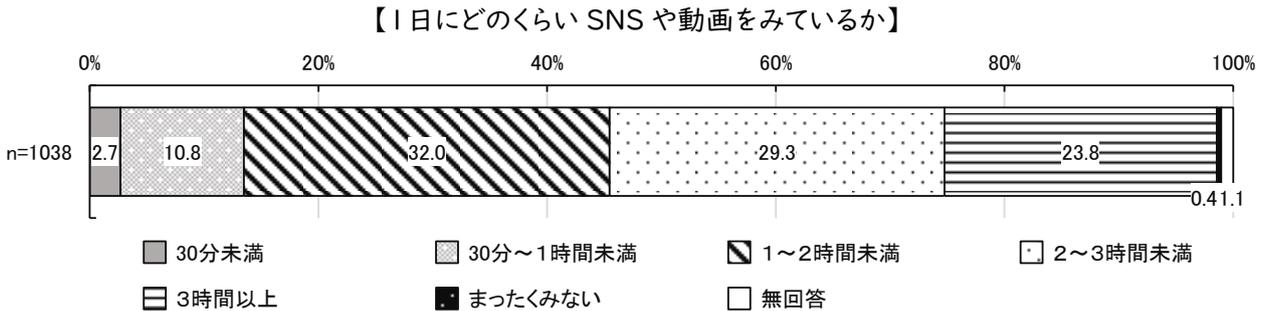
【前回比較】



12 子どもの教育と健全育成について

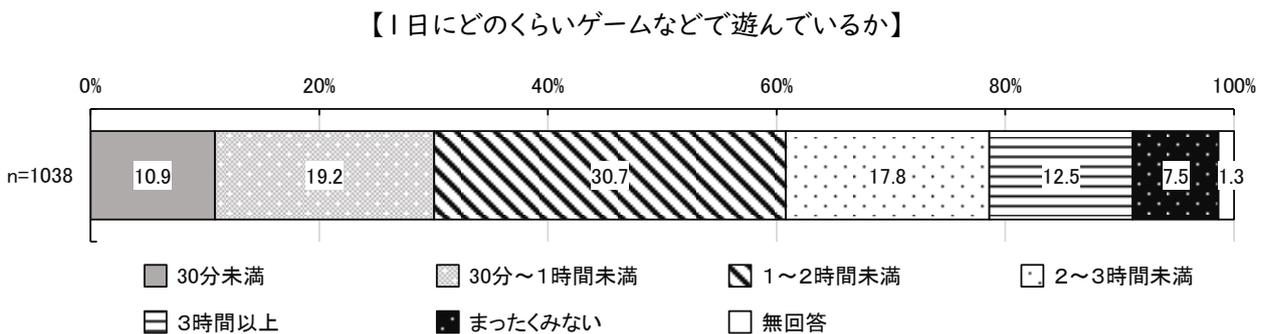
問30 宛名のお子さんは、1日に何時間くらい、テレビやビデオ、携帯電話やスマートフォンでのSNSや動画をみていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1日に何時間くらい、テレビやビデオ、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画をみているかについては、「1～2時間未満」が32.0%と最も高く、次いで「2～3時間未満」(29.3%)、「3時間以上」(23.8%)等の順となっています。



問31 宛名のお子さんは、1日に何時間くらい、携帯型ゲームやテレビゲーム・コンピューターゲームなどで遊んでいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

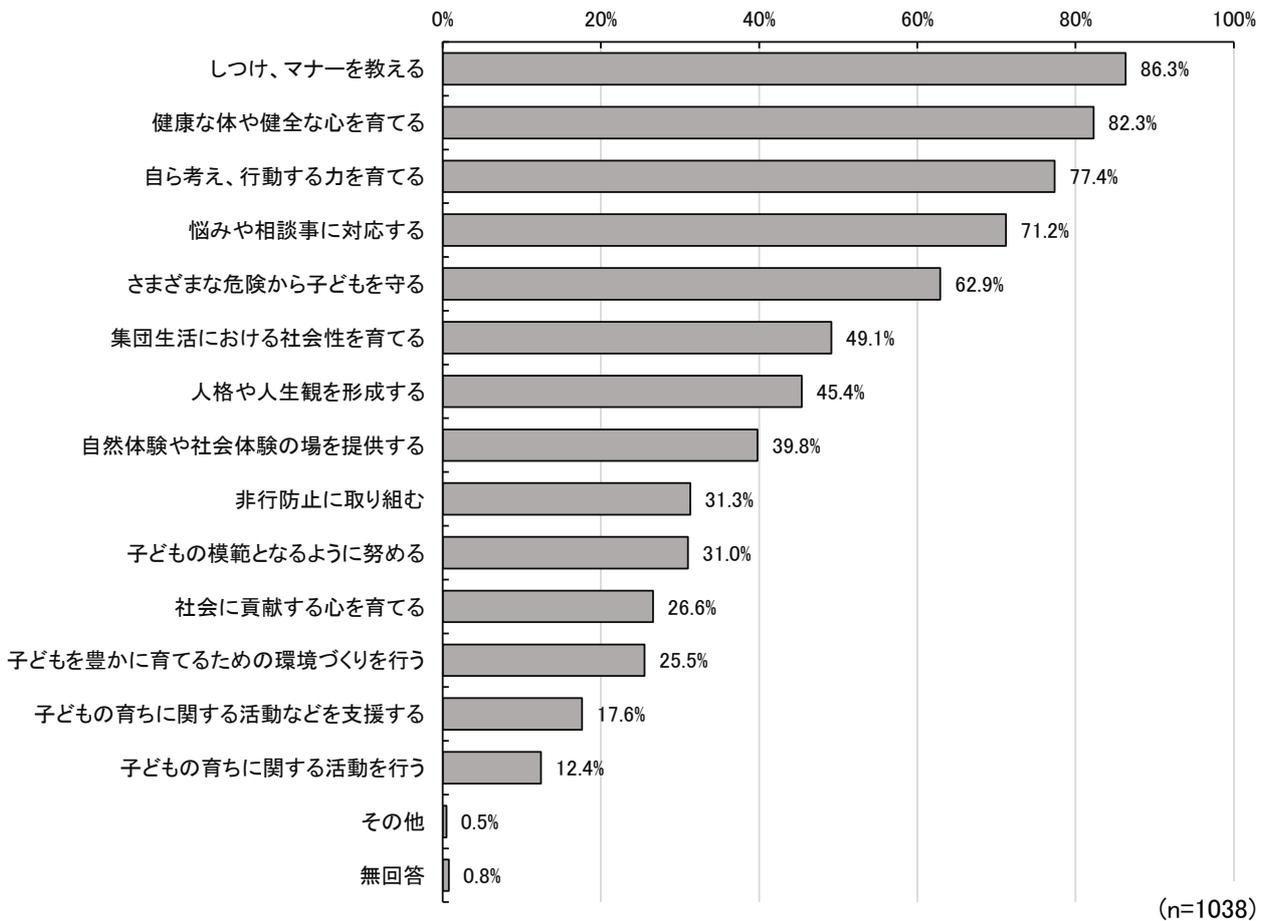
1日に何時間くらい、携帯型ゲームやテレビゲーム・コンピューターゲームなどで遊んでいるかについては、「1～2時間未満」が30.7%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」(19.2%)、「2～3時間未満」(17.8%)等の順となっています。



問32 子どもの教育について、親の関わりとして大切なことや重要なことはなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの教育について、親の関わりとして大切なことについては、「しつけ、マナーを教える」が86.3%と最も高く、次いで「健康な体や健全な心を育てる」(82.3%)、「自ら考え、行動する力を育てる」(77.4%)等の順となっています。

【子どもの教育について、親の関わりとして大切なこと】

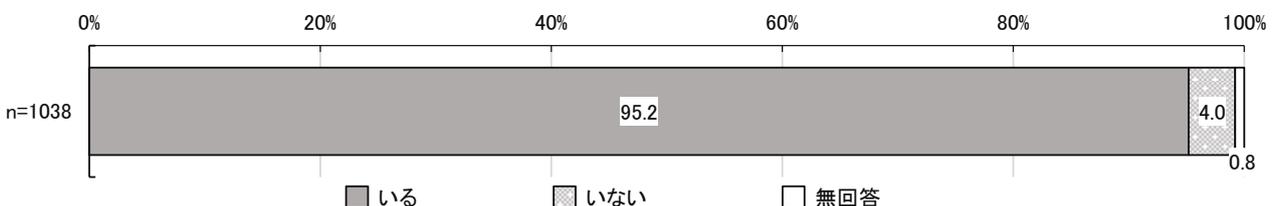


13 健康・医療について

問33 お子さんの病気や救急医療についておたずねします。お子さんのかかりつけの小児科医がいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

かかりつけの小児科医がいるかどうかについては、「いる」が95.2%、「いない」が4.0%となっています。

【かかりつけの小児科医の有無】

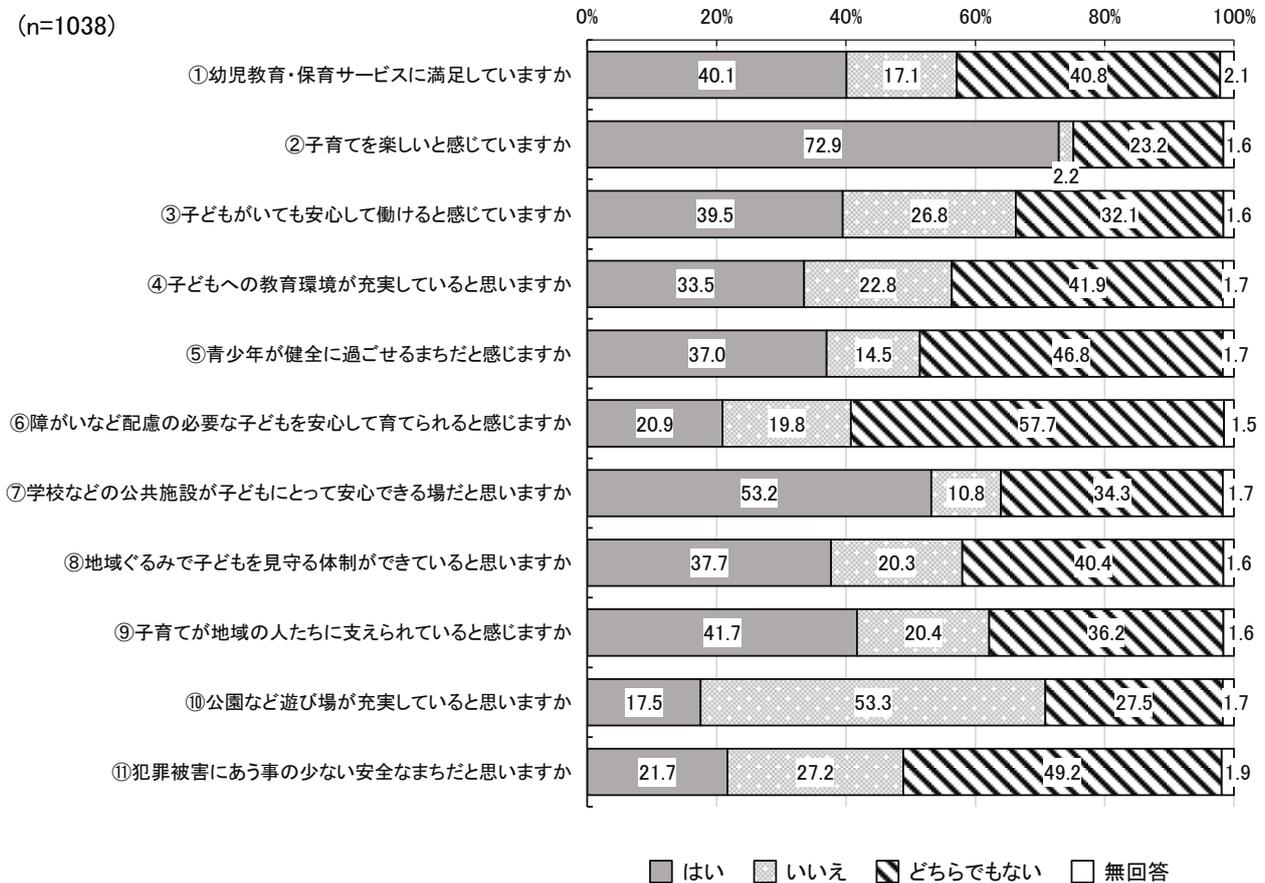


14 子育て全般について

問34 あなたは、松阪市における以下のような分野についてどのように感じていますか。それぞれの項目について当てはまる番号1つに○をつけてください。

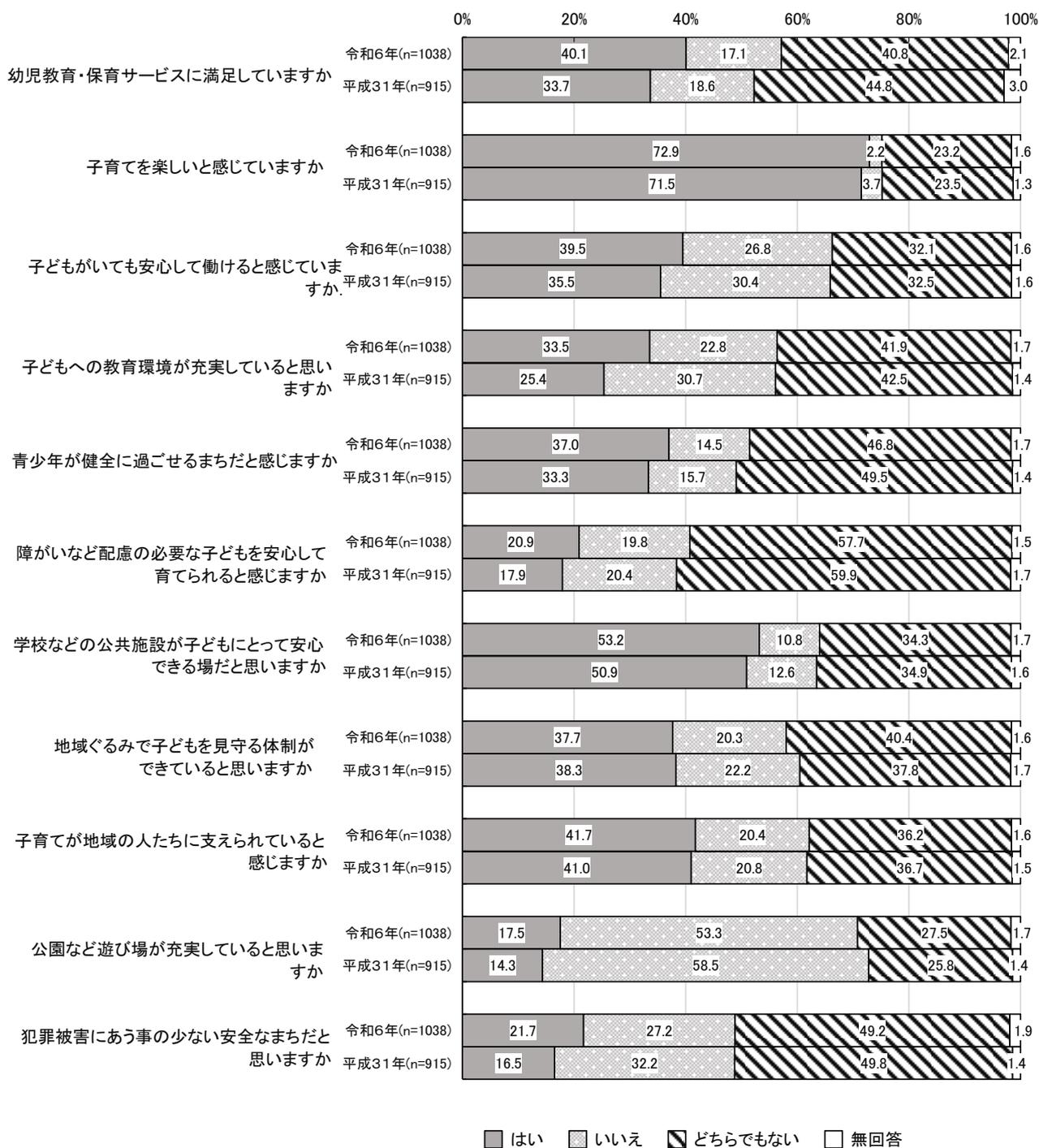
子育て全般について、「はい」では、「②子育てを楽しんでいると感じていますか」が72.9%と最も高く、次いで「⑦学校などの公共施設が子どもにとって安心できる場だと思えますか」(53.2%)、「⑨子育てが地域の人たちに支えられていると感じますか」(41.7%)等の順となっています。「いいえ」では、「⑥障がいなど配慮の必要な子どもを安心して育てられると感じますか」が57.7%と最も高く、次いで「⑩公園など遊び場が充実していると思えますか」(49.2%)、「⑤青少年が健全に過ごせるまちだと感じますか」(46.8%)等の順となっています。

【子育て全般について】



前回調査と比較すると、「はい」でみると、令和6年調査では、「幼児教育・保育サービスに満足していますか」、「子どもへの教育環境が充実していると思いますか」等が平成31年調査よりも割合が高くなっています。

【前回比較】

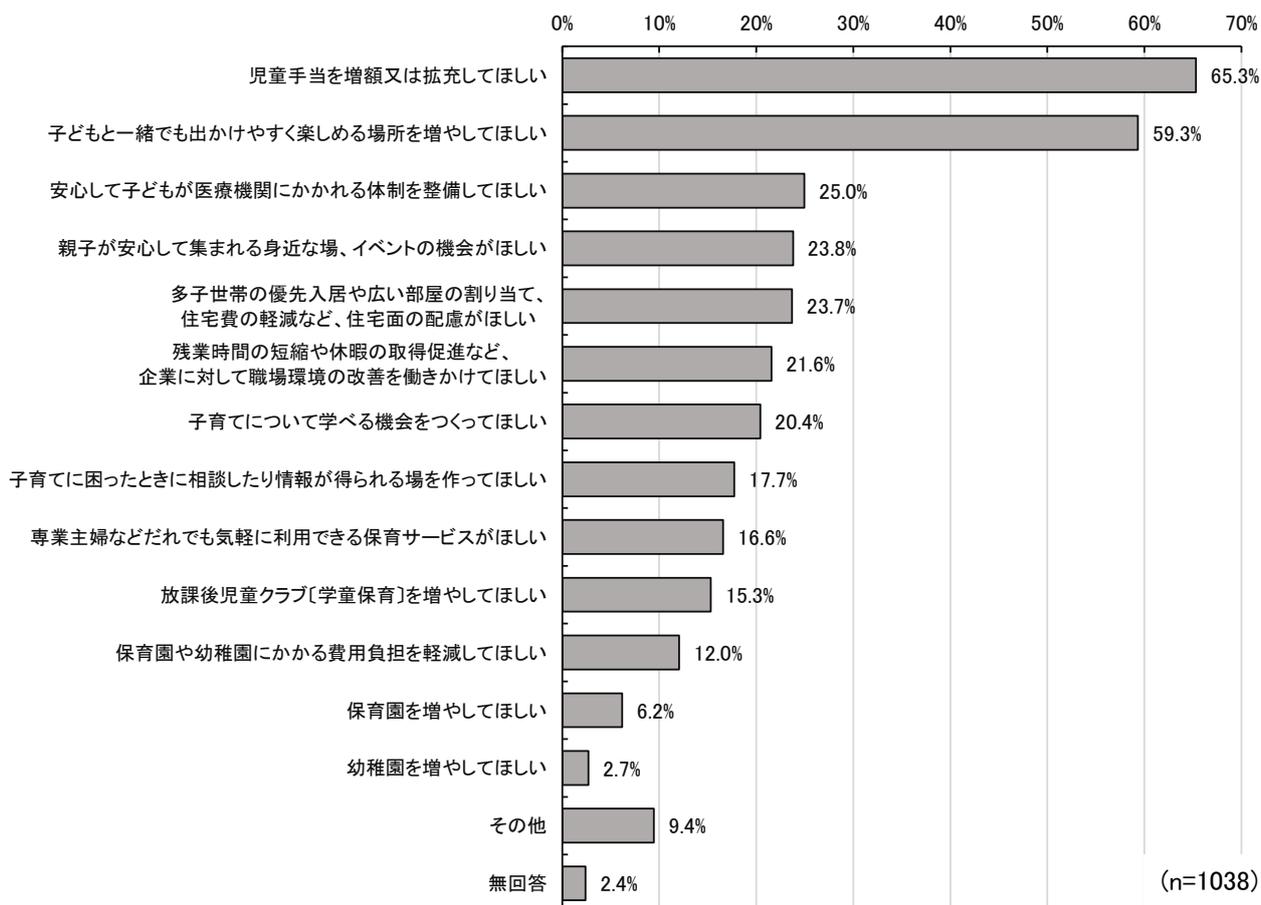


■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない □ 無回答

問35 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

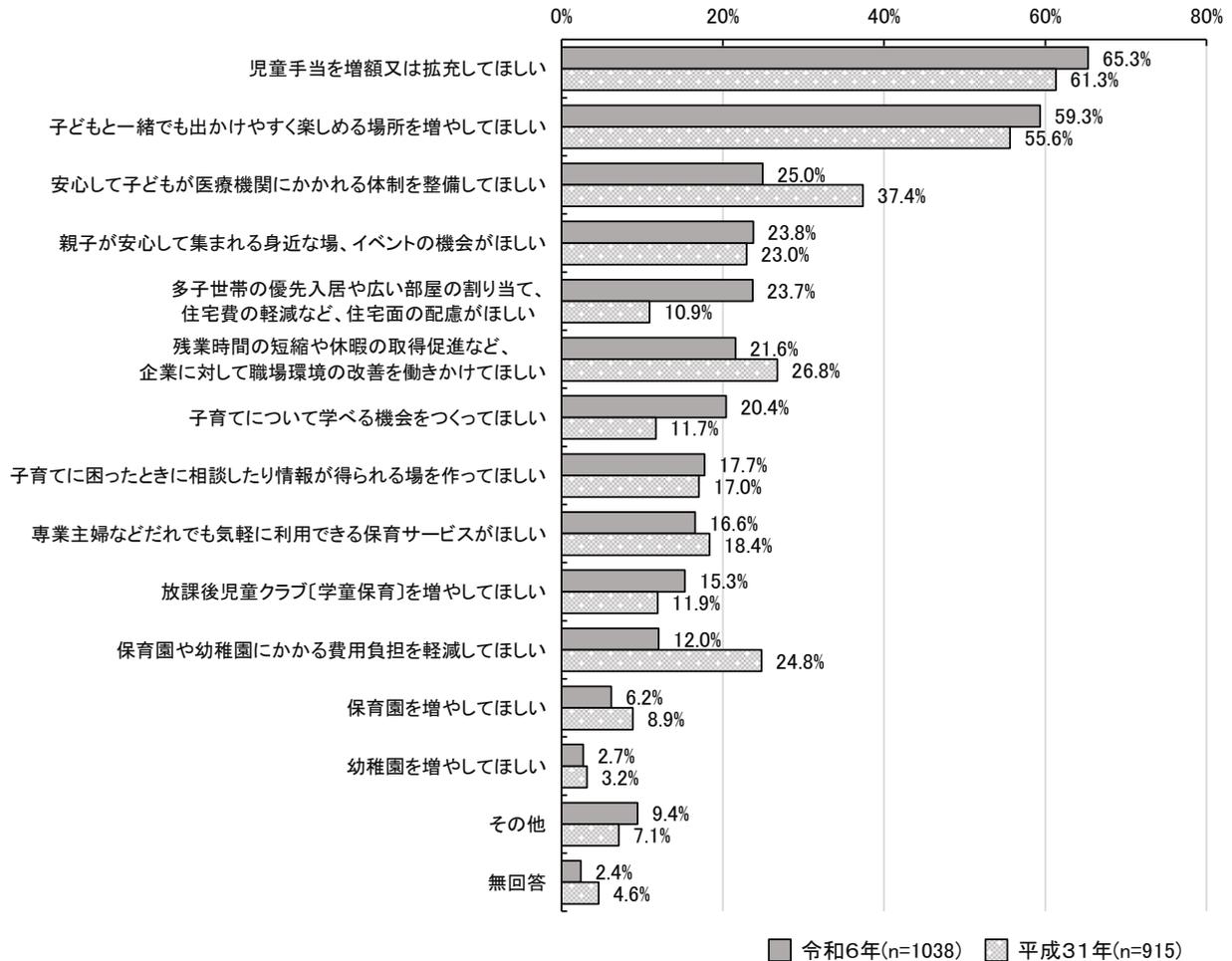
市に対して図ってほしい子育て支援については、「児童手当を増額又は拡充してほしい」が65.3%と最も高く、次いで「子どもと一緒に出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(59.3%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(25.0%)等の順となっています。

【市に対して図ってほしい子育て支援】



前回調査と比較すると、令和6年調査では、「多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当て、住宅費の軽減など、住宅面の配慮がほしい」、「子育てについて学べる機会をつくってほしい」等が平成31年調査よりも割合が高く、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」、「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」等の割合が低くなっています。

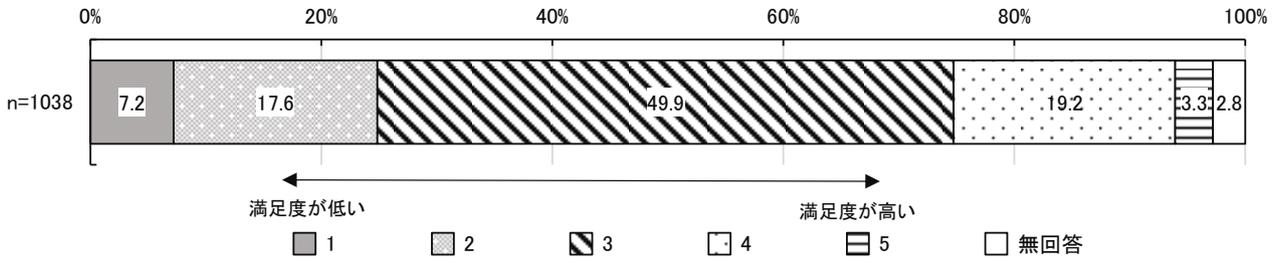
【前回比較】



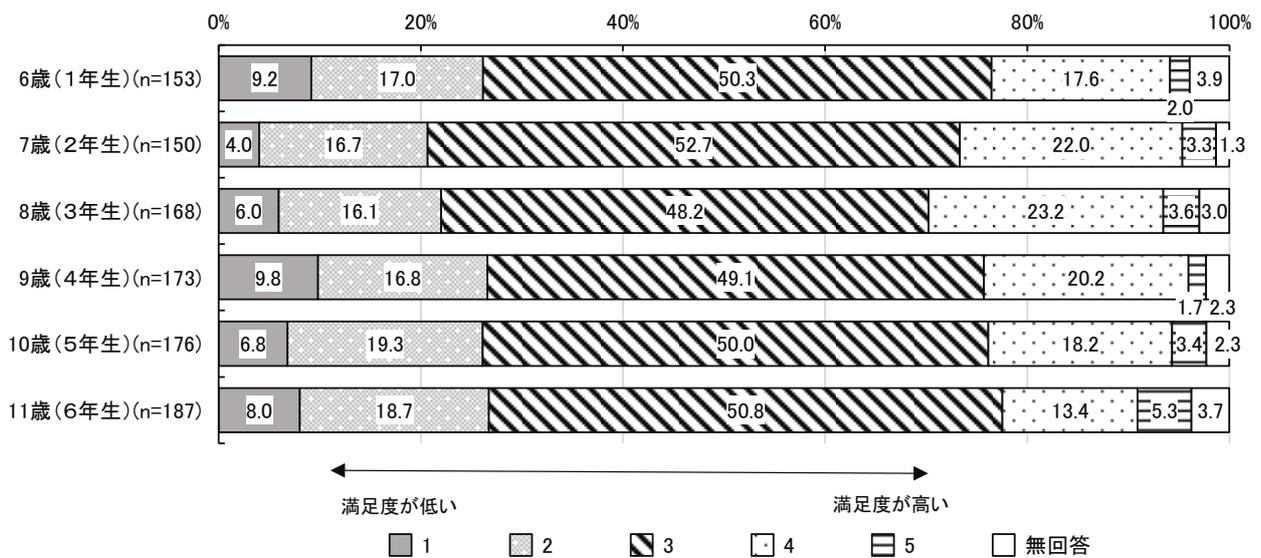
問36 松阪市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育ての環境や支援への満足度については、「3」が49.9%と最も高く、次いで「4」（19.2%）、「2」（17.6%）等の順となっています。

【子育ての環境や支援への満足度】

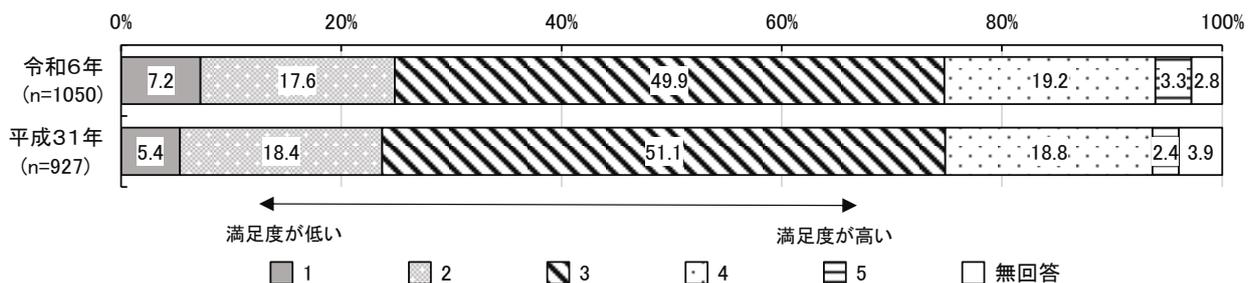


年齢別でみると、6歳（1年生）～11歳（6年生）の年齢すべてで「3」の割合が最も高くなっています。また、「4」「5」を合わせた『市における子育ての環境や支援について満足している』をみると、8歳（3年生）が26.8%と最も高くなっています。



前回調査と比較すると、あまり大きな差はありませんでした。

【前回比較】



15 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してのご意見

問37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

【意見抜粋】

年齢	学年	意見
6歳	(1年生)	○3人目以降のワンモアベビー支援はとてもありがたいのですが、小・中学校とどんどんお金がかかる時には学校の副食費などの支援が無いのが先々不安です。
6歳	(1年生)	○松阪市は医療的ケア児が増えてきていると思うので、もう少し医療的ケア児の過ごしやすい市にして欲しいです。医療的ケア児の子ども達を預かってくれる施設が少しでも増えてくれると助かります。医療的ケア児の親は、子どもから24時間目が離せない為、睡眠不足がずっと続きます。私も毎日平均2~3時間ほどしか寝ていません。少しでもレスパイト施設が増える事を願っています。
7歳	(2年生)	○フルタイム勤務ですが、下の子が小学校に入ると育児時間が無くなり、子どもの通院は有給を使用する事になります。女性がフルタイムのまま、子育てを継続するためには、ここを改善しないと無理です。4年生くらいになれば1人家にいても安心できるので、育児時間が取れるのを小3くらいまでにすれば、小学校入学前に退職する女性が減ると思います。
7歳	(2年生)	○不登校になったときの情報収集がとても難しく感じます。公立の学校以外にどのような選択肢があるのか、今通っている以外の学校はどんな感じなのか、市外の学校は？県外の学校は？フリースクールは？など、子どもに合う教育環境はないか探したくても、学校の先生や教育支援センターの相談員さんの持っている情報もほぼ今の学校や市内の情報に限られてしまいます。相談すると皆さんとても親身になって話を聞いてくださいますが、情報が少ないとこの先どうなるのか不安になることがあるので、幅広い情報を集めやすいウェブサイトや冊子などがあるととても助かります。
7歳	(2年生)	○学童保育の「保護者運営」は直ちに見直してもらいたい。学童に預けても、役員の仕事があっては本末転倒だと思う。来年度の学童利用者の調整や必要な調査は市が主導しないと。学童の役員では対応が不可能と考える。
7歳	(2年生)	○仕事の無い母親にも保育園を開放することを提案したいです。産後のストレスを感じている母親もいますが、サポートなしで毎日子どもと二人きりになるのは良くありません。自分の時間を確保する機会や、子どもを保育施設に預ける機会を持つ事は非常に良いサポートとなります。
7歳	(2年生)	○療育のことなど情報が得にくい。また、発達総合支援センターは利用を考えていても、いっぱい待たなければいけないということもあり断念している人も多くいるように感じるので残念に思う。
7歳	(2年生)	○子育て支援も必要だが、子どもを持つための支援策にも力をいれてほしい。不妊治療への支援や、結婚支援など、最小自治体ならではの可能な策があると思う。
8歳	(3年生)	○子ども達だけで行ける校区内の公園が少ない。

8歳	(3年生)	○私は対象児童を津市で育てていました。家庭の都合で松阪市へ転入してきましたが、松阪市は子育てサービスが津市よりも充実しており、転入してきてよかったと思っています。現在小学校と保育園と未就園児の子育てをしていますが、保育園、学校の参観や行事に未就園児を連れていくのが大変だと感じました。近くには一時預かりをして貰える施設が少なく情報が薄いので預けても大丈夫なのかという不安と手間でなかなか行動できずにいました。今年度、無料チケットサービスを受けられて一時預かりを知るきっかけとなりよかったです。
8歳	(3年生)	○地域によっては近所に子どもが少なく一緒に遊ぶ友人が少なかったりと、子ども達の交流の場があまりなかったりします。休日は子どもと一緒に過ごすのは母自身のみになり、遊ぶところも少なく、いつも同じような休日になります。11月頃に市内で行われたたくさんの行事はとても子どもとの交流としては良かった。一緒に学び体験できることを増やして、情報の発信をたくさんして欲しい。休日に外食する時、子ども割引などが増えると行きやすい。休みに子どもと目的を持った休日作りになると思います。子どもやご高齢も交流できる施設があれば休日に私も子どもと一緒に行って見たいと思います。
8歳	(3年生)	○地域の方や住民協議会の方々が保育園や小学校へ日々のご支援、ボランティア活動などをしてくださる事に感謝しています。
9歳	(4年生)	○他の県は子どもが病院に行った時は、お金が要らない。松阪は3か月後に返ってくるが、病院に行く時に支払する必要を無くして欲しい。
9歳	(4年生)	○兄弟が不登校です。中学になって不登校になって初めて発達障害の診断を受けました。知的の遅れはなく、今までは過剰適応により、周りからも気付かれずにきたようです。感覚過敏や、クラスに攻撃的な児童が多かったこともあり、行きたくても行けない状態になったと本人は言っていました。学校は不登校児が増えていて、『よくある不登校』くらいの感覚でみられているように感じます。小学校は丁寧な対応ですが、中学は本人次第な感じです。支援センターの時間や場所も厳しく、送迎も難しいし、そもそも子ども自身の外出自体が難しいので、オンラインのフリースクールに通っています。学校にも費用を支払い、オンラインフリースクールにも支払い、かなりの出費です。フリースクール(オンラインも含む)への補助や学校費用の減額など、何か金銭的な補助・支援が欲しいです。
9歳	(4年生)	○保育・教育に従事する人達の確保のために待遇改善等に予算を付けて安心して子育てできる環境を、親だけでなく市全体で作って欲しい。保育園、幼稚園、小学校、中学校、学童と人手不足等により余裕が無い中で親の要望や求められるサービスは〇〇です。とまとめたとして、現場の方たちはこれ以上どうしたらと悩まれるのではと思うので、ハード面(物・建物・システム)よりソフト面(人件費・意欲)も大切に貰えたらと思う。
9歳	(4年生)	○ワンモアベビー事業の拡充をお願いしたいです。多子家庭としてはありがたい事業です。
10歳	(5年生)	○通学路なのに通り抜け道路になっている交差点がある。車は結構なスピードで止まらず通過していく。子ども達へ安全を呼びかけることも大切だが、運転する大人がそもそも気を付ける仕組みがあった方が安全だと思う。せめて通学で横断する道には横断歩道が欲しい。子どもが育つにはそもそも健康でないと意味がない。子どもの心身を守る松阪になって欲しい。
10歳	(5年生)	○保育園入園について。保護者が病気で医師の意見書がある場合は、入園を認めて頂きたい。家庭にとっては緊急事態です。子どもを預ける事が出来なければ治療に専念することが出来ません。今一度入園基準の優先度の

		検討をお願いします。
10歳	(5年生)	○多様な子どもの育ちに寛容な人、環境が整い、支援につながらない家庭が少なくなるといいと感じています。学校教育は旧態依然としたところがあり、多様化に対応できているとはいえず、画一的、高圧的な指導に苦しんでいる子ども、保護者、教員が多くいると思います。業務が多く忙しい教員が配慮に欠け、子ども一人ひとりを大切にすることができないために今の学校に不適応を起こしている子どもが多くいます。保育士、教員の日常に余裕があり、園や学校が風通しのよい組織になってほしいと思います。
11歳	(6年生)	○小6、小3の子どもがいますが、雨の日や冬場夏場などに室内で友人と親子で遊べる場所が欲しいと常々思っています。
11歳	(6年生)	○小学生が安心・安全に遊べる場が少ないです。図書館も校区外で気軽に行けるところではないので、公民館などを開放し子ども達の本も充実させ、過ごせるような身近な場所も増やして行ってほしいです。
11歳	(6年生)	○保育、幼稚園の先生、学校の先生の負担軽減を強く希望しますが、子ども達にそのしわ寄せが来ることのない様に頑張っただけでたらなと思います。
11歳	(6年生)	○不登校の相談をする場所やカウンセラーの先生はいますが、いつも話を聞いてくれるだけのような感じです。(実際に不登校の子どもを持ってないと気持ちの分りにくいと思います。)不登校の親同士の実体験からの相談などしたい。できたら、少しはこころが軽くなり次にいけるステップに繋がれると思います。
11歳	(6年生)	○子どもが小さい頃は子どもと一緒に時間を優先したかったが、経済的に無理でした。夫の仕事が多忙でパートをしながらワンオペで、全く余裕がなくせかく子どもが小さくてかわいい貴重な時間のありがたさを感じることもできずに、精神的にも身体的にも追い詰められ病みました。本当にもったいなかったと思う。父親も母親も仕事をするのか、休んで子どもを優先するのかそれぞれの考えや気持ちを優先できるいいと思います。今は働きたいというより経済的に両親が働くしかないという家庭が多く、預けられっぱなしの子どもが多いように思い、子どもにとってどうなのか?と思う。親目線の子育てしやすい街もいいですが子どもが主体の『子どもが安心して過ごせる街』にするために行政には親をサポートしてほしいと思います。
11歳	(6年生)	○母子家庭が受けられる援助制度など、自分で調べないと分からない事ばかりなので率先してもっと教えてもらえるような体制にして欲しい。
11歳	(6年生)	○学校に行けなくなってしまった子ども達の為に、もう少し学校以外の(もしくは学校の中にも)選択肢を増やして欲しい。学校に行けなくなると他の支援にもつながりにくくなる感じる。